

日本樹木誌略序

氣輪快駛頃刻百里、非樹木不作、電線傳信天涯咫尺、非樹木不架、家屋非樹木不構、橋梁非樹木不通、雨澤行於天、非樹木不時、水源發於地、非樹木不盛、農工利用之器、海陸攻守之具、以至凡百機械、莫非資乎樹木者焉、樹木之用大矣哉、人智之未開也、技術粗陋、思慮短淺、不知樹木之可重、濫伐浪用、未嘗愛惜焉、智漸開術漸巧也、而後漸知重之、悔悟歎惜、既及矣、近古智術之先開者、莫如歐洲、而亦或悔此、本局管林政、可不監諸往而備諸徠乎、於是乎、使服部元彰、藤田克三撰日本樹木誌略、頃初編脫稿、嗚呼林政之急於今日、譬之拯溺不俟舟楫、與其曠日求全、豈若速頒、直付之剗、全國人民由以識功用之可尚、濫伐之可戒而盡心長養、則豈特本局之幸乎哉、

大日本帝國神武天皇即位紀元二千五百三十七年明治十年

十二月

內務權大書記官地理局長櫻井 勉

日本樹木誌略例言

一本邦ニ樹木誌ナシ全無ニアラス其之アルハ鑿家農家及花戸ノ編スル所ニ係ル故ニ多クハ藥性主治ヲ主トシ或ハ四木ヲ主トシテ救荒ニ傍及ス花戸ノ如キニ至テハ唯花葉觀美ヲ之レ務ルノミ其材質功用ニ至テハ一ニ交渉ナキ者ノ如シ或ハ一ニ其形狀ヲ説クモ要スルニ漢名ノ當否ヲ徵スルニ過キス近來工業大ニ闕ケ用材ノ最急ナルヲ知ル故ニ樹木誌ヲ撰ミ主トシテ材質功用ヲ説キ以テ鑿家農家ノ説ニ及ハントス

一泰西植學家其學ヲ分テ五部ト爲ス曰ク辨物本草生理本草分理本草地理本草前世界本草「イシユウ」氏ハ植物自然分科ノ説ヲ唱ヘ大別シテ無子葉單子葉雙子葉ノ三種トナシ更ニ之ヲ小別シテ十五種トナシ又之ヲ細別シテ一百科トナス「デカンドル」氏ハ別ニ一説ヲ立テ植物ヲ分テ八部一百九十四科トナセリ是ニ於テ植物ノ別盡セリト云ヘシ今此編タルヤ植物中ニ就テ本局掌管スル所ノ樹木ヲ誌シテ民間ニ頒布シ其材用ノ愛惜セサルヘカラサル其培

養ノ注意セサルヘカラサルヲ知ラシムルヲ主トシ以テ他ノ樹木

ニ及ハントス故ニ諸家ノ例ニ沿襲セス有用ノ木材ヲ擧テ之ヲ首

ニ置ノミ

一每樹番號ヲ記スル者ハ木ニ順序アルニ非ス以テ披閱ニ便スルカ爲ナリ

一提要ハ其樹木ノ大要ヲ一目シテ概知スルニ便スルナリ

一提要中其用ヲ掲クル者ハ其功用中ニ就テ最其用ニ適スルヲ云フ

ナラ樑ニ薪炭ト掲クル類諸用ト書スル者ハ船艦建築ノ大ヨリ器物薪炭ノ小

ニ至ルマテ皆用ニベキ者ヲ云フ扁柏黒松ノ類

一名稱中通名ト稱スル者ハ普通ノ稱呼方名ト稱スル者ハ一國一邑

ノ稱呼ニシテ即方言ナリ方名極メテ多シ其一二ヲ載ス漢名漢名議カナラサル者ハ

闕テ錄セス漢名ノ傍ニ俗某ト細書スルモノハ俗間用ル所ノ字面

ナリ舊某ト書スル者ハ昔人某ノ字面ヲ用ヒテ妥當ナラサルモノ

ナリ

一形狀ノ區別西人「リンドレ」氏ハ樹形ヲ分テ十一トシ一ヲ根ニヲ幹

三ナ萌芽四ナ葉五ナ花六ナ萼七ナ花冠八ナ雄蕊九ナ雌蕊十ナ果
 十一ナ種子トス此編枝ヲ加ヘテ萌芽ヲ葉中ニ寓シ花冠及雌雄蕊
 ハ花ニ併セ果種子ヲ合シテ實トナス全體ト共ニ七部トス是レ主
 トスル所既ニ異ナルカ故ニ記列ノ體同シキヲ得サレハナリ
 一實植ト云ヒ苗植ト云フ其實ハ皆下種シテ生スルモノナリ但生シ
 テ後苗ノ必ス移植スヘキ者ヲ苗植ト云フ根傍ノ小本ヲ分植スル
 モノ亦苗植ノ下ニ併載ス
 一樹枝ヲ剪テ土中ニ挿ミ之ヲシテ根ヲ生セシムル之ヲ挿條ト云又
 挿其根生レテ後移植スルヲ挿苗ト云フ甲樹ノ嫩枝ヲ剪リ乙樹ノ砧ニ嫁接シ乙樹ノ
 砧ヲシテ甲樹ノ枝ヲ養ハシムル之ヲ嫁接ト云フ又接
 換土ヲ用テ樹
 枝ヲ封シ根ヲ生セシムル之ヲ壓條ト云フ甲樹ノ枝ヲ以テ乙樹ノ
 枝ニ接セシメ活シテ後乙樹ノ枝本ヲ斷去ルヲ過貼ト云フ別ニ目
 ヲ立テス壓條ノ下ニ寓ス
 一ハのさえのさノ類當ニ「ハ」ト云ヒ「え」ト云フヘシ然レモ稱呼ニ便ナ
 ラサルカ故ニ人皆はさノ詞ヲ添フ今其便ニ從フ此類亦尠カラス

一形狀木理每樹之ヲ後ニ圖ス觀者ヲシテ其形狀何如木理何如ヲ識
 別セシムルカ爲ナリ之ヲ印刷スルニ至テハ其眞面目ヲ觀ルヲ能
 ハスト雖蓋亦思ヒ半ニ過キン
 一松柏以下最有用ナル者ヲ序列シテ既ニ一百種ニ滿ツ乃初編トナ
 シテ之ヲ印刷ス形狀性質ノ別培養保護ノ法ノ如キハ必目擊實踐
 シテ後始メテ之ヲ詳カニスルヲ得ヘシ而シテ全國樹木ノ夥多
 ナル豈數人ノ力數年ノ日子ヲ以テ之ヲ遍クスルヲ得ンヤ是ヲ
 以テ未詳カナラサルモノハ姑ヲク闕テ以テ他日ヲ俟ツ

明治十年十一月

日本樹木誌畧初編

目録

第一號	ひのき
第二號	ひば
第三號	ねずこ
第四號	さいら
第五號	いぶさびやくたん
第六號	くろまつ
第七號	あかまつ
第八號	ふじまつ
第九號	ひめこまつ
第十號	まさ
第十一號	かうやまさ
第十二號	まき
第十三號	あらまき

第十四號	かや
第十五號	つが
第十六號	もみ
第十七號	いらもみ
第十八號	とうひ
第十九號	まらべ
第二十號	みうえふざん
第二十一號	みちやう
第二十二號	さひぐるみ
第二十三號	あかがし
第二十四號	まふかし
第二十五號	うほめがし
第二十六號	まひのき
第二十七號	くり
第二十八號	くぬぎ

第二十九號 おほなら
 第三十號 こなら
 第三十一號 かゝそ
 第三十二號 そねほり
 第三十三號 そんのさ
 第三十四號 みずめ
 第三十五號 たらかば
 第三十六號 やなぎ
 第三十七號 はこやなぎ
 第三十八號 ぶな
 第三十九號 まで
 第四十號 けやさ
 第四十一號 くは
 第四十二號 むくぢさ
 第四十三號 えのさ

第四十四號 にれ
 第四十五號 あぶらざり
 第四十六號 ゆずりそ
 第四十七號 つげ
 第四十八號 あかめがしそ
 第四十九號 くす
 第五十號 やぶよくけい
 第五十一號 くろもじ
 第五十二號 さり
 第五十三號 ひらぎ
 第五十四號 しほぢ
 第五十五號 もちのさ
 第五十六號 いぬつけ
 第五十七號 まめがさ
 第五十八號 ちやくなび

第五十九號 やまほつと
 第六十號 ぎご
 第六十一號 せりざり
 第六十二號 こんせつ
 第六十三號 いせ
 第六十四號 なし
 第六十五號 さくら
 第六十六號 うめ
 第六十七號 くもりん
 第六十八號 ずま
 第六十九號 ちんじゆ
 第七十號 さいかち
 第七十一號 ねふのさ
 第七十二號 うるじ
 第七十三號 かせ

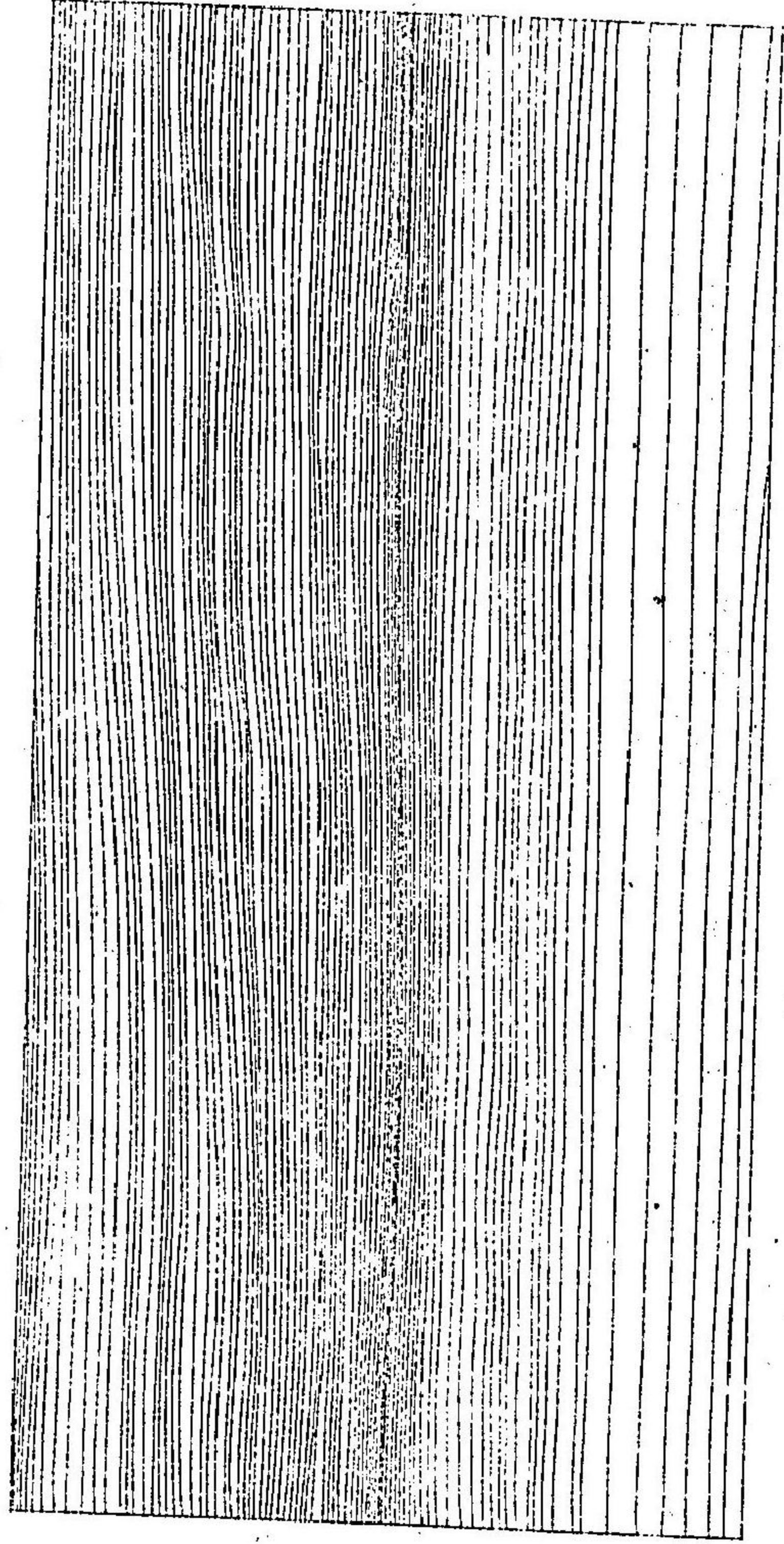
第七十四號 ぬるで
 第七十五號 けんがな
 第七十六號 いぬまゆみ
 第七十七號 きそだ
 第七十八號 せんだん
 第七十九號 ちち
 第八十號 かへで
 第八十一號 うりかへで
 第八十二號 つばき
 第八十三號 さるすべり
 第八十四號 ちなのさ
 第八十五號 あきざり
 第八十六號 ほゝのき
 第八十七號 こぶ
 第八十八號 かつら

第八十九號	志らくち
第九十號	志ゆる
第九十一號	まだけ
第九十二號	ハちく
第九十三號	もうそうちく
第九十四號	えんちく ほちく質
第九十五號	えんちく すやさけ質
第九十六號	くろさけ
第九十七號	志えうちく
第九十八號	めだけ
第九十九號	志やさけ
第一百號	うんちく

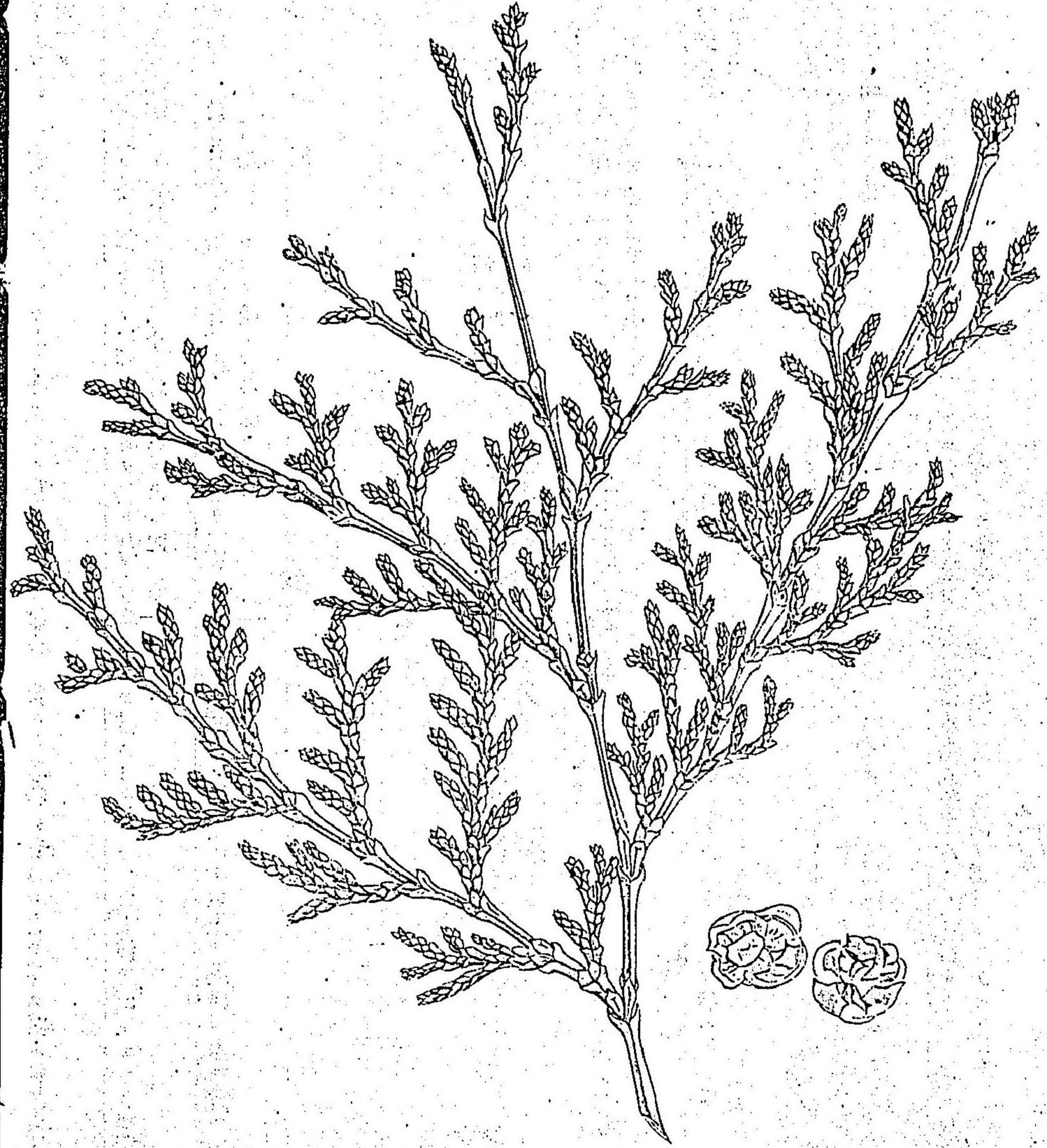
第一號
提 要
松 柏 科
喬 木
針 葉
常 綠
諸 用

地 適	形 狀						名 稱	
	體 全	實	花	葉	枝	幹	根	名 通
諸地生セサルナシ深山中ニ生スルモノ最能ク喬大ヲ致ス而シテ高陽ノ地ニ叢生スルモノ其材最直其堅密ナリトス木曾山中ニ産スル者最有名タリ即チ木曾五木ノ一ナリ紀伊土佐モ亦良材多シ陸羽地方ニ在テハ甚々稀少ナリ	實ノ形正圓ニシテ大サ三分許亦鱗砌ヲナシ硬ニシテ深青ナリ熟シテ黃茶色ヲナシ砌拆ケテ子落シ其子大サ麥粒ノ如ク扁薄ニシテ茶褐色シナス其仁ハ白色ニシテ脂氣香芬アリ	小枝ノ頂ニ花ヲ着ク雌雄アリ雄花ハ橢圓形ニシテ大サ一分ニ盈タス鱗砌ヲナシ鱗砌微拆スレハ黃粉ヲ吐ク雌花ハ較小ニシテ圓ナリ亦鱗砌ヲナセリ	葉至小ニシテ一分ニ盈クス其頭微尖下漸ク扁潤ニシテ小枝ニ附キ鱗次疊砌シテ末ニ至ル其色深翠ナリ	枝柯密ニシテ幹ト其色ヲ同フシ枝梢ニ小分枝ヲ密生ス新杪ハ綠色ニシテ軟ナリ	樹幹端直高十餘丈圍亦二丈許ニ及フ重皮層々トシテ厚ク縱理通直ニシテ下ヨリ之ヲ剝テ柄ニ至ルヘシ其色赭赤外皮淡黒			ハノキ 漢 名 扁 柏 俗 稱 俗 檜 洋 名 CHAMAECYPARIS OBTUSA ENDL. チャマエシパリス ナブチユザ

種 藝	養 培	護 保	質 材	用 効	雜 說
秋季熟實ヲ採リ晒乾シテ之ヲ打チ其子半落ルヲ以テ度トシ細砂ニ交ヘテ收頓シ春分ニ之ヲ下ス或ハ秋季直チニ下種スルモ亦可ナリ	新苗ハ屢米泔水ノ類ヲ澆テ常ニ潤濕ナラシム時々糞土ヲ根下ニ撒下ス糞土ハ糞汁ヲ以テ碎土ニ澆キ夏月ハ炎陽ニ曝曬スル數日冬月ハ寒風ニ氷凍セシムル亦數日ニシテ之ヲ貯フルモノヲ云フ	種子ヲ下シテ生シ易シト雖モ炎日ヲ畏ル甚シ隨テ生スレハ隨テ枯死スル者多シ故ニ夏月ハ蘆箔ヲ用テ短棚ヲ搭シテ蔽遮シ秋分前後之ヲ撤シ冬月更ニ暖陰ヲ作ル	其材白色微黃ニシテ中部淡赤ヲ帶フ脂氣アリテ香芬ナリ木理通直ニシテ甚々美密ナリ其質ハ韌ニシテ而シテ重カラズ軟ニシテ而シテ脆ナラス硬軟宜キヲ得テ工作ヲ施シ易シ且濕ニ置テ朽敗腐蝕ノ患ナク日ニ晒シテ反張拆裂ノ害ナシ	船艦帆檣橋梁家屋ノ材施ストシテ其ナラサルナシ板ヲ作り器具ヲ製シ之ヲ剝テ杯椀ヲ作ルヘシ其薄片編テ笠トナシ織テ席トナス其皮ハ屋ヲ葺クヘク繩ヲ作テ船箔トナスヘシ其心以テ炬トナセハ能ク燃ユ枝柯モ亦薪炭ノ用アリ之ヲ庭園ニ栽植シテ亦愛玩スヘシ其功用タル數フルニ勝フヘカラズ内國針葉樹中此材ヲ推シテ霸王ト稱スヘシ	大和本草ニ曰是ヲ錐ニテモメハ火ヲ生ス故ニ火ノ木ト云フ或ハ曰喬木積立相摩擦スルヲ甚シキハ或ハ火ヲ發シテ自ラ燒ルヲアリト○新材ヲ以テ匣箱ヲ作ルニ脂氣盛ナルカ故ニ或ハ盛ル所ノ物品ヲ害スルヲアリト云



第一號
ウツギ



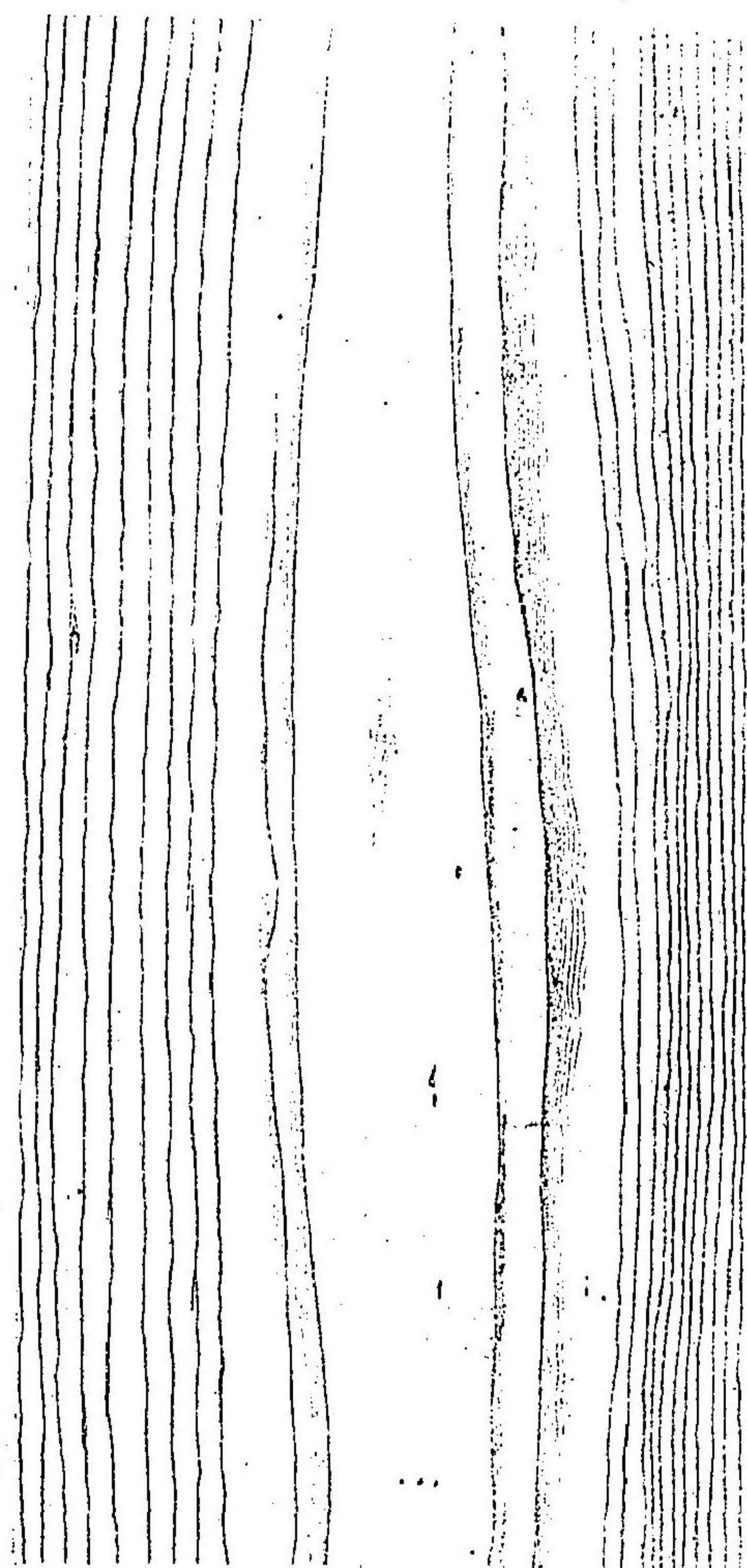
諸常針喬松
用綠葉木柏科
提要

號二第

種	藝		種	質	實	苗	摺	條	接	嫁	條	壓	保	護	材	効	用	雜	說	
	種	種																		
法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ	法扁柏ニ同シ
此樹摺挿甚ク活シ易シ粘土ヲ以テ泥球ヲ作り嫩枝ヲ挿ミ之ヲ潤濕ノ陰地ニ栽ユ一年ニレテ移栽ニ堪フ																				
材色淡黄肌理通直ニシテ其質輕軟ナリ然レモ賦氣アリテ水濕雨露ニ耐ユ又木理直ナルヲ以テ之ヲ剝ク甚ク易シ																				
船體橋梁ノ材ニ充ツヘシ屋柱ノ土臺トナシ或ハ井幹ヲ作テ能ク久キニ耐ユ諸般器具及板ヲ作り又曲輪ノ材トナシ枝葉ハ薪柴トナスヘシ其他所用甚ク多シ又人家ニ栽植マテ庭院ヲ粧飾スヘシ																				
其樹皮ヲ剝テ獵銃ノ火繩トナシ或ハ索綯シテ物ヲ束ヌヘシ																				
其材ヲ火ニ焚ケハ暴烈シテ煙チナス																				
其形狀扁柏ニ類似スルヲ以テ俗ニあすなろト呼フ是レ明日扁柏トナルヘキノ意ナリト云フ																				

地適	形						稱名
	體全	實	花	葉	枝	幹	
深山ニ産スルモノ能ク喬大ヲナス多クハ山腹陰濕ノ地ニ繁殖ス然レモ原野平地ニ在テモ亦生茂ス木曾山中最も良材ヲ産ス即五木ノ一ナリ三陸ニ羽亦多シ但其地方扁柏甚少ナキカ故ニ此樹ヲ指シテひのさト呼フ	幹身直立シテ枝梢微垂シ其姿婆娑タリ	形扁柏ニ類シテ亦較大ナリ	花ニ雌雄アリ雄花ハ大サ米粒ノ如ク雌花モ亦扁柏ニ比スレハ較大ナリ	扁柏ニ類シテ較潤大ヲ加フ而深翠背ハ白色ナリ四時變セス但舊葉積ニ過テ凋落微黃色ヲナス立春ノ後ニ至レハ更ニ翠色ニ復ス	枝條長大其色黒赤ナリ	直幹高十餘丈圍丈餘ニ及フ樹皮皴セス赤色鮮明ナリ表皮ヲ剝クニ數丈絶ヘス	<p>名方</p> <p>阿阿阿 てをを なる</p> <p>名漢</p> <p>羅漢柏 俗稱又明檜</p> <p>名洋</p> <p>THUJOPSIS DOLABRATA S. ET Z. チニシロブレス ドラブラタ</p>

第二號
ハ



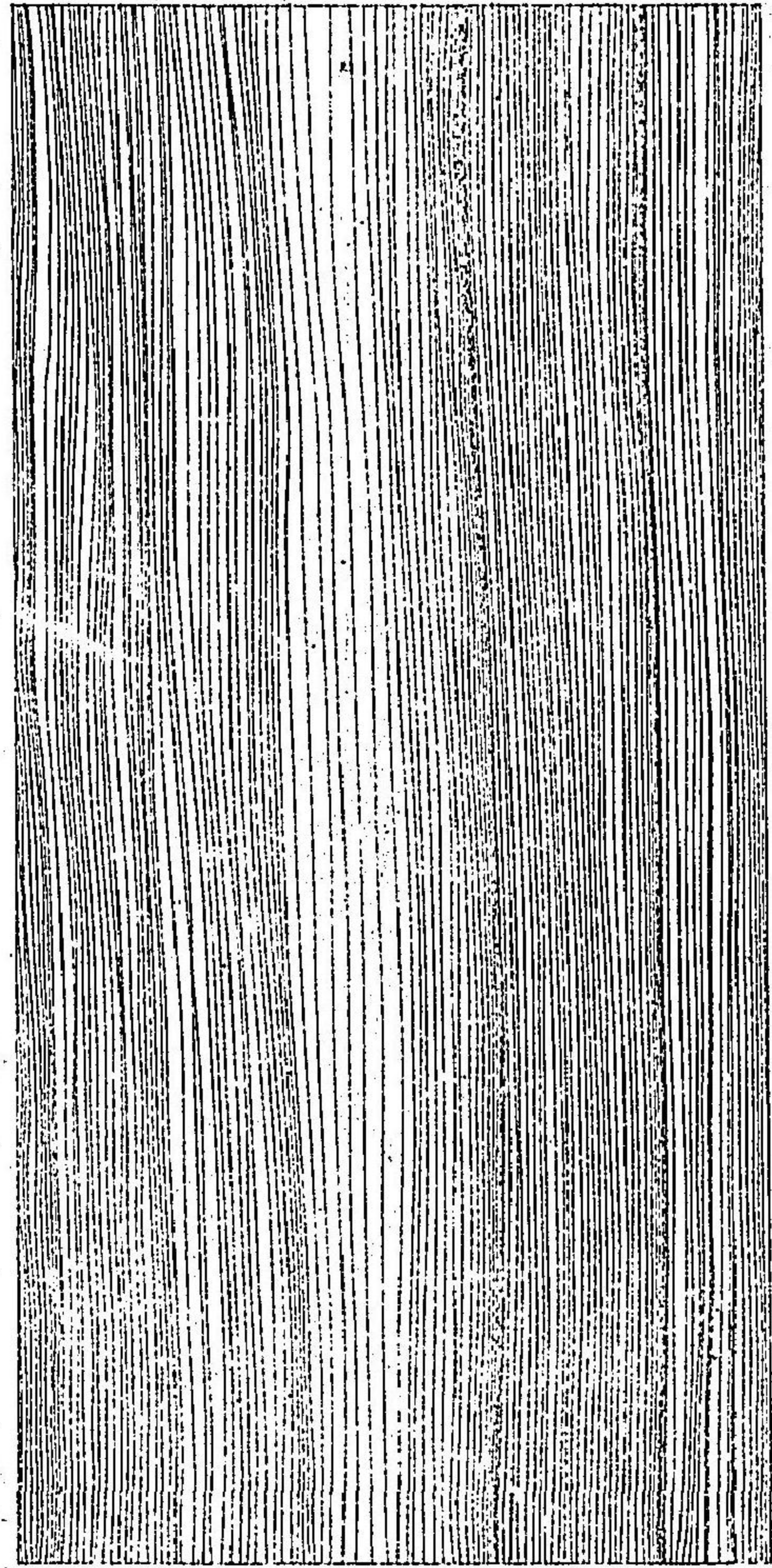
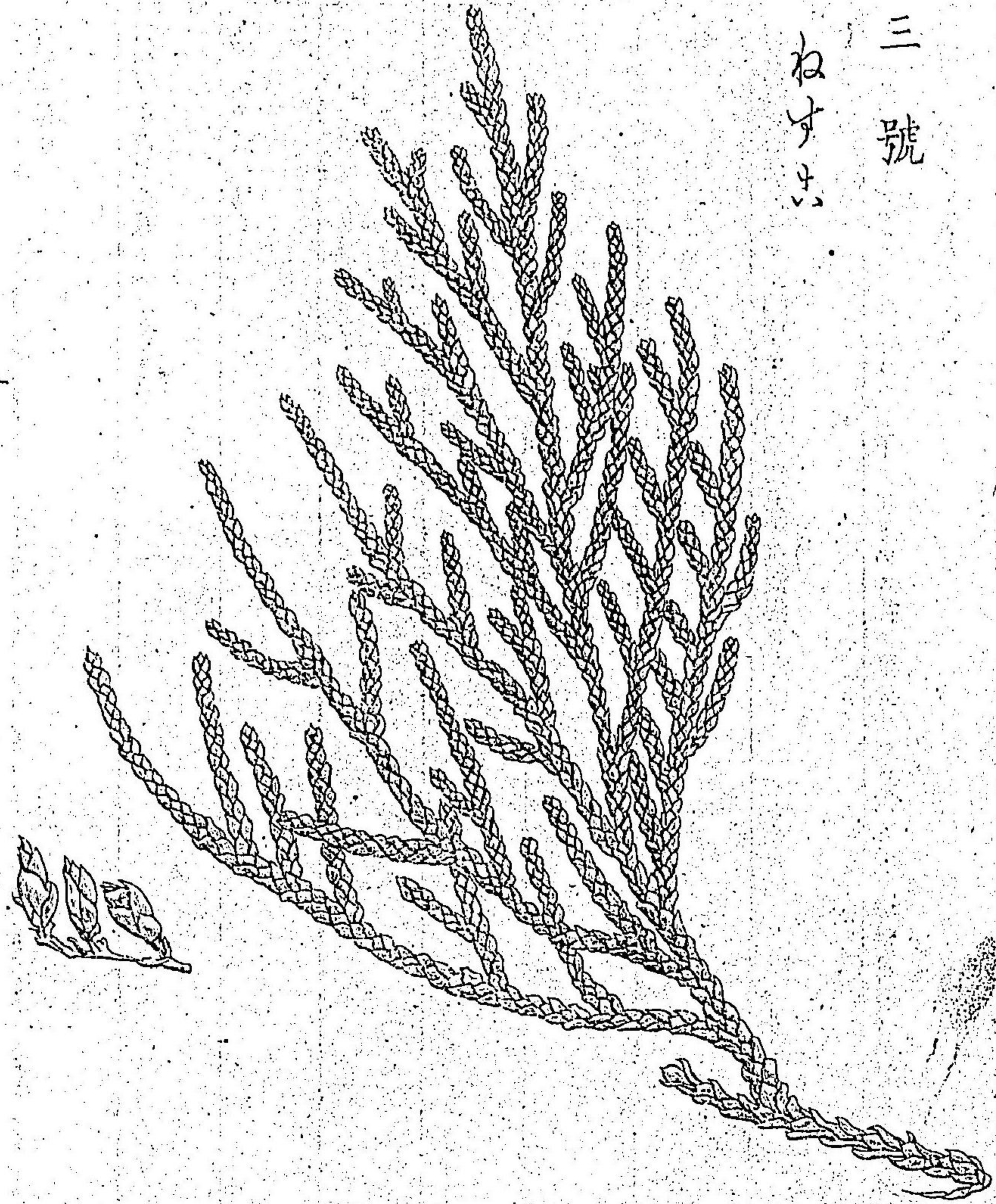
第 三 號
提 要
松 柏 科
喬 木
針 葉 樹
常 綠
板 器 具

種 名	藝 種					養 培	護 保	質 材	用 効	説 雜
	植 實	植 苗	條 摺	接 嫁	條 壓					
ね ず み	扁 柏 二 同	自 生 ノ 小 苗 ヲ 移 栽 ス ル ヲ 可 ト ス	摺 挿 シ テ 活 シ 易 シ					材 質 輕 軟 肌 理 直 ニ シ テ 細 密 ナ リ 外 部 白 色 中 部 淡 黒	建 築 ノ 用 ニ 供 ス 多 ク 天 井 板 或 ハ 障 子 ノ 類 ト ナ ス 甚 タ 雅 美 ニ シ テ 愛 ス ヘ シ 杯 棧 諸 器 具 ヲ 製 ス ヘ シ 又 片 板 ト ナ シ テ 屋 ヲ 葺 ク 庭 園 ニ 栽 植 シ テ 頗 ル 愛 玩 ス ヘ シ	

地 適	形 狀						名 通	名 方	名 漢	名 洋
	體 全	實	花	葉	枝	幹				
大 樹 ニ 至 テ ハ 深 山 中 ニ 非 レ ハ 見 ル 所 稀 ナリ 喜 テ 山 腹 ニ 生 茂 ス 木 曾 日 光 諸 山 良 樹 最 多 シ 小 木 ハ 人 家 ニ 栽 植 ス ル 者 多 シ	枝 葉 ハ 羅 漢 柏 ニ 甚 タ 似 テ 小 ナ ル ノ ミ 故 ニ 花 戶 或 ハ ひ め を なる ト 呼 ブ	形 鼠 矢 ニ 似 テ 大 ナリ 鱗 砌 シ テ 成 ル 熟 メ ル ニ 及 ヒ 黒 褐 砌 拆 ケ 子 落 ツ	花 ニ 雌 雄 アリ 羅 漢 柏 ニ 比 ス レ ハ 較 小 ナリ	羅 漢 柏 ニ 類 シ テ 小 ナリ 面 深 翠 青 ハ 白 色 テ ナ ス	枝 柯 皮 色 黒 赤 ニ シ テ 小 枝 微 垂 ス	能 シ 直 生 ス 高 七 八 丈 圍 丈 許 其 皮 皴 セ ス 黒 赤 ニ シ テ 羅 漢 柏 ニ 類 セ リ	ね ず み	く ろ び	漢 名	THUJOPSIS LEATEVIRENS LINDL. チ ュ ジ ヨ ブ シ ス レ ー テ ヱ イ レ ン ス

第三號

ねすま



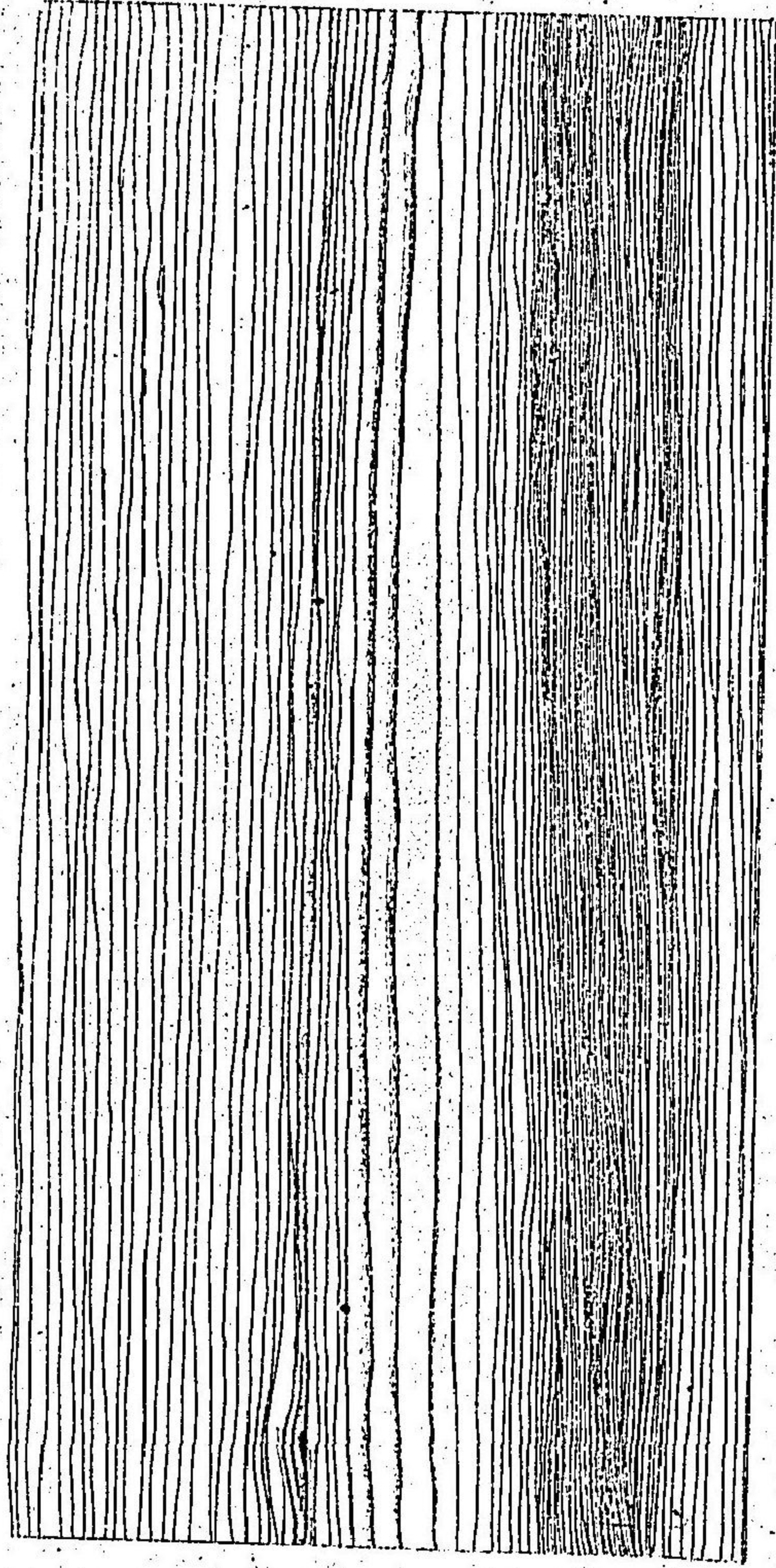
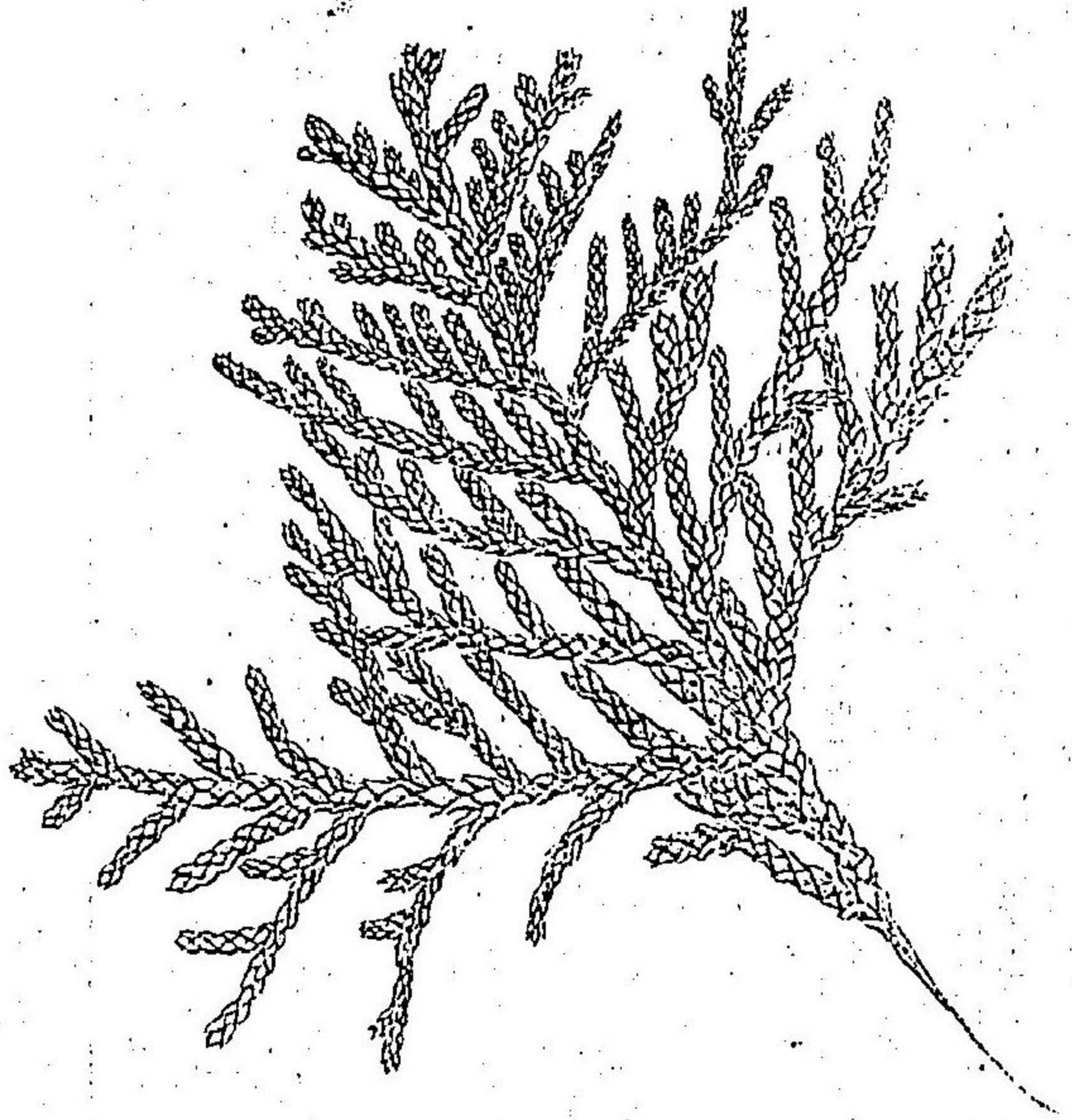
諸常針喬松
用綠葉木柏科
提要
號四第

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種				
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實
	木曾山中ニ角材ヲ作ルニ大抵一丈二尺ニ過キス其餘材及ヒ節間ヲ用テ桶材トナス者ヲ樽木(ツケ)ト稱ス	白質ニシテ淡黄ヲ帯ヒ賦脂香甚直理堅硬宜ヲ得テ甚工カヲ施シ易シ潤濕ニ置テ久シク朽敗セス燥處ニ在ルモ反張開裂ノ患少シ	扁柏ニ同シ	扁柏ニ同シ			摺挿シテ活シ易シ其法扁柏ニ同シ	扁柏ニ同シ	扁柏ニ同シ

地 適	狀 形						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
深山淺谷陰濕ノ地ニ適ス山頂或ハ平地ニ生スル者多クハ曲懸ナリ木曾山中良材最モ多シ即チ五木ノ一ナリ	直幹高聳シ森然鬱蒼タリ形狀甚扁柏ニ類似ス但皮葉異少異アルノミ	扁柏ニ似テ較小ナリ	雌雄アリ雄花ハ黄粉ヲ着ケ雌花ハ細小ニシテ皆扁柏ニ同シ	小葉鱗ノ如ク密接シ扁柏ニ似テ末尖リ綠色較薄シ	柔軟ニシテ微垂ス	直幹ニシテ老ナル者ハ高サ六七丈圍一丈餘ニ至ル皮扁柏ニ比スレハ較薄シテ粗ナラス	<p>名 漢</p> <p>花 柏</p> <p>俗 榎 又 弱 檜</p> <p>名 洋</p> <p>CHAMAECYPARIS PISIFERA ENDL.</p> <p>チヤメーシパリス ピシフェラ</p>

第四號

老白芍



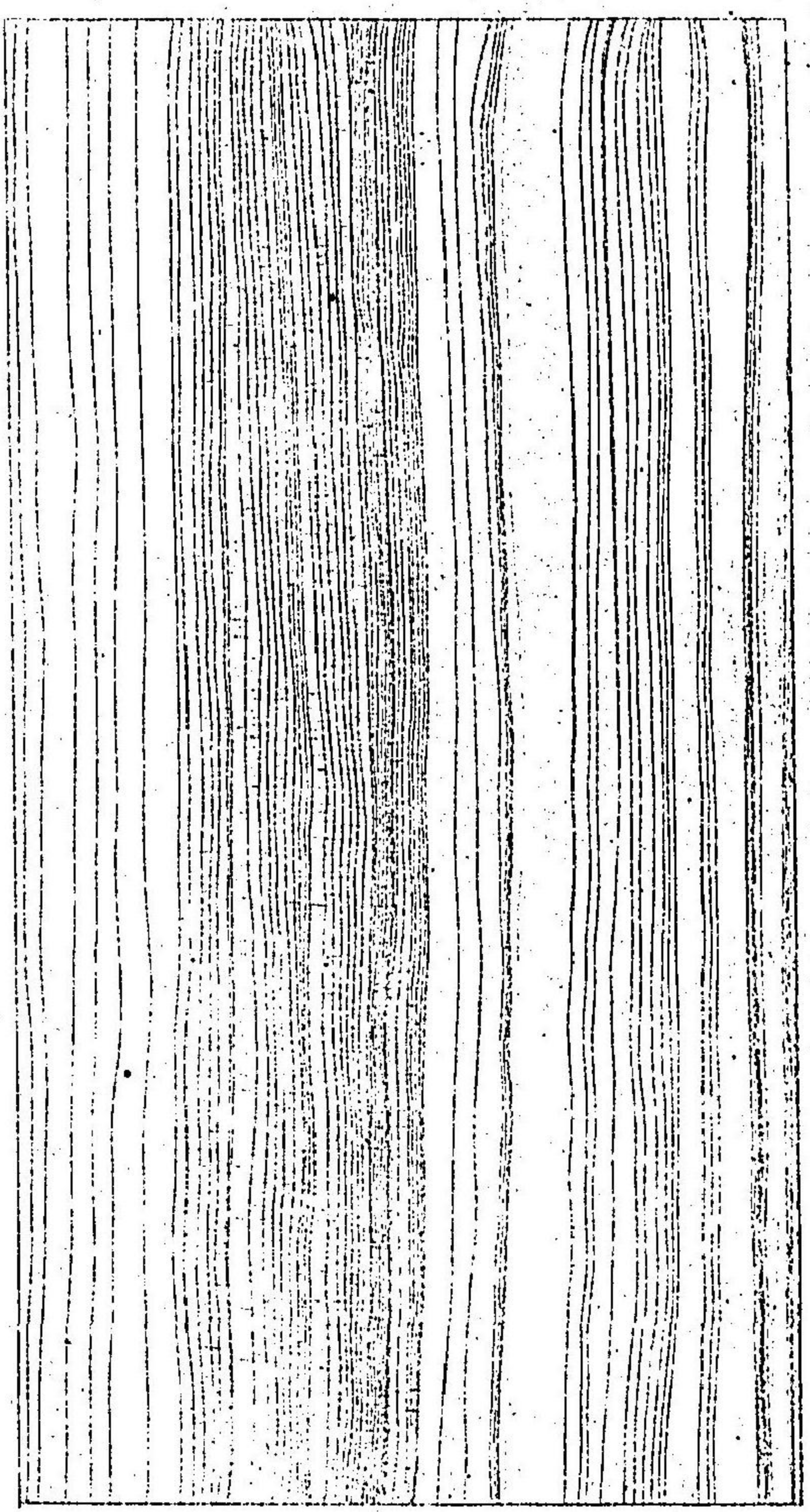
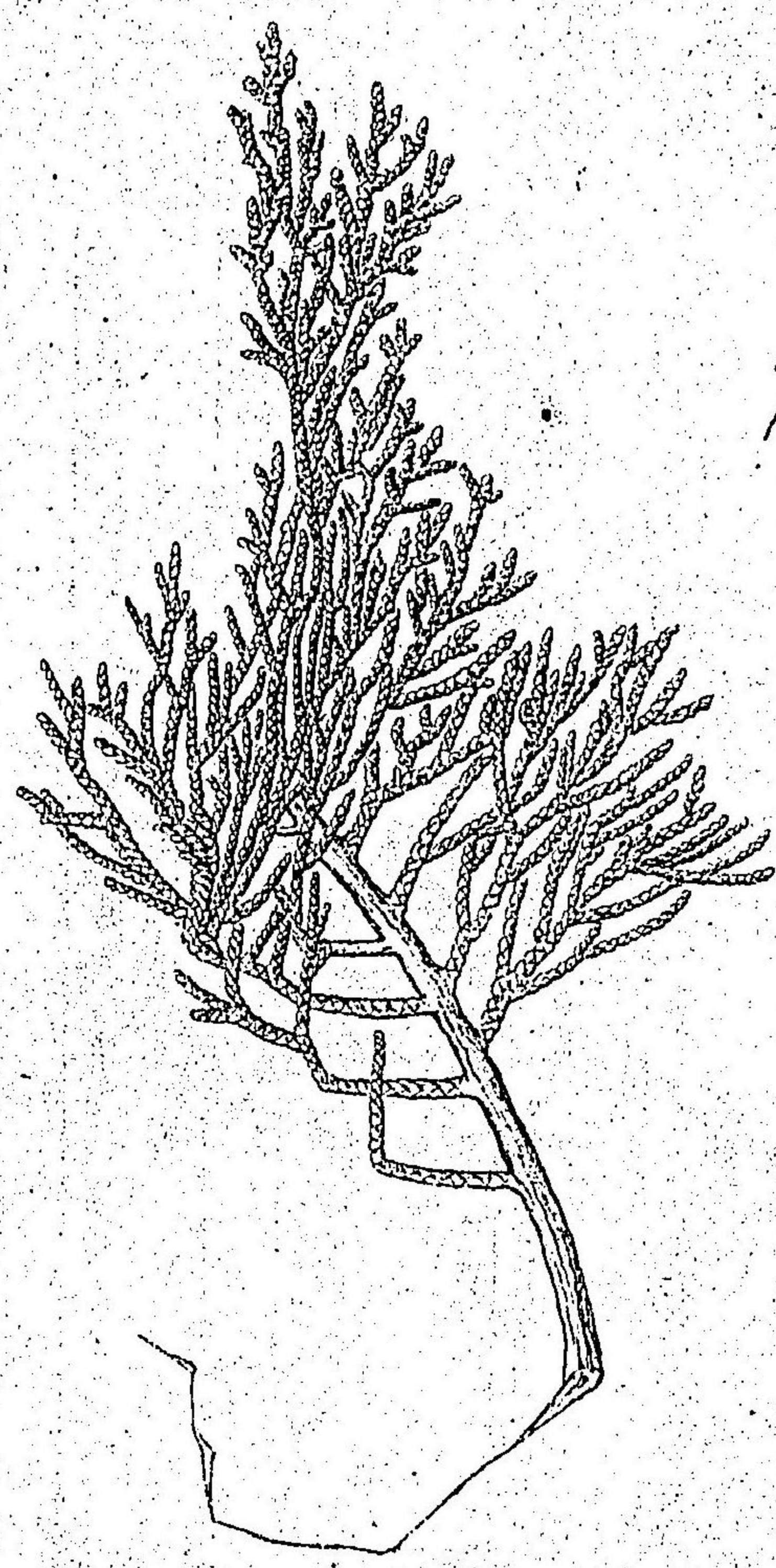
提 要
松 柏 科
喬 木
針 葉 樹
常 綠
匣 機
案 箱

第 五 號

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	形 狀							稱 名										
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質		體 全	實	花	葉	枝	幹	根		名 通									
		匣箱机案ヲ作ルニ雅ニシテ愛スヘシ 庭園ニ植テ雅趣アリ白斑アル者花戸ノ貴重スル所ナリ						嫩枝ヲ摺挿ス法松柏ニ同シ	法松柏ニ同シ	近江國膳吹山ニ産ス故ニいぶきの名アリト云フニ筑二豊相摸等ノ陵地ニ生長スル者多シ飛驒及日光等山中ノ寒地ニモ亦 有リ	高ニ丈許圍三尺許皮甚薄クシテ黒赤色ヲナス	枝柯繁稠ニシテ細條ヲ生スル極テ緻密ナリ	扁柏ニ類シテ至小ナリ枝ニ附ク密ニシテ扁ナラス又杉椴ノ葉ヲ雜出スルアリ故ニ或ハ二色椴ノ稱アリ	葉末ニ花ヲ着ク雌雄アリ雄花ハ扁柏ニ類シテ短小ナリ雌花ハ小圓ニシテ鱗形ヲナサス	零餘子ノ如シ大サ一分餘黒褐色ニシテ硬シ之ヲ破ルニ甚香氣アリ	樹生長スル甚遅ク二百餘年ヲ經ル者ト雖ニ丈ニ過ス高山ニ生スル者ハ地ニ榻ス						いぶきびやくしん	方 名	べにびやくしん	漢 名	檜 柏 圓 柏	洋 名	JUNIPERUS JAPONICA CAKRIER. ジュニペリユス ジャポニカ

第五號

スミキシヤノモリ



提 要
松 柏 科
喬 木
針 葉
常 綠
諸 用

稱 名

名 通

くろまつ

名 方

きまつ

名 漢

黑 松

名 洋

PINUS
MASSONIANA
LAMB.
ピニウス
マツニアナ

直根ハ肥大コシテ地中ニ直下シ旁根ハ四方ニ旁出シテ最交錯ス根皮厚硬其色産土ニ隨テ
少異アリト雖多ク黄赭ニシテ淡黒ヲ帶フ

其嫩小ナル者ハ四出シテ車輻狀ヲナシ壯大ナル者ハ横張數十丈皮色幹ニ同シ

其色深翠ニ針一苞ヲ同クズ其形チ鋭ヲ倒立スルカ如シ葉末ハ刺チ爲シ銳殊ニ甚シ枝頭コトニ葉數十チ攢テ樹ノ大小長短
ニ隨テ葉モ亦大小長短アリ霜雪ニ遇テ凋マズ

花ニ雌雄アリ春初新緑ニ附テ生ヌ至小ニシテ粉ノ如シ色黄ニシテ香多シ之ヲ雄花トス雌花ハ小圓ニシテ其下ニ着ク

狀卵圓ニシテ鱗砌チナス長サ寸半許初年淺綠漸ク翠碧次年ノ秋季黒褐色ヲナシ鱗砌チケテ落ツ其子茶褐色麻子大ノ如ク
ニシテ翅羽アリ

直幹亭立シテ偃蓋重キタリ杉扁柏ノ如キハ其樹幹直立スト雖其枝甚ク横張セス松樹ニ至リテハ其幹直立シテ枝亦能ク横
張セリ性多壽ニシテ脂氣最多シ一葉ト雖之ヲ剪レハ必液ヲ出ス

山土眞土皆生スヘシ但シ燥チ喜ヒ濕チ惡ムカ故ニ高陽ノ地ニ適シ卑下ノ地ニ宜シカラス故ニ古來習慣谷ニ杉扁柏ヲ植ヘ
巖頂ニ松ヲ植フ然レモ其木各地ニ植テ皆生セサルニアラス唯生長ニ長否アルヲ異ナリトスルノミ

種子ヲ下シテ後三年ニシテ春分前後其苗ヲ分植ス但シ注意シテ直根ヲ害セス根旁ノ土ヲ離脱セサラシムルヲ要ス

地 適

形 狀

體 全

實

花

葉

枝

幹

根

種 藝

條 壓

接 嫁

條 摺

植 苗

植 實

秋分後松種ヲ熟スルヲ候シテ之ヲ取り太陽ニ晒曬スレハ鱗砌開折シテ子ヲ内コリ出ツ之ヲ收メ砂ニ交ヘテ包藏シ明年
春分ニ至リ取出シ米泔水ニ浸ヌコト六七日後復乾スコト一日預メ畦ヲ作リ糞料ヲ肥交シ置キ種子ヲ下シテ土ヲ覆フ四五分ナ
ルヘシ

劈接ヲ用ルチ要ス然レモ此法ハ森林ナト多數ノ種藝ニハ用ヒ難シ

樹性乾燥チ好ムト雖新苗ハ米泔水洗魚汁洗介汁等ヲ澆キ常ニ潤濕ナラシムルチ佳ナリトス人糞ヲ澆クコト過度ナレハ虫ヲ
生シ葉ヲ枯ラス然レモ油糟人糞ナトニテ適宜ノ肥土ヲ製シ其内ヘウユルハ佳ナリ

生長ノ後ハ巨多ノ保護ヲ用ヒスト雖モ新生ノ初ハ殊ニ注意シテ要シ夏月ニハ炎陽ヲ蔽遮シ冬月ハ雪霜ヲ防禦シ時々下草ヲ
爰除シ務テ空氣ヲ流通セシムヘシ

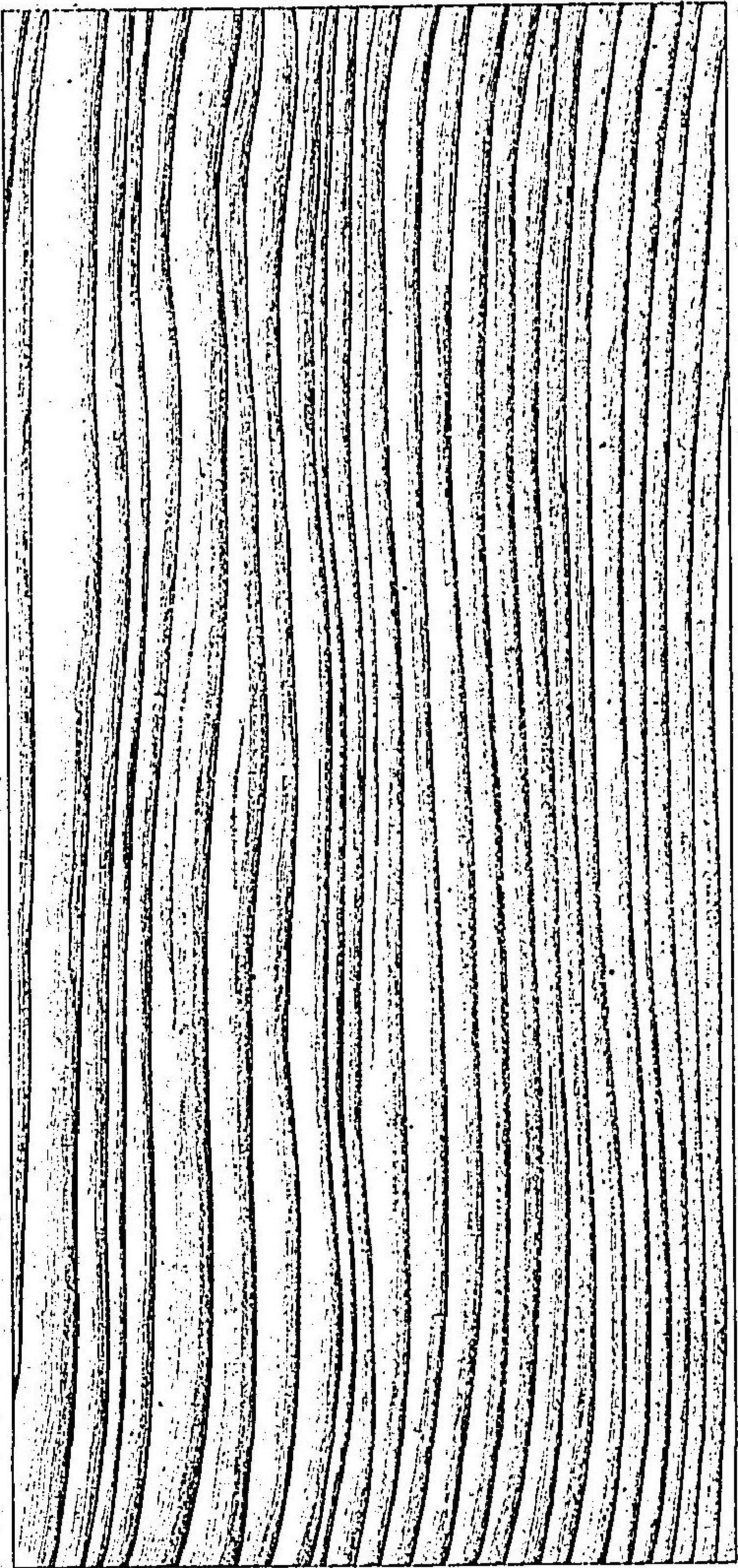
其材白色中心ハ淡赤色ヲ成シ脂氣最モ盛ンニシテ材ヲ斫伐シ或ハ立木ヲ傷クレハ許多ノ液汁ヲ流出ス質ノ堅硬ハ樟櫟ニ
及ハスト雖モ杉扁柏ニ比スレハ更ニ數等チ超ユ

其材長大挺直負重不撓ナルカ故ニ棟梁船體橋梁器械等ニ用フルニ宜ク其質脂氣多キヲ以テ之ヲ隄礙トシ殺水抗トナスニ
能ク久キヲ經テ朽腐セス之ヲ道路ニ植レハ炎日風雪ヲ蔽ヒ之ヲ庭院ニ栽レハ葱翠愛スヘシ其根ノ脂多キ者ヲ取リテ炬ト
ナス農家漁戸必用ノ物ナリ其脂ハ製シテ漆トナシ物ヲ塗リ以テ腐敗ヲ防シヘシ陶磁ヲ製スル亦必薪ヲ此樹ニ資ル凶歲ニ
至テハ貧民其内皮ヲ食シテ飢ヲ免ルヘシ

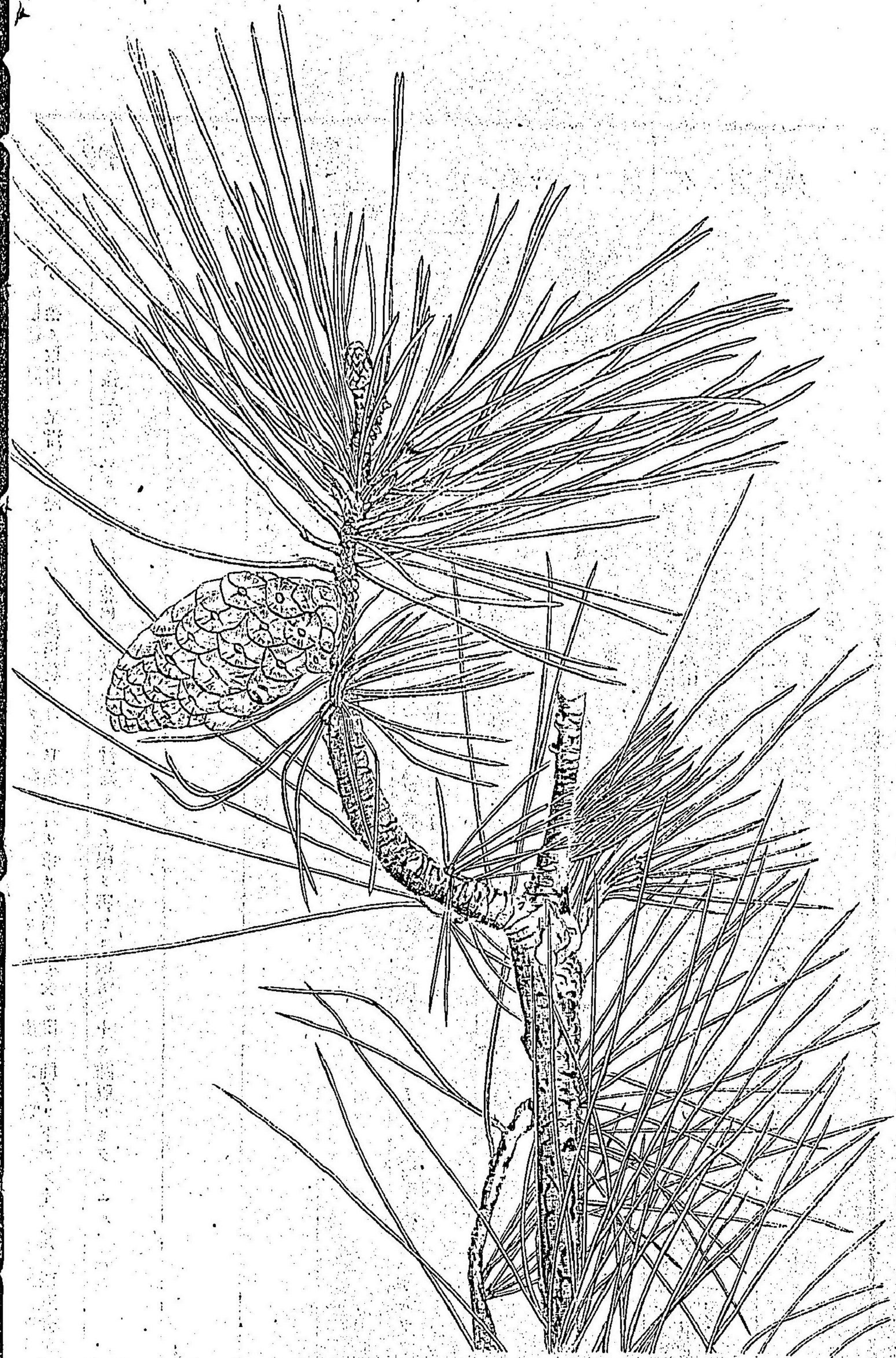
字說ニ云フ松柏ハ百木ノ長クリ而シテ松ハ猶公ノ如ク柏ハ猶伯ノ如シ故ニ其字公ニ從ヒ白ニ從フト
本草綱目ニ云フ老松ノ餘氣結シテ茯苓トナリ千年松脂化シテ琥珀トナル
註ニ云海チ去ル漸ク遠ケレハ松樹漸ク少ク

用 効

其材長大挺直負重不撓ナルカ故ニ棟梁船體橋梁器械等ニ用フルニ宜ク其質脂氣多キヲ以テ之ヲ隄礙トシ殺水抗トナスニ
能ク久キヲ經テ朽腐セス之ヲ道路ニ植レハ炎日風雪ヲ蔽ヒ之ヲ庭院ニ栽レハ葱翠愛スヘシ其根ノ脂多キ者ヲ取リテ炬ト
ナス農家漁戸必用ノ物ナリ其脂ハ製シテ漆トナシ物ヲ塗リ以テ腐敗ヲ防シヘシ陶磁ヲ製スル亦必薪ヲ此樹ニ資ル凶歲ニ
至テハ貧民其内皮ヲ食シテ飢ヲ免ルヘシ

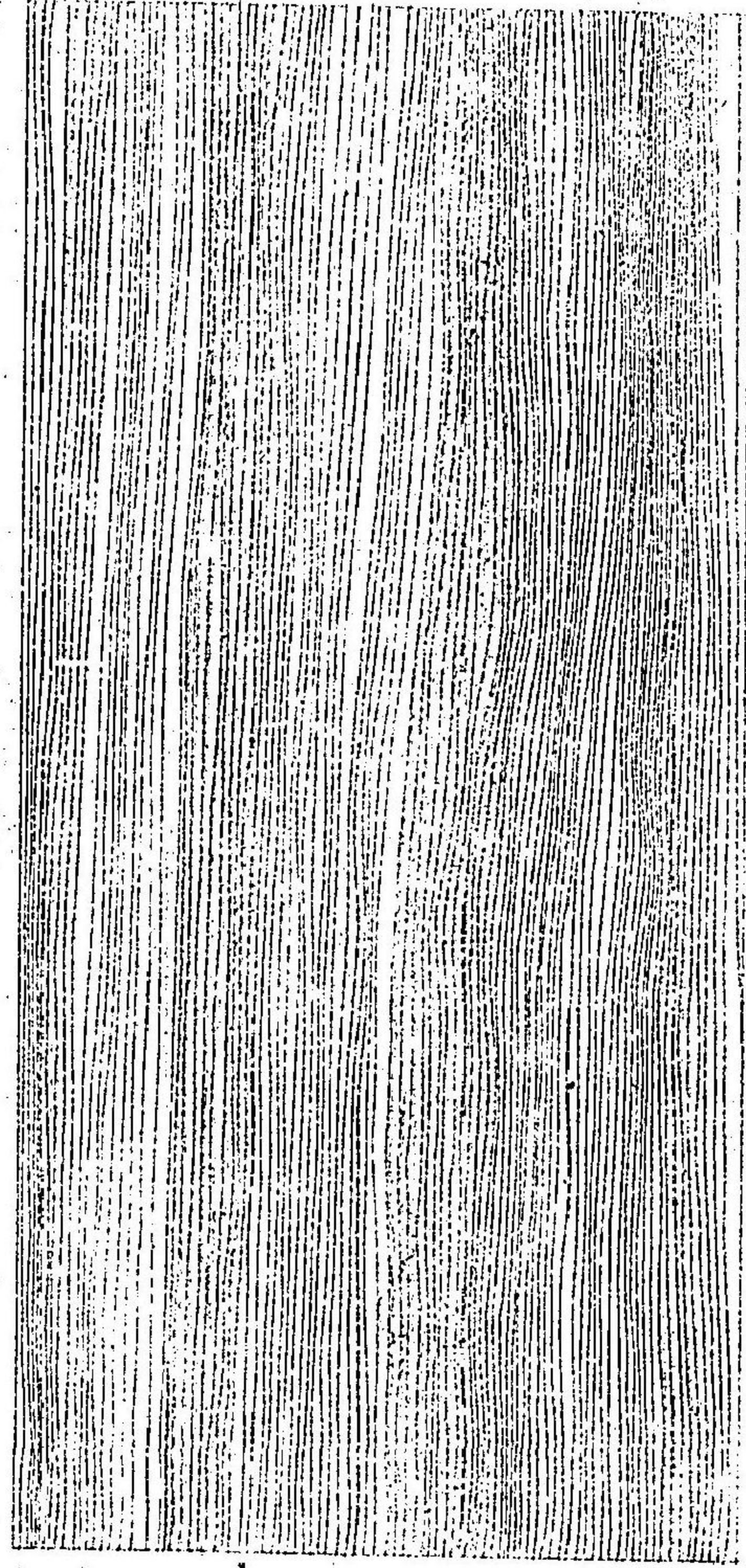


第六號
松ノ皮



第七號
提要
松柏科
喬木
針葉
常綠
諸用

種名	形						地適	
	根	幹	枝	葉	花	實		
赤松	高十餘丈圍二丈許ニ至ル者アリ外皮赤色ニシテ薄シ鱗形ナリサナ老樹ニ至テ幹脚較黒松ニ類似スル者アリ	黒松ニ比スレハ枝柯甚硬ナラス	二針黒松ニ比スレハ頗ル柔軟稀疎翠緑モ亦微シク淺シ	雌花雄花アリ皆黒松ニ同シ	松毬ノ形黒松ニ比スレハ亦較小ニシテ尖長ナリ	樹ノ喬大チ致スコトハ黒松ニ近シ順直ニシテ頗ル柔婉ノ態アリ故ニ俗ニめまつト稱ス秋月ニ至リ根土能ク草ヲ生ス〇一種 あいくろト稱スルアリ外皮黒色	地ノ肥瘠ヲ問ハス所在生シ易シ最高燥ノ黃赤土ヲ喜ヒ海濱砂石ノ地ニ至テハ甚稀ナリトス五畿東南諸道陸前丹波最多シ	
方名	ほかはつ							
漢名	赤松							
洋名	PINUS DENSIFLORA S. ET Z. ピニユス デンシフロラ							
種	藝			養培	護保	質材	効用	雜說
植實	植苗	條摺	接嫁					
法黒松ニ同シ		法黒松ニ同シ				白質微黄堅重ニシテ多ク膩氣ヲ含有シ久シキニ堪テ朽敗セス木理疎直ニシテ彈力アリ其功作ニ便ナルコトハ黒松ニ優レリトス尾張國ヨリ出ス所ノ細丸太ト稱スル者皮色甚ク美ナリ工匠ノあかまつ板ト稱スル者ハ落葉松ナリ甚ク混シ易シ	船艦家屋器械薪炭等ニ至テ効用極メテ多シ其脂亦用ユヘシ〇庭園ニ栽テ雅致アリ葉ノ白斑アル或ハ皺縮變戻スル等最花戸ノ賞スル所トス 單味甘美ニシテ奇香アリ醴類中ノ第一品トス	春月新條ノ下ニ白茸ヲ生シ中ニ雌雄ノ二蟲アリ後ニ羽化シテ出ツ狀黃蛇ノ如シ〇此樹ニ生スル虫ヲマツゲムシト云或ハ多産シテ一山ヲ禿スコアリ之ヲ取テ醜ニ納レ地ニ埋ムルハ松脂トナルト云フ



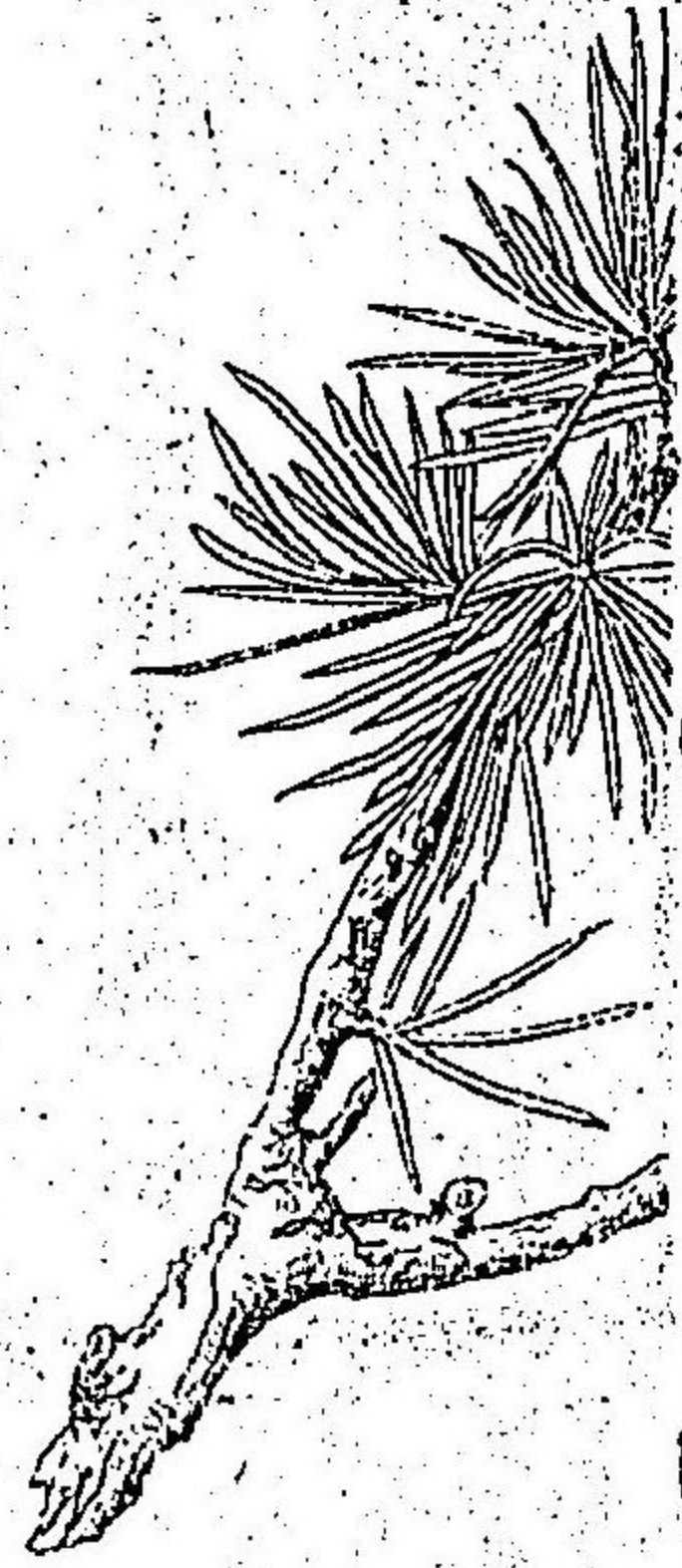
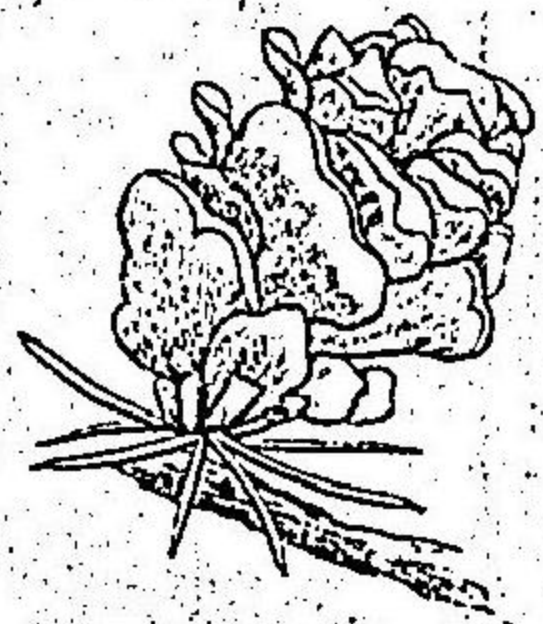
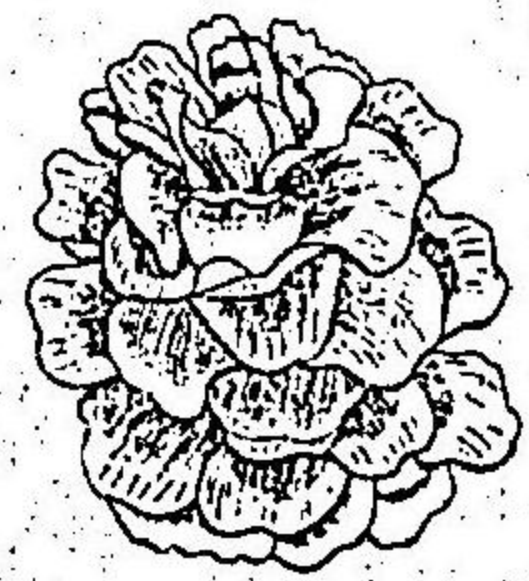
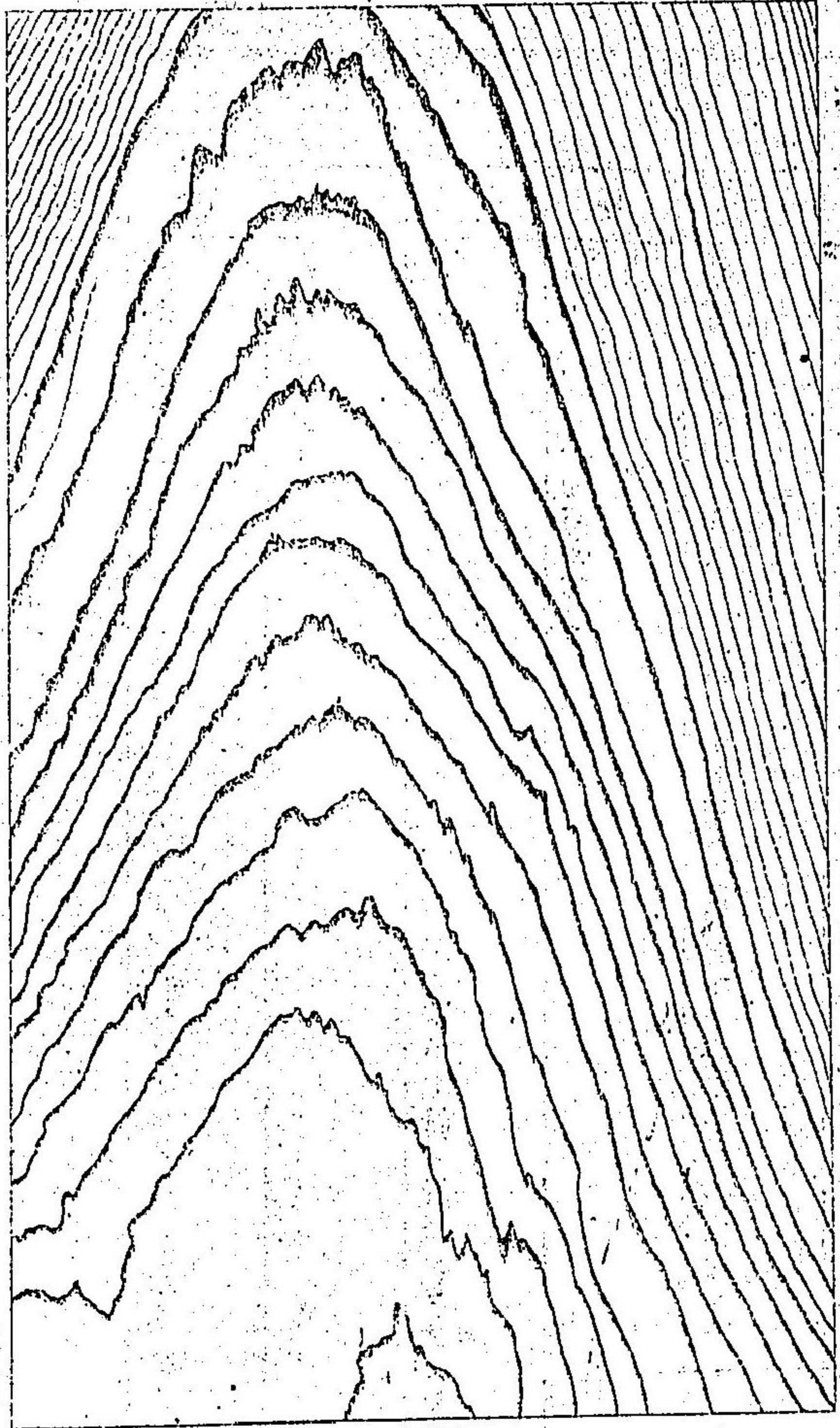
第七號
あかまつ



第八號
提要
松柏科
喬木
針葉
落葉
建築船體

種名	形 狀						地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	
ふじまつ	黒松ニ同シ	大ナル者高七六丈圍丈許 外皮緒黒薄シテ甚粗ナラス	枝條細長柔婉ナリ	枝ノ節毎ニ輪狀ナシテ圍生ス淺青光潤細長ニシテ扁薄柔婉ナリ其形黒松葉ノ硬壯銳刺ニシテ釵ヲナスモノニ殊ナリ霜ヲ經テ凋零ス	花ニ雌雄アリ雄花ハ嫩枝新葉ノ間ニ生シ雌花ハ其下ニ附ク形皆黒松ニ類ス	卵形尖頭ニシテ鱗刺ナシ毎鱗亦尖頂其子黒松子ニ比スレハ較肥大ナリ	此樹海面ヨリ四百四十間以上六百六十間ニ至ルノ高地ニ生スルヲ天然ノ定度トス故ニ高山寒冷ノ地ニ長茂ス富士山中腹ニ甚多シ故ニ名ツク日光山之ニ亞ク故ニ又日光松ノ稱アリ高野木曾諸山モ亦大樹良材多シ
からまつ							
漢名	落葉松						
洋名	PSEUDOLAKIX KAEMPFERI LINDL. セウドラリキス ケンフェリ						

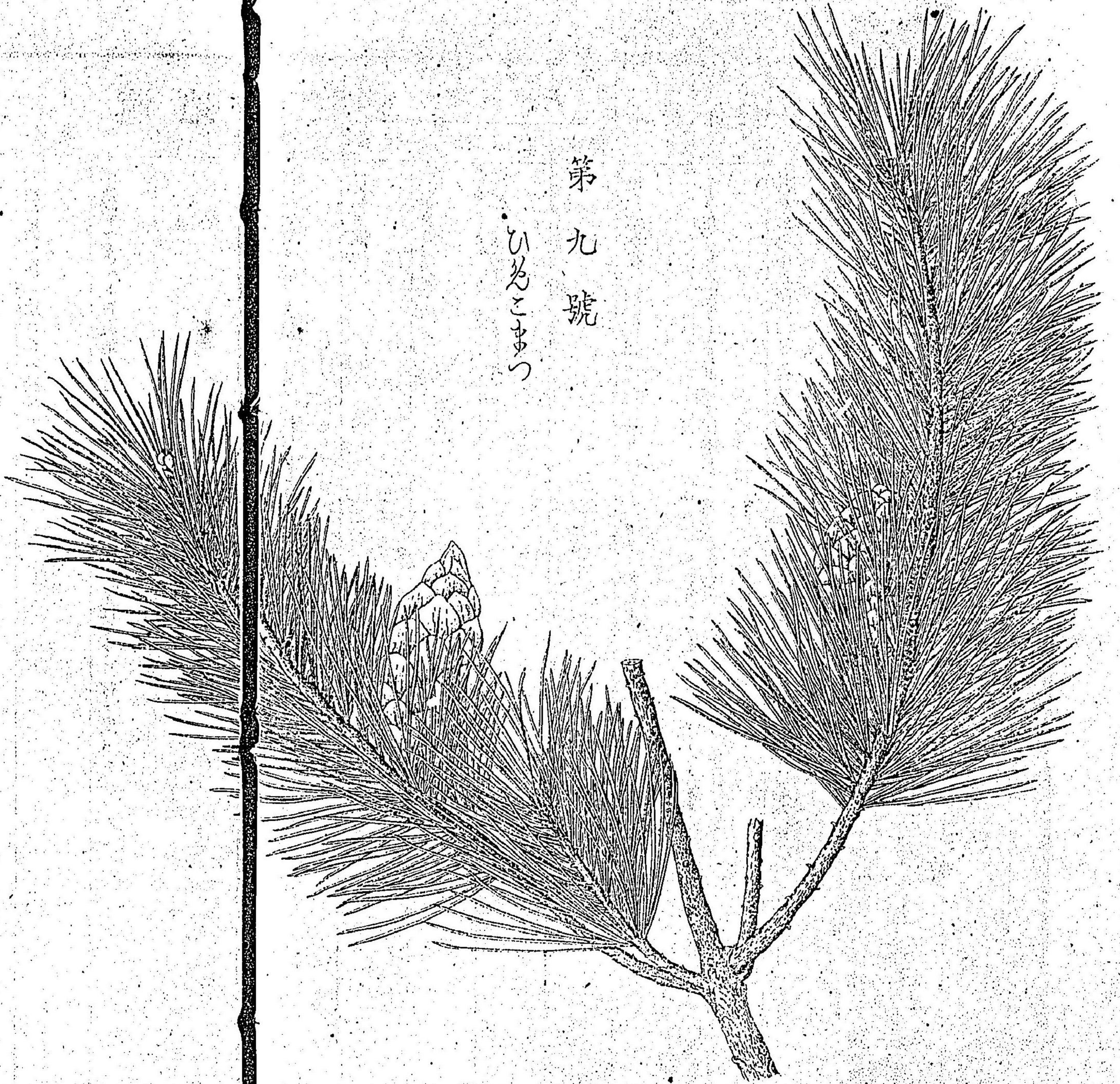
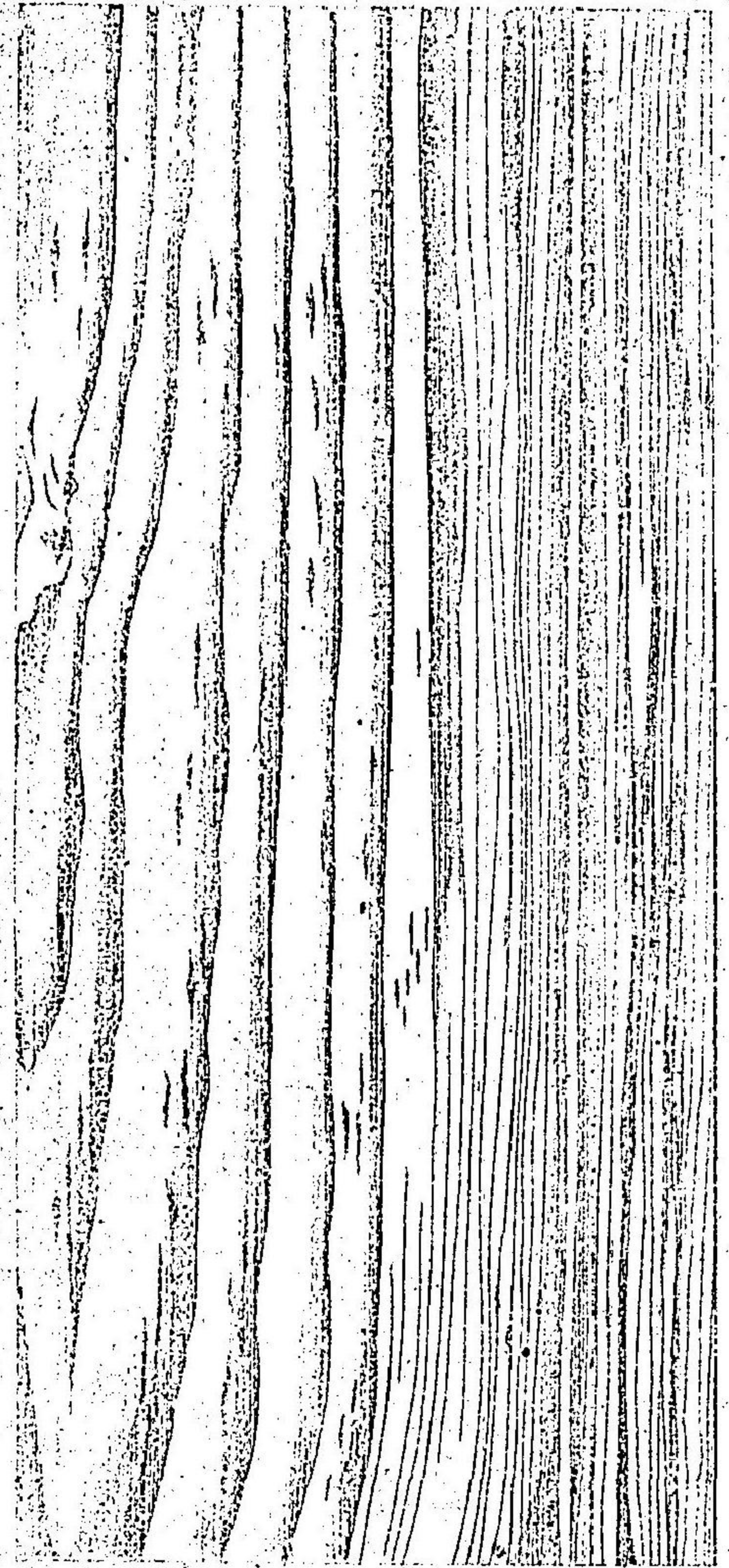
種 名	藝 種					養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說
	條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質					
黒松ニ同シ				黒松ニ同シ	種子ヲ下シテ生シ易シ其法黒松ニ同シ	黒松ニ同シ	山地ニ栽植マテ林ヲ成スモノハ雜草ヲ除去スルノ外ニ他勞ナシ樹ノ長大ナルニ及ヒ下草復タ生セス	材質微赤ナリ故ニ木商あかまつト呼フ脂膩頗ル多ク木理疎直ニシテ甚堅硬ナラス水ニ置テ久シク朽壞セス	家屋ヲ建築スルニ最良ノ材トス船體其他諸器具ニ至リ其用ニ任ヘサルナシ	



第八號
ふとまつ

第九號
提嬰
松柏科
喬木
針葉
常綠
諸用

種名	形態							地適
	根	幹	枝	葉	花	實	全體	
<p>名通 かめこまつ</p> <p>名方</p> <p>名漢</p> <p>名洋 PINUS PARVIFLORA S. ET Z. ラ ビニユス パルツイフロ</p>	<p>高四五丈圍五六尺ニ及フ者多シ樹皮薄フシテ鱗甲チナサス赤色微紫チ帶フ</p> <p>枝條甚ク長大ナラス</p>	<p>赤松ニ類シテ較細ク長二寸ニ盈タス五針接生ス或ハ七針ニ針齊シカラヌ面淺緑ニシテ背微白ナリ四時凋マヌ</p> <p>黒松ニ同シ雌花雄花アリ</p>	<p>形赤松實ニ似テ瘦長ナリ粧ニ附テ生ス初淺青漸ク長シテ翠色次年ニ至リ黒褐鱗砌折ケテ子落ツ</p> <p>枝條稠密ニシテ潤翠秀麗ナリ</p>	<p>深山中ニ産スル者ニ非レハ喬大ヲナサス往々深山ニ林ヲ成スモノアリ山腹陽燥ノ土ヲ喜ンテ深谷陰濕ノ地ニ適セス而シテ原野庭園ニ栽植シテ亦能ク繁殖ス</p>	<p>實植 秋季子實ヲ收メ春分ニ下種ス法黒松ニ同シ</p> <p>苗植 黒松ニ同シ</p> <p>挿條 啓蟄前後嫩條ヲ挿ス</p> <p>嫁接 黒松ニ同割接チ宜シトス</p> <p>壓條</p>	<p>培養 洗魚水油糞ノ類ヲ與ヘ肥料トス糞汁ヲ澆クコト度ニ過レハ蟲ヲ生ス</p> <p>保護 蟲ヲ生スレハ韭ヲ搗テ其汁ヲ澆キ或ハ硫黃粉ヲ撒ス</p> <p>材質 其材白色中部淡黄赤チ帶フ木理疎ニシテ黒松ニ比スレハ更ニ柔軟チ加フ且水濕ニ置テ久キニ耐ヘ難シ</p> <p>効用 板チ作リテ障子ノ類チ製ス其他所用廣シト雖朽敗シ易シ然レモ之ニ漆スレハ他材ニ殊ナラス盆櫃類器器ノ質多ク此材チ用ユ又碓杵トナシテ最モ妙ナリ</p> <p>雜說 同防國錦帶橋ハ此木チ以テ橋梁トナスト云フ○庭院ニ植ヘ或ハ盆栽トナス楚々愛スヘシ</p>		

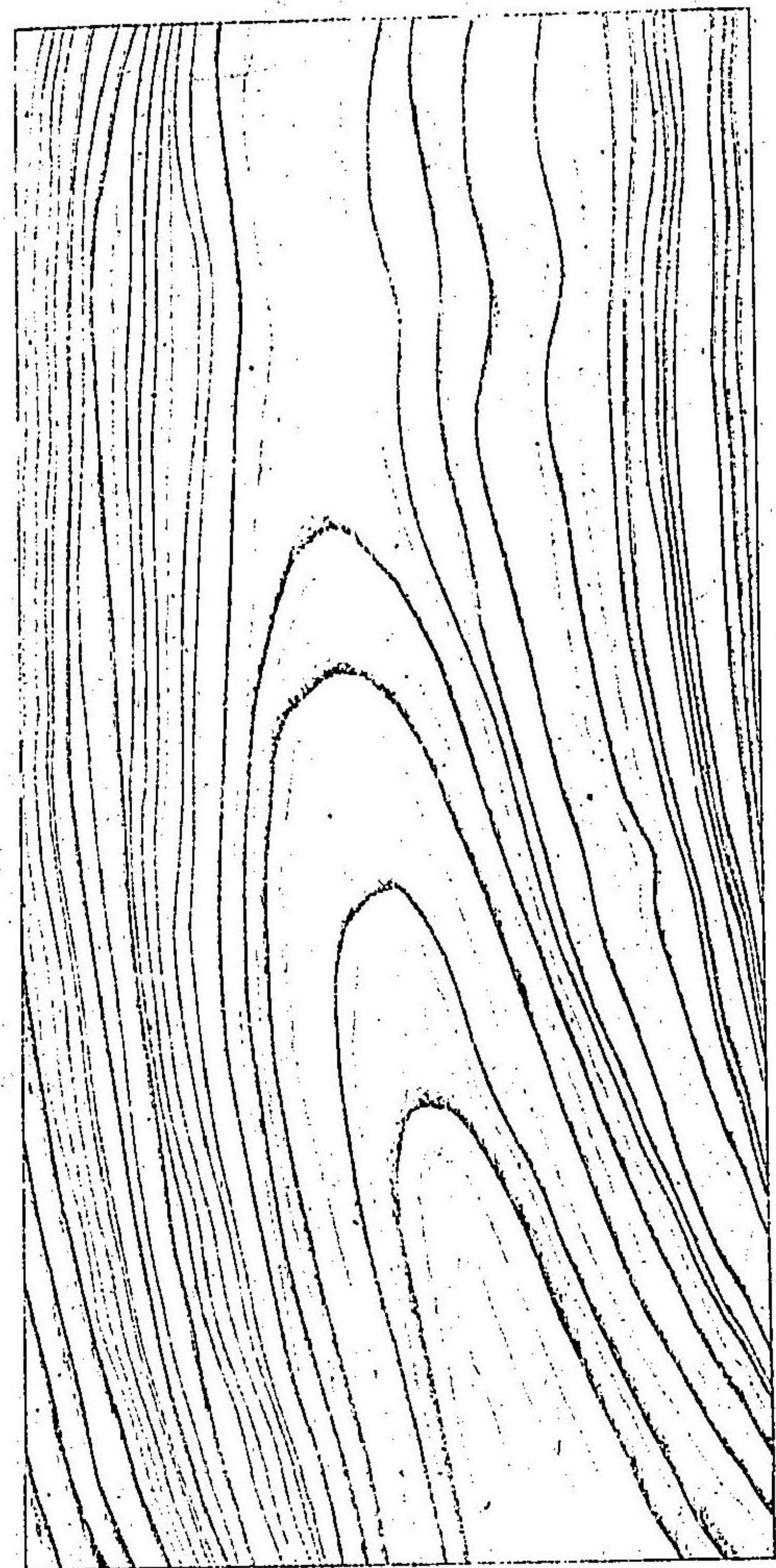


第九號
いねこまの

提 要
 松 柏 科
 喬 木
 針 葉 綠 木
 常 綠 樹
 桶 匣 箱

第十號

種 名	形 狀						地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	
俗 名 羅 漢 松 俗 名 披 又 棋 洋 名 PODOCARPUS MACROPHYLLA DON. ホドカルピユス マクロヒルラ	幹身端直高四五丈圍八尺許樹皮灰白ニシテ軟ナリ縦理旋縁シテ淺皴チナス 枝柯繁稠小枝ハ翠色ニシテ軟ナリ 其葉長サ三寸許潤サ二三分深翠ニシテ厚ク縦理一條アリ小枝ニ旋掛シテ生ス一種短葉密生スルモノヲテウゼンキト稱 ス多ク庭樹ニ用ユ 雄木雌木アリ雄花ハ細小葉莢狀チナシ雌花ハ更ニ短小ナリ 楕圓ノ子實チ累生ス上ナル者即チ種子ナリ共色青黄ニシテ大サ大豆ノ如ク下ナル者即チ肉ナリ紅色ニシテ皆瑣明色ヲナス味甘レテ脂氣アリ咬フヘン水松實ニ似タリ 森然蒼鬱金松ニ比スレハ較疎ナリ 產地頗ル多シト雖暖地ニ在テ最モ能ク繁殖ス紀伊土佐多ク良材チ産ス	體 全 實 花 葉 枝 幹 根	種 質 下種シテ生ス	植 苗 春分ニ嫩枝ヲ剪リ潤地ニ挿ム最モ活シ易シ	條 壓 接 嫁 條 摺	藝 種 材 質 材色淡黄ニシテ膩氣多ク肌理直ニシテ堅硬ナラス土中水裏ニ置ケハ久ニ耐ヘテ朽敗セスト雖乾燥所ニ用テ他材ニ及フ能ハス 桶及匣箱ノ類チ作リテ最モ佳ナリ又内皮ヲ以テ節トナシ船及桶類ノ罅隙チ塞ク其用廣シ 人家多ク栽植シテ以テ庭院ヲ粧飾シ或ハ以テ藩籬トナス 果實ノ狀襍子ノ袈裟チ被ルニ似タリ故ニ羅漢松ノ名アリト云フ	名 通 方 名 漢 名 洋 名



第十號
中
女

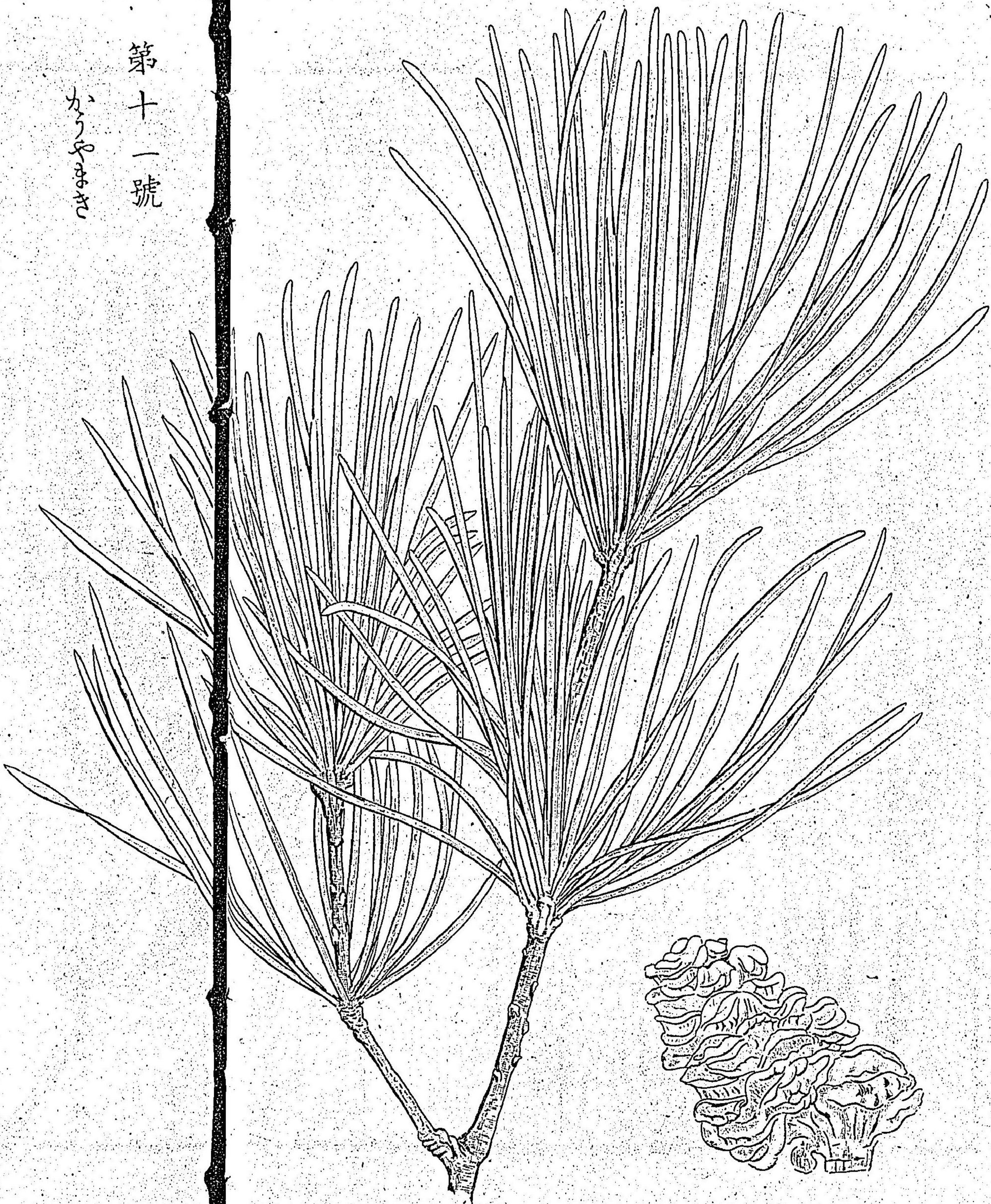
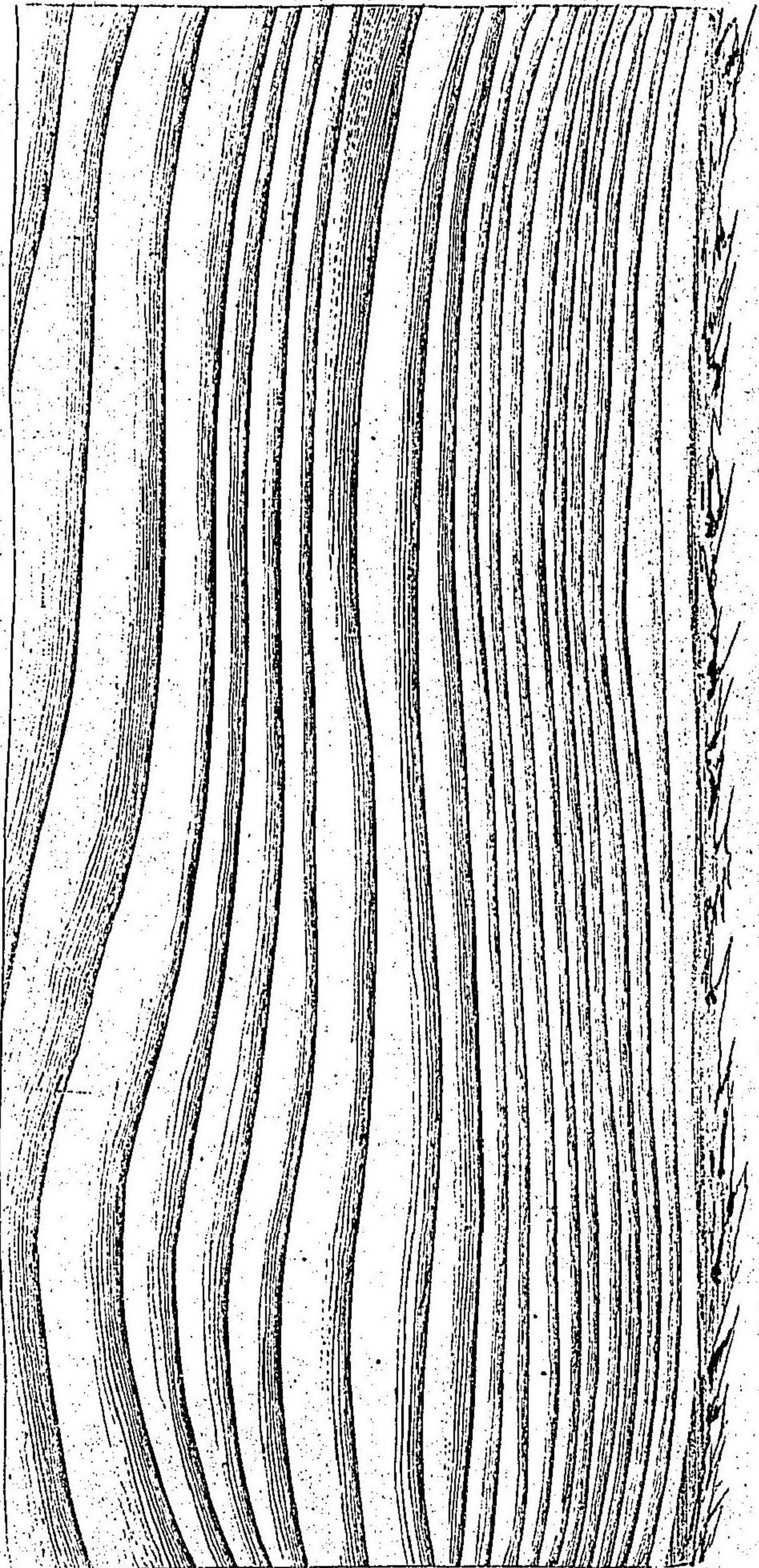
提 要
 松 柏 科
 喬 木
 針 葉 綠 用
 諸 常 用

第 一 十 號

種 名	形 狀							地 適	
	根	幹	枝	葉	花	實	全 體		
かうやま松 名 方 たうま松 名 漢 金 松 俗 椈 又 楨 名 洋 SCIADOPYTIS VERTICILLATA S. TE Z. シアドピチス ヴェルチセラタ	直根ノ土中ニ穿入スル最深ク旁根モ亦頗ル蕃行ス 大ナル者高八九丈剛丈餘ニ及フ者多シ其表皮黒赤ニシテ杉樹ニ類シ内皮深赤色ヲ成シ輕軟ニシテ厚ク 枝柯繁稠ニシテ其長大ナル者微ク下垂ス小枝ハ其皮薄フシテ灰色ヲ成シ層々節ヲナス 小枝ノ層節毎ニ圍繞叢生シ傘形ヲナス狀大葉麥門冬葉ノ如クニシテ短シ長三四寸厚フシテ賦潤光澤アリ冬ヲ經テ凋零セ ス 小枝頭ノ新葉ニ附テ黃粉花ヲ生ス是レ雄花ナリ雌花ハ短小ニシテ其下ニ着ク 狀黒松毬ニ類シテ大ナサ半許其鱗砌ハ松毬ニ比スレハ較潤大ニシテ厚硬ナリ秋季砌拆ケ子落ツ子ハ茶褐色翅羽ヲナシテ中央ニ仁アリ 幹身端直森萃鬱葱トシテ圓錐形ヲナス之ヲ望テ其壯麗ナル松柏樹中ノ最トス 樹性深山幽谷ノ地ニ適應シ巖石嶮岨ノ地ト雖能ク生殖ス紀伊高野山中最多ク產出ス故ニかうやま松ノ名アリ薩摩近江土佐及木曾山中亦產ス家園ニ栽植スル者ハ喬大ヲナス者稀ナリト雖猶數丈ニ至ルモノアリ	實 粘土或ハ黒壤土ニ下種スルモ生シ難シ黒墟土又ハ樹葉ノ枯腐シタルノ地多ク植物質ヲ含ムノ土ニ宜シ且陰地ト成サレハ生セス故ニ熟實ヲ採リ即時下種スルヲ上トス一説ニ或ハ雪霜ノ爲メ傷害セラルヲ恐ル者之ヲ貯收シテ春分ニ下種ス 法松樹ニ同シ	種 植 實 法松樹ニ同シ	藝 條 壓 接 嫁 條 摺	養 培 嫩小ナル者ハ夏月ノ日影ヲ蔽フニ注意スヘシ	護 保 其材白色ニシテ微黃ヲ帶ヒ微芬アリ肌理疎直ニシテ其質輕軟ナリ然レモ脂氣アルヲ以テ水濕ニ置テ久ク朽腐セス	質 材 桶ヲ作ル此材ヲ以テ最トス船材屋材ノ用ニ任ヘサルナク板トナシ雨濕ヲ防ク最妙ナリ又諸器具ヲ造ルニ功作ヲ施シ易シ此樹古來寺院ニ栽植セル者多シ庭園ヲ粧飾スルニ其淨雅壯麗極メテ愛スヘシ又盆玩ニ供スヘシ葉ニ白斑ヲ交ユル者ニ至テハ最美觀ナリ	用 効 此樹歐洲人ノ最モ愛玩スル所ナリ桃葉珊瑚及ヒまささ等ノ如ク繁殖ノ速ナラサルノミナラス樹形ノ殊ニ美ナルヲ以テナリ	說 雜

第十一號

かうやあき

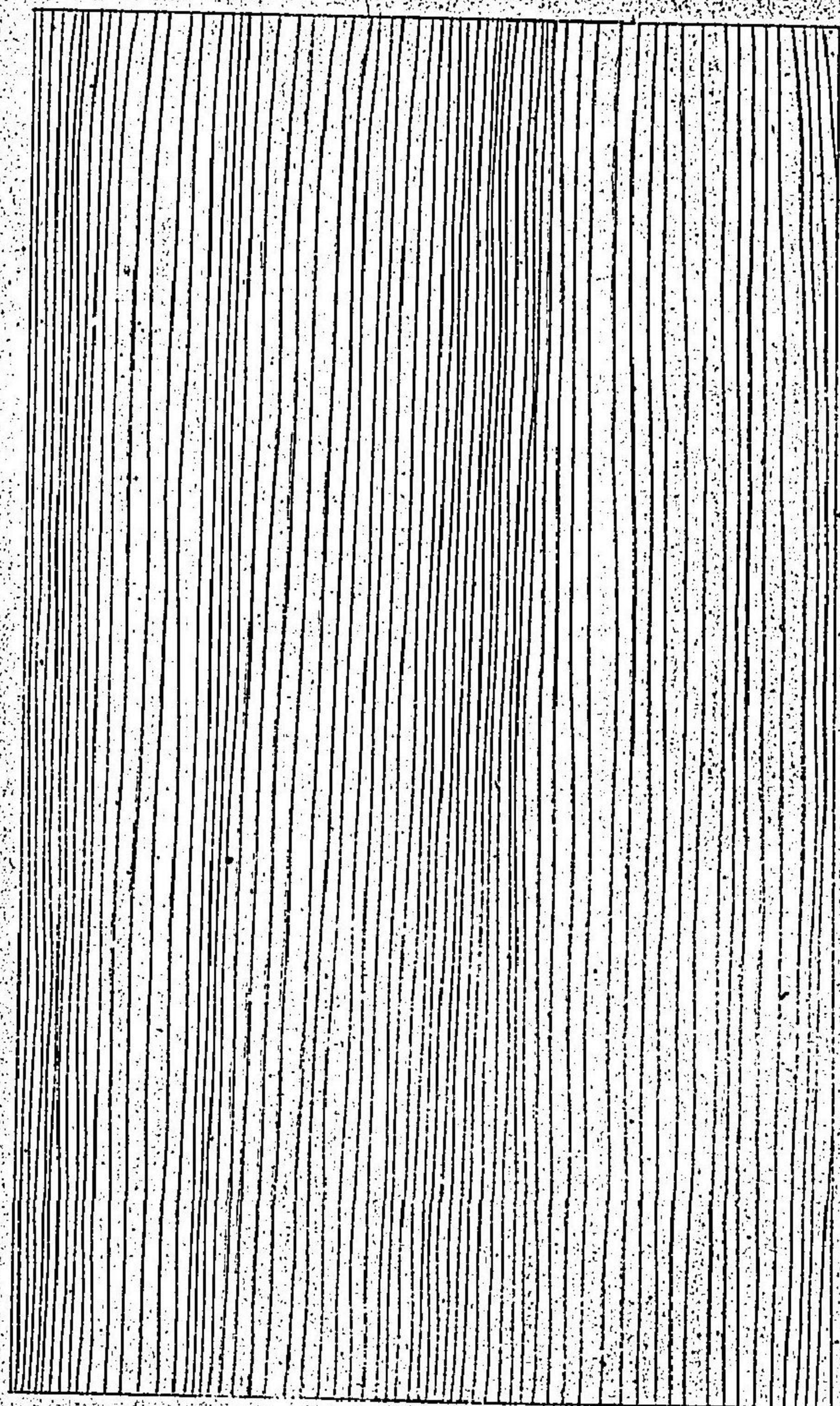


地適	狀形						稱名
	體全	實	花	葉	枝	幹	
<p>此樹最生シ易ク地トシテ産セザルナシ最黄土赤壤ヲ喜フ但斥鹵砂地ニ適セス深山幽谷ニ生スル者生成甚速カニシテ材モ亦良直ナリ性平地ニ孤立スルヲ喜ハス衆木ト互ニ依持シテ成長スルヲ宜シトス 紀伊大和土佐薩摩三陸參河遠江ニ産スルヲ最有名トス</p>	<p>花ト同時ニ枝頭ニ結フ狀小鈴ニ似タリ尖頂ノ鱗砌ヲ爲ス其老ルニ及テ砌拆ケテ子落ツ</p>	<p>雌花雄花アリ雄花ハ枝頭又ハ葉腋粟粒ノ大サノ如キ者ヲ簇生シ黄粉花ヲ着ク雌花ハ小圓ナリ</p>	<p>嫩枝ニ附テ密生シ完膚ナシ其末硬尖ニシテ刺狀ヲナス長サ四五分老樹ハ較短シ</p>	<p>頗ル稠密四方ニ平出ス</p>	<p>端直高聳高サ十餘丈圍二三丈ニ及フ者アリ外皮赭色重皮層ヲトシテ厚キコト四五分條散ヲナス</p>	<p>通名</p>	
						<p>漢名</p> <p>杉</p>	<p>洋名</p> <p>CRYPTOMERIA JAPONICA DON. クリプトメリア ジャポニカ</p>

種	藝						種
	條匹	接嫁	條摺	植苗	植質	種	
<p>三年ニシテ移栽ス</p>	<p>下種シテ生シ易シ秋季種子ヲ收メ春分ニ下種ス</p>	<p>春分嫩枝ノ大サ指ノ如クナル者ヲ斫リ長サ一尺半下半ノ枝葉ヲ去リ本ヲ批テ馬耳狀ヲナシ杖ヲ以テ畦泥ヲサシ之ヲ挿ム深サ五六寸脚踏シテ堅固ナラシム○又一法枝ヲ斫ル前ノ如クシ預メ土脈ヲ作り數百ヲ刺挿シ池水ニ浸シテ浸セサラシムルヲ三十日其白細根ヲ生スルヲ候ヒ之ヲ畦ニ挿ム</p>	<p>稚苗ヲ發ヒ及移栽スル者ハ頻リニ澆テ乾燥セサラシムルヲ要ス</p>	<p>苗ヲ養フニ矮棚ヲ搭シテ夏日ヲ蔽フ冬月ハ暖蔭ヲ作テ霜雪ヲ禦クコ最モ肝要トス矮林ハ漸長スルニ隨ヒ曲弱ナル者ヲ洗伐シテ日光ヲ射入セシム</p>	<p>淡赤ニシテ脂潤多ク香氣アリ質堅實ナル者ヲ赤杉ト云白色ニシテ脂少ナキヲ白杉ト云質較虛脆ナリ木理通直ニシテ甚堅硬ナラス鋸鋸鉋削皆力ヲナシ易シ且重量ナラサルヲ以テ運搬モ亦便ナリ面シテ性能水濕ニ堪ヘ之ヲ水ニ浸シテ久ニ耐ヘ朽ルコトナシ</p>	<p>家屋船艦橋梁ヨリ戸墻柱板箱諸器ニ至ルマテ民用ノ利タル極メテ廣シ凡ソ酒ヲ釀シ醬ヲ造ル其桶樽皆此材ニ資ラサルナシ又炭トナスヘシ又赤色奇香あぶらそぎト稱スル者ノ木片ヲ取テ酒中ニ投シ其氣味ヲ助ク樹皮ハ以テ屋ヲ葺クヘシ久キニ耐ルコト板ニ讓ラス</p>	<p>箱根湖中及丹後若狭海濱ニ出ル神代杉ト稱スル者又薩摩ニヤクサト稱スル者即陰櫛ナリ是レ久シク水土中ニ埋沒セル者ナリ其質甚黒色器具ヲ作ルニ奇觀ナリ本草綱目ニ曰杉木倭國ニ出ル者倭木ト云フ合璧事類ニ曰杉木倭國ニ出ル者最佳ナリト我邦古昔杉木ヲ輸賣スル知ルヘシ○山家杉實ヲ晒シ苦澁ヲ去リ飯ニ糝テ之ヲ食フ又豚ヲ養フヘシ</p>

第十二號

女
生



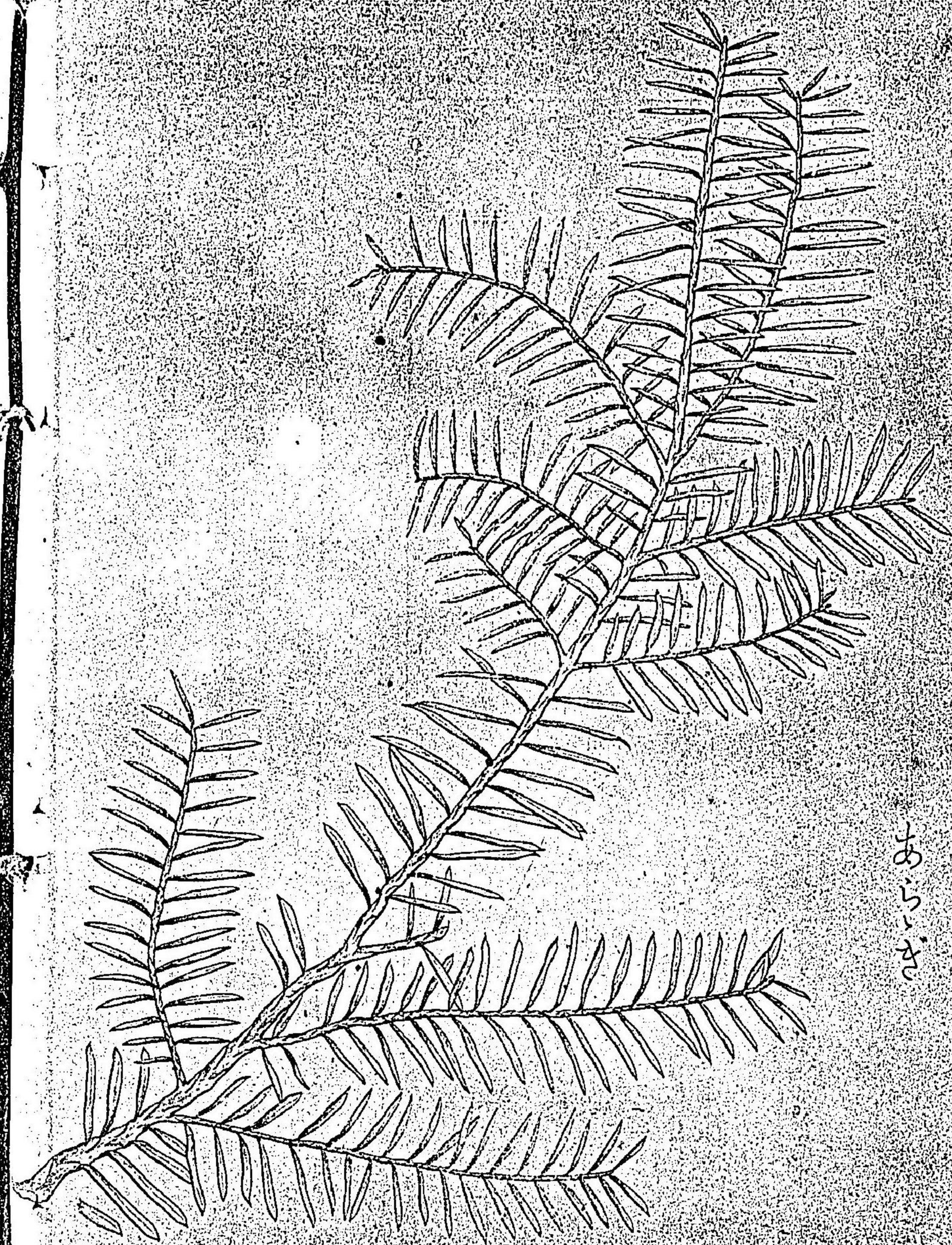
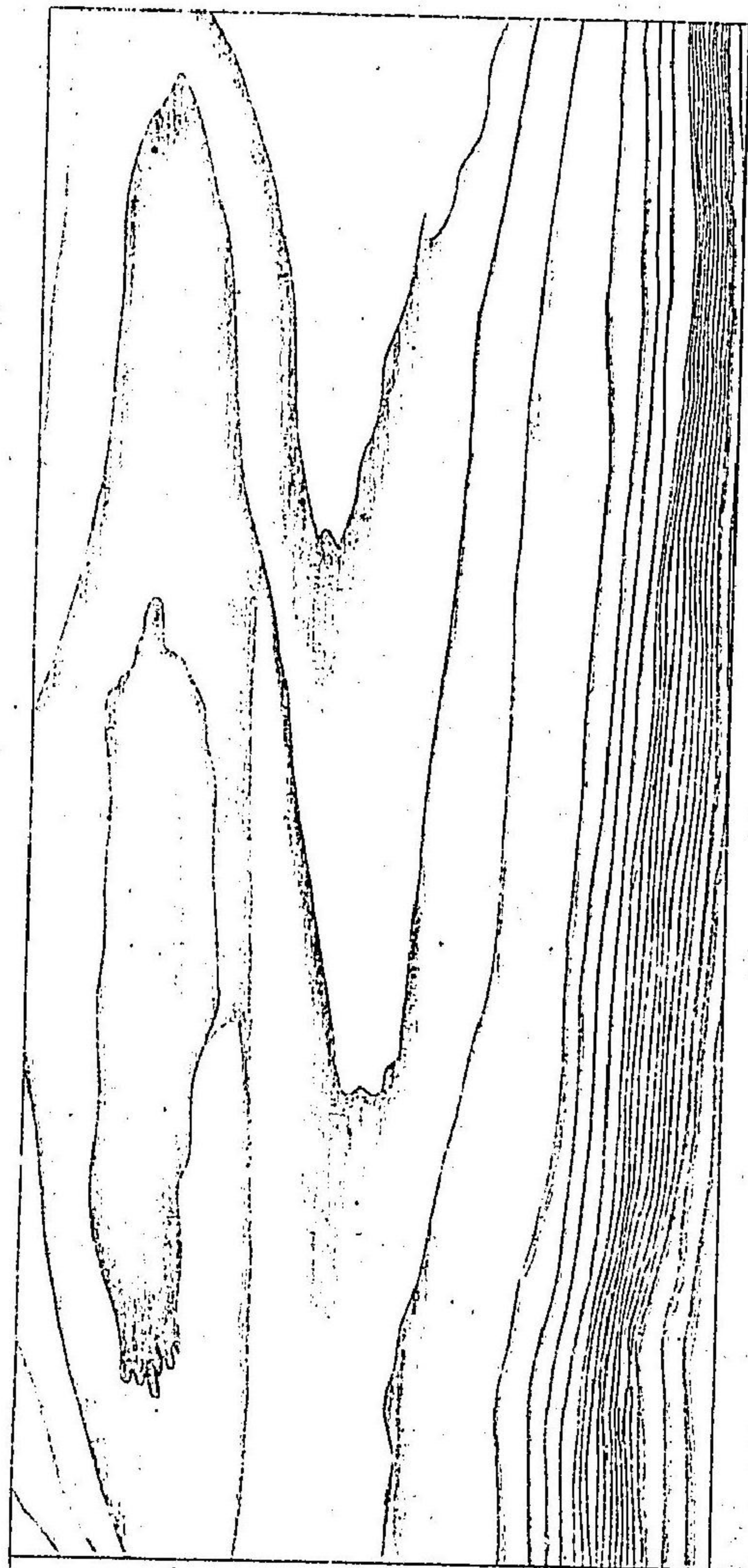
諸常針喬松
器綠葉木柏科

提要

號三十第

種	藝	養培	護保	質材	効用	雜説
下種レテ生ス				材色新層白中層淡赤ニレテ紫ヲ帯フ肌理緻密ニシテ美ナリ飽滑シテ光澤アリ且粘カアリテ折レヌ板ヲ作テ反張折裂セズ	古者此材ヲ用テ笏ヲ作ル故ニ一ニさくのきト名ク楊弓ノ矢ヲ製シ又器具机案トナシテ甚々雅致アリ老樹ニ至テハ木心ノ腐蝕スルモノ多シ板ヲ作テ其木理一層美ヲ加フ	俗ニ此材魔鬼ヲ却クト稱シ笏ヲ作テ大ニ珍重ス

地適	形							稱名				
	體全	實	花	葉	枝	幹	根					
寒土暖地ヲ問ハス深山中岩アリ山腹ニ繁茂シ原野平地ニ生セス飛騨位山ニ産スルモノ最有名ナリ	森然直立シ深翠蒼鬱タリ大樹ハ枝條微垂ス	初メテ生スルヤ綠色ニシテ粒狀ヲナシ形チ鱗質ノ初生ノ如ク熟スルニ及ヒ肉飄膨脹シテ大サ二分許紅色ヲナシ頭開テ莖狀ヲナシ核チ見ハス核黒褐ニシテ形チ梨子核ニ似タリ此紅色ノ肉味甘クシテ少ク脂氣アリ味フヘン	雄本雌本アリ花ニ雌雄アリ雄花ハ枝梢ノ葉腋ニ至小ノ黃花ヲ掛録シテ魚鱗狀ヲナス雌花ハ小圓尖頂ナリ	形榧葉ニ似テ較小ニシテ薄シ面深翠ニシテ背淡シ中心ニ一縱道アリ尖頂ニシテ刺チナス互生スト雖用微ク揚起シテ排生スルモノ、如シ	繁密ニシテ小枝多シ	樹幹端直高五六丈圍亦丈許ニ及フ木皮黒赤ニシテ薄ク皺散セス	根	名通	名方	名漢	水松	名洋
												TAXUS CUSPIDATA S. ET Z.
												タキシユス キユスビダ



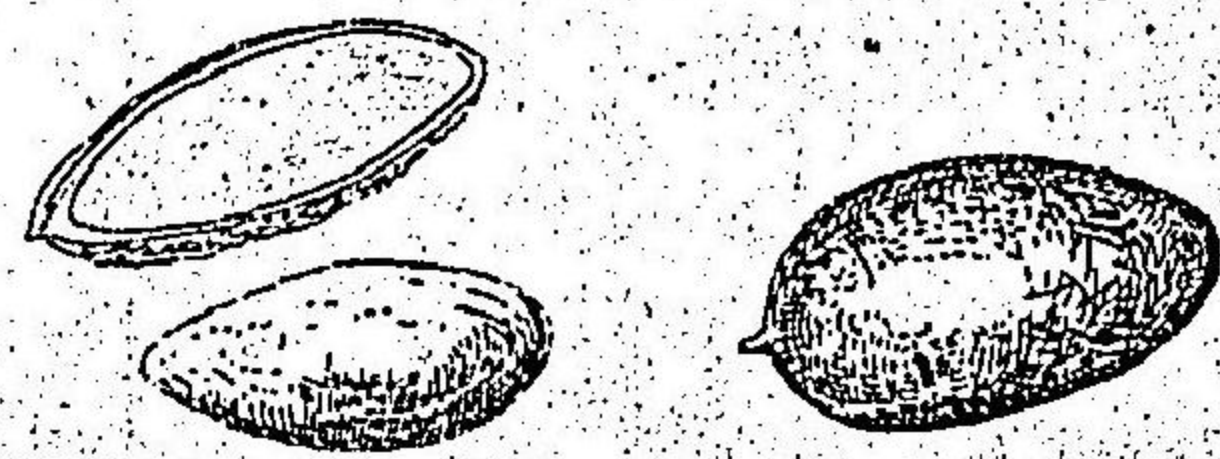
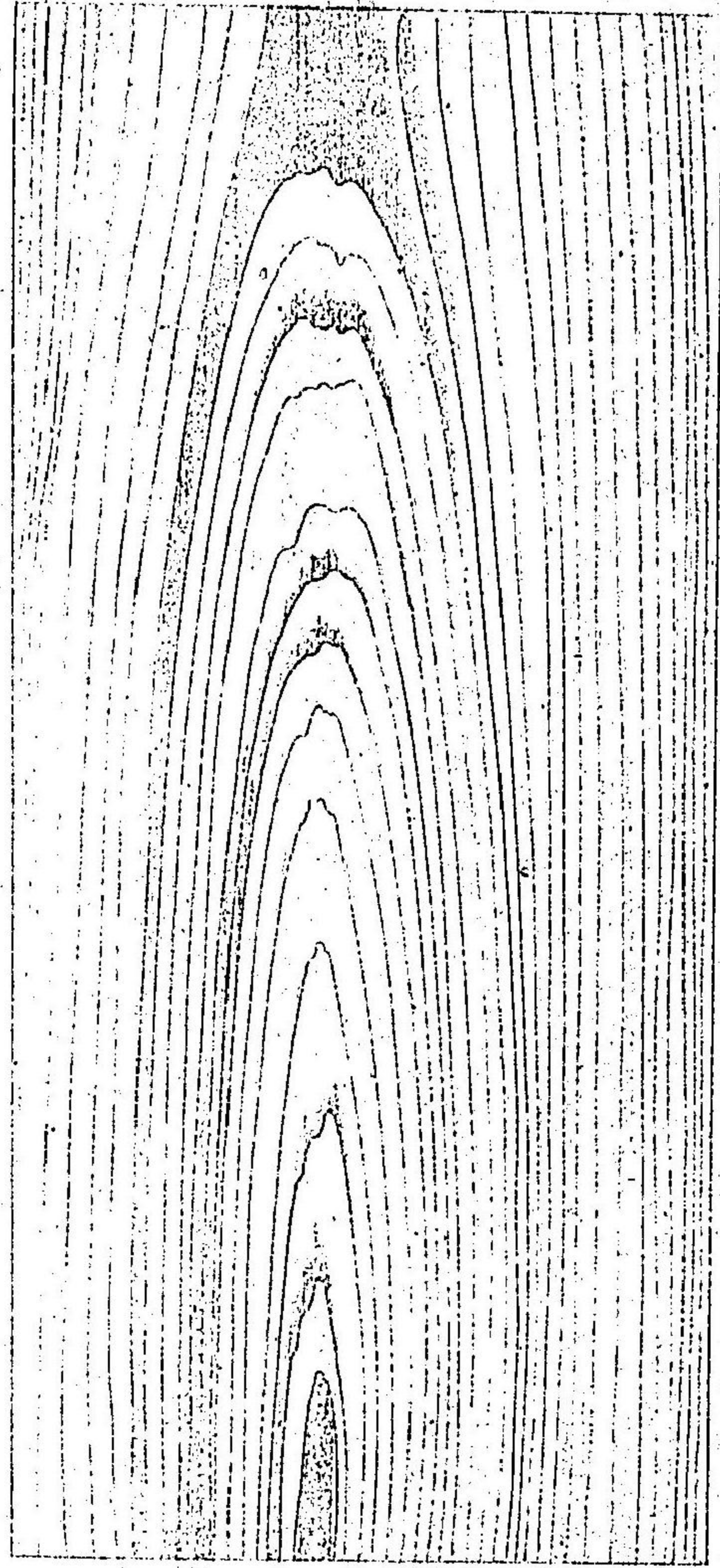
第十三號
あらさき

提 要
 喬木科 松 杉 類
 常 緑 樹 類

第十四號

地 適	形 狀							稱 名												
	體 全	質	花	葉	枝	幹	根													
<p>溫暖微濕ノ地ニ適ス人ノ栽植ヲ待タズシテ山野ニ自生スルモノ稀ナリ大和吉野ノ民家多ク栽植シテ產出スよしのかやト稱ス紀伊ノ高野攝津ノ能勢及ヒ近江三河陸奥ノ地方モ亦多ク產出ス</p>	<p>喬木ナル者高五六丈圍二三丈許ニ及フ</p>	<p>枝柯繁密ナリ俗ニ枝硬ニシテ微シク揚起スル者ヲ雄トシ細軟ニシテ微シク下垂スルモノヲ雌トス</p>	<p>長寸許潤一分厚シテ深緑櫛比對生シテ尖頭刺ヲナス俗ニ雄ナル者ハ硬刺雌ナル者ハ細軟ナリトス</p>	<p>雌本雄本アリ雄花ハ春初枝梢葉腋ニ粟粒狀ノ如キモノヲ生シ至小ノ黃花ヲ着ク雌花ハ綠色ニシテ小圓ナリ</p>	<p>橢圓ニシテ形果實ノ如ク長サ寸許初メ青色熟シテ紫赤ヲ帶フ内ニ肉瓤アリテ核ヲ包ム核モ亦圓長ニシテ兩頭尖リ淺茶色ヲナス中ニ仁アリ白色微黃ニシテ外面ニ澁皮アリ或ハ實ノ形圓ナル者アリ又一種白核ニシテ澁皮仁ニ着カサルモノアリ</p>	<p>老ろかや或ハ志ぶなしがやト呼フ</p>	<p>喬登繁柯四時葱々愛スヘシ</p>	<table border="0"> <tr><td>名 通</td></tr> <tr><td>かや</td></tr> <tr><td>名 方</td></tr> <tr><td></td></tr> <tr><td>名 漢</td></tr> <tr><td>櫛</td></tr> <tr><td>俗 柏</td></tr> <tr><td>名 洋</td></tr> <tr><td>TORREYA</td></tr> <tr><td>NUCIFERA S. ET Z.</td></tr> <tr><td>トルレヤ</td></tr> <tr><td>ニニソフェラ</td></tr> </table>	名 通	かや	名 方		名 漢	櫛	俗 柏	名 洋	TORREYA	NUCIFERA S. ET Z.	トルレヤ	ニニソフェラ
名 通																				
かや																				
名 方																				
名 漢																				
櫛																				
俗 柏																				
名 洋																				
TORREYA																				
NUCIFERA S. ET Z.																				
トルレヤ																				
ニニソフェラ																				

種	藝	養 培	保 護	材 質	効 用	雜 説
<p>子實熟マテ自ラ落レハ其肥大ナル者ヲ撰ニ肉瓤ヲ帶ヒテ収頓シ春分ニ下種ス</p>				<p>小木ハ寒害ヲ受ル最モ甚ク又炎陽ニ槓レ易シ寒月暑時皆擁護スルヲ要ス</p>		
<p>下種後三年ニシテ移栽ス栽法一段ノ地凡七十本ヲ以テ度トス能ク培養ヲ得ル者ハ十餘年ニシテ每樹凡一斗ノ子實ヲ得ヘシ</p>				<p>材質白色ニシテ淡黄ヲ帶ヒ肌理美密脂氣香芬アリ久ク朽腐セス古昔ニ文木ト稱ス</p>	<p>諸器具ヲ作ルヘシ椀杯ハ此材ヲ以テ上等トス</p>	
					<p>其子實炒シテ啖フヘシ嚼ムコト久シテ漸ク甘美ヲ覺ニ頗ル佳菓タリ又汁ヲ榨テ油ヲ取ル最食品タリ</p>	<p>核微赤ナルヲ以テ赤果ト稱ス</p>
					<p>夏月木屑ヲ焚テ能ク蚊ヲ驅除ス故ニかやノ名アリ即カヤリノ略ナリ</p>	



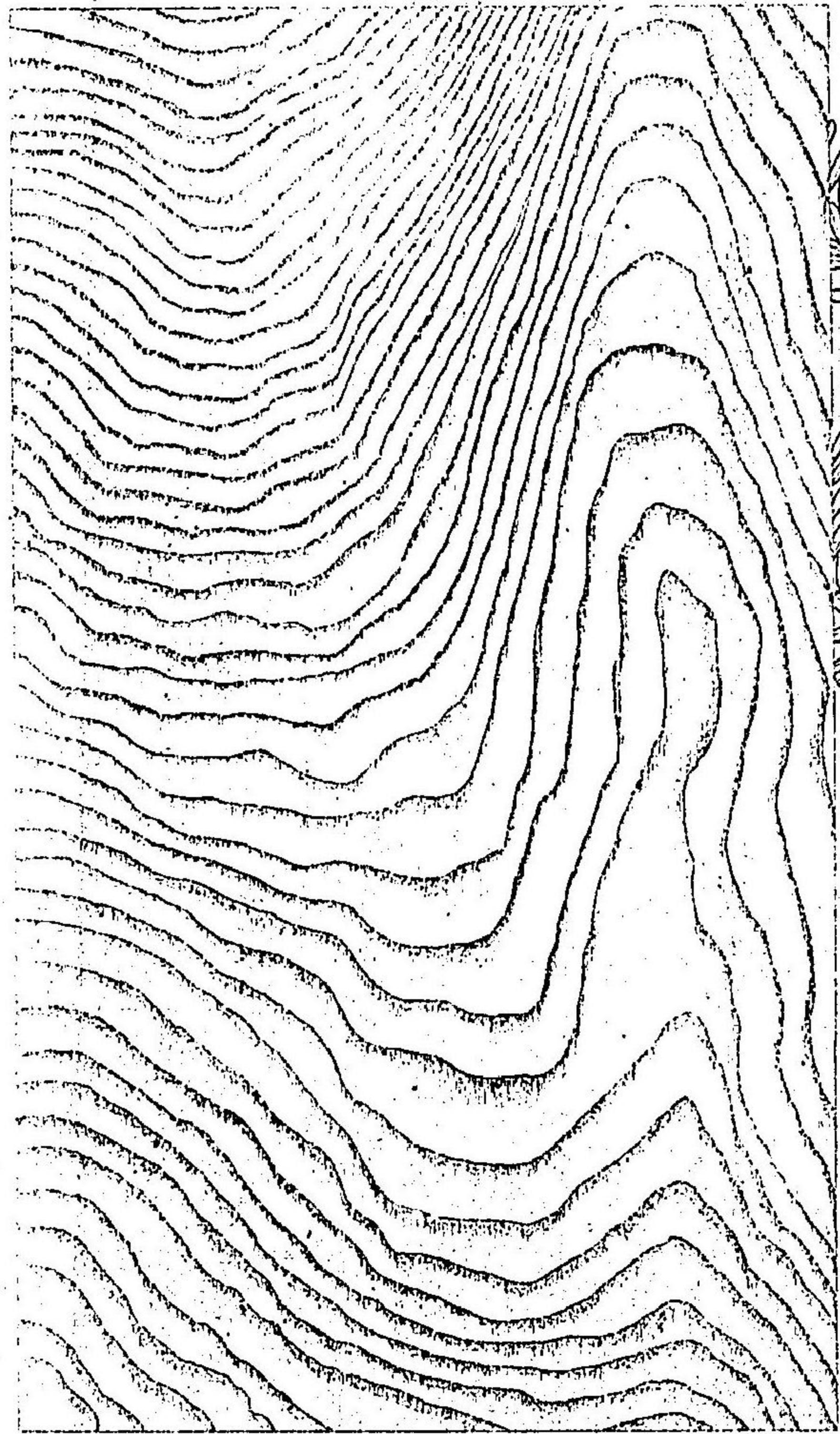
第十四號
加
印

提 要
 松 柏 科
 喬 木
 針 葉 綠 木
 常 綠
 船 橋 諸 用

第 五 十 號

種 名	形 狀						地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	
つ ば ね	直聳シテ喬大ナリ高七八丈圍丈許ナルモノアリ木皮黒赤粗厚ニシテ硬緻散チナセリ	枝柯肥大小枝ハ椈樹ニ類スト雖較纖弱ニシテ微垂ス	形椈葉ニ類シテ甚タ小ナリ長四五分葉末鈍尖ニシテ椈葉ノ如ク手ヲ刺サス排列シテ生スト雖大小相雜テ齊シカラズ葉背ニ淡白粉アリ	葉背ニ黄褐色ノ花ヲ開ク椈樹花ニ似テ較小ナリ	花ニ雌雄アリ形椈樹ニ同シ	實ノ形長橢圓ニシテ長寸許鱗砌ヲナシテ子片ヲ載ス椈實ニ異ナラス	深山ニ生茂シ密林ヲ成ス園庭ニ移植スルニ活シ難ク活スルモ多クハ喬大ヲナサス是レ地ノ清閑寒冷ナラサル故ナリ山城梅尾真樹ヲ産ス最有名タリ遠江千頭山及ヒ木曾日光諸山亦多シ
名 通							
名 方							
と ね							
名 漢							
俗 名							
名 洋							
							ABIES TSUGA S. ET Z. ア ブ リ ス ツ ガ

種 名	藝 種				養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說
	條 歷	接 嫁	條 摺	植 實					
つ ば ね			挿挿シテ亦能活ス	根土小木ヲ移栽スル椈樹ノ法ニ同シ			材色白質ニシテ赤褐色ヲ帯ヒ肌理直ニシテ細密ナリ脂氣アリテ雨霜水濕ニ耐ユ	船橋トナスヘシ肌理ノ細美ナル者ヲ用テ屋柱門扉ノ類ヲ作リテ頗ル貴重品トナス其他板及器具ヲ製シテ椈材ニ勝レル歟等トナス	又木片ヲ以テ屋ヲ葺ク三四年ノ久シキニ耐ユ



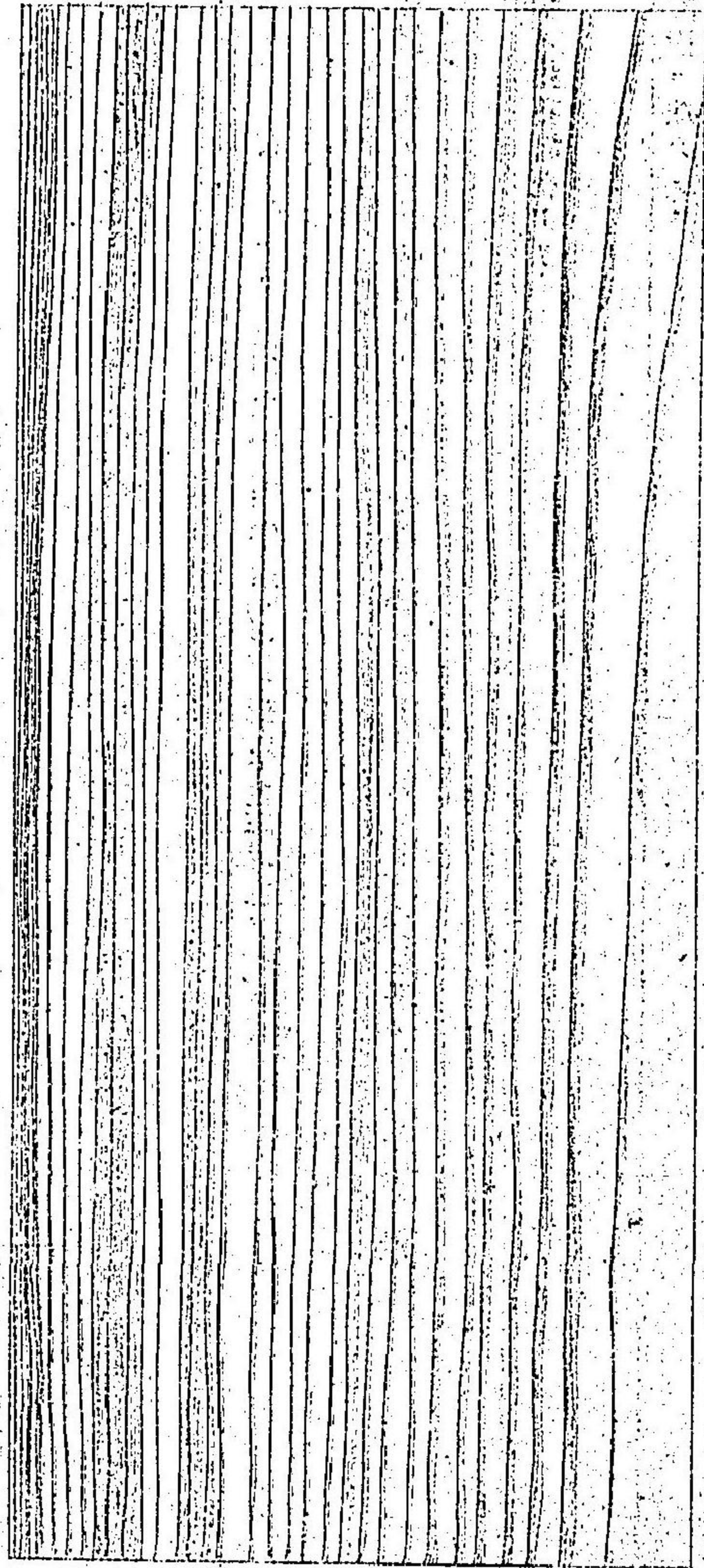
第十五號

つ
の

諸常針喬松
用綠葉木柏科
提要

號六十第

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	狀 形							名 通	
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質		體 全	實	花	葉	枝	幹	根		
	屋材器具ノ用最廣シ然レモ肌理美ナラス乾燥ニ遇テ反張伸縮シ又裂ケ易シ諸針葉樹中最モ下品トス但磐城ニ産スル者最良ニシテツガヤ亞ク山家其皮ヲ以テ火斗トナス	材質白色輕軟木理通直ニシテ甚ダ疎ナリ						嫩枝ヲ摺挿シテ活ス	子ナ下シテ生ス法松樹ニ同シ	風土ノ寒暖ヲ問ハス山中原野皆アリ然レモ山腹ニ在ルモノ最高大ヲ成ス深山中ニ稀少ナリ是レ樹性燥土ニ適スルノ故ナリ	花ニ雌雄アリ立春ノ後小枝頭ノ葉腋ニ小穗狀ヲナシ披簇シテ花ヲ開キ黃粉ヲ附ク雌花筒山形ニシテ長二三分淡紫色ナリ	長サ寸許濶一分ニ盈タス面淺綠背白色葉心一ノ縱道アリ葉末管狀ヲナシ各尖刺ヲナス七年ニシテ舊葉初メテ落ツト云フ	枝柯肥大ニシテ長カラス小枝ノ頭山字狀ヲナセリ	幹身ノ端直ナル他樹比ナシ高十丈圍一丈半許ニ及フ樹皮青黒ニシテ皺皺ナナサス	斜ニ長根ヲ四下ス	名 漢	名 洋		
											實長楕ニシテ長サ二三寸鱗稠密疊シテ鱗間ニ二箇ノ種子ヲ藏ス初メ翠色熟スルニ及ヒ黃褐色ヲナシ砌折ケ鱗解ケテ片々飄零ス種子ニ扁翅アリテ其色淡褐ナリ鱗片ト共ニ飛散ス							俗 假	ABIES FIRMA S. ET Z. アビース フヒルマ



第十六號
乙 子

具屋常針喬松
材材材針葉木
器綠葉科

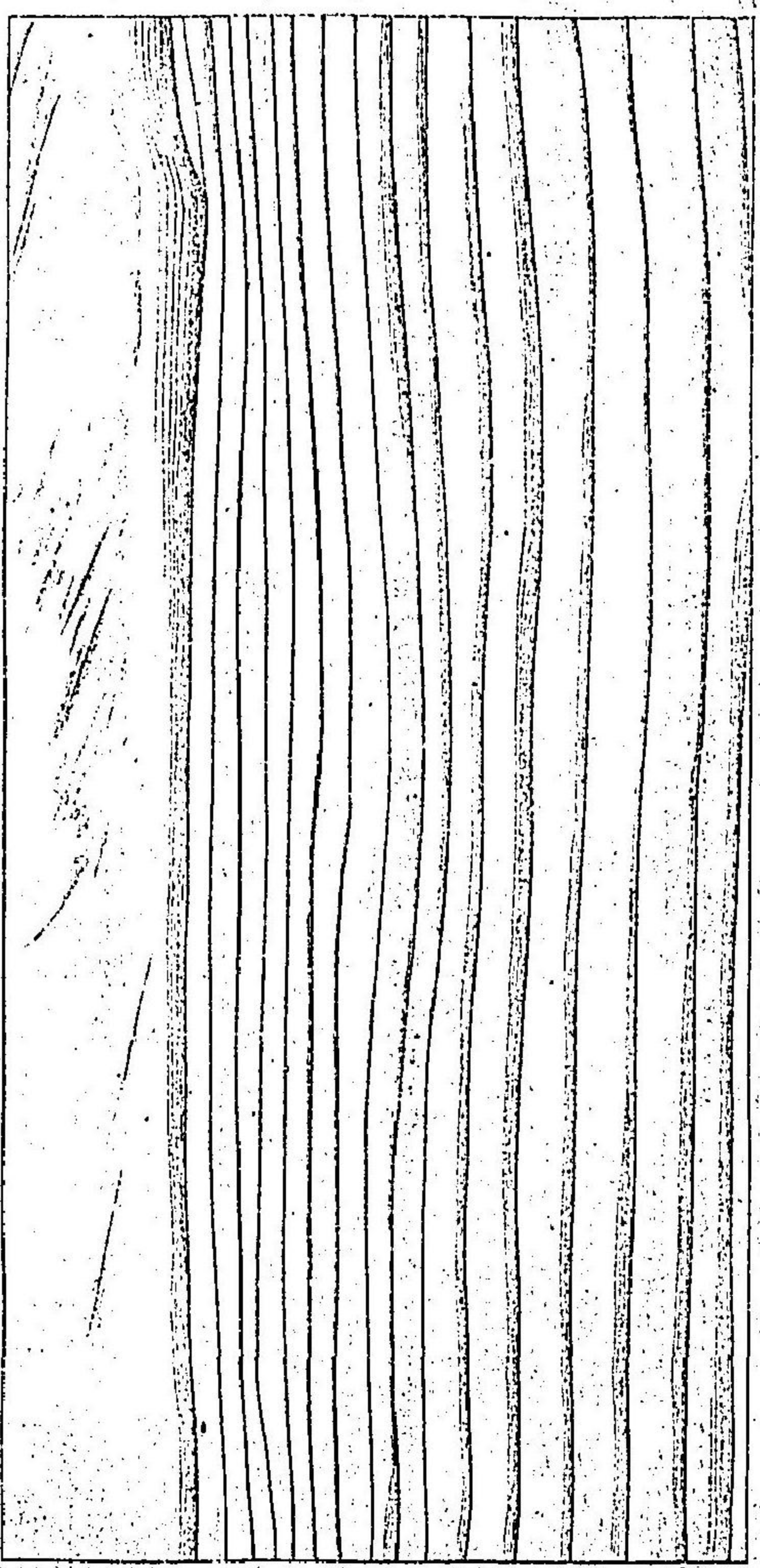
提要

號七十第

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種				
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實
	板ヲ作り匣箱等ノ用ニ供ス良木ノ如キハ建築材トナスヘキモノ多シ	白質微赤木理疎ニシテ直ナリ椀材ニ比スレハ稍微硬脂氣多シ						同	椀材ニ同シ

地 適	狀 形						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
深山中ニ産シ山腹以上高燥ノ土ニ適ス故ニ一ニだけもミト稱ス木曾日光諸山及ヒ遠江千頭山ニ多シ	枝條揚起シ其姿極メテ強壯ナリ	實ノ狀椀樹ニ殊ナラス	椀樹ニ類ス雄花雌花アリ	葉ノ狀松針ニ似テ短硬稜角アリ長サ五分許微彎シテ上ニ向ヒ其頂尖銳甚レク人手觸レ難シ	枝柯大ニシテ小枝硬強ナリ椀樹ニ似テ山字狀ヲナシ新枝ハ微赤色ヲナス	直聳レテ高四五丈圍八尺許ニ及フ木皮粗ニシテ硬厚ナリ其色黑褐ニシテ白黴多シ	い ら も み 方 は り も み 漢 洋 名 ABIES POLITA S. ET Z. ア ビ ー ス ボ リ タ

第十七号
いらもみ

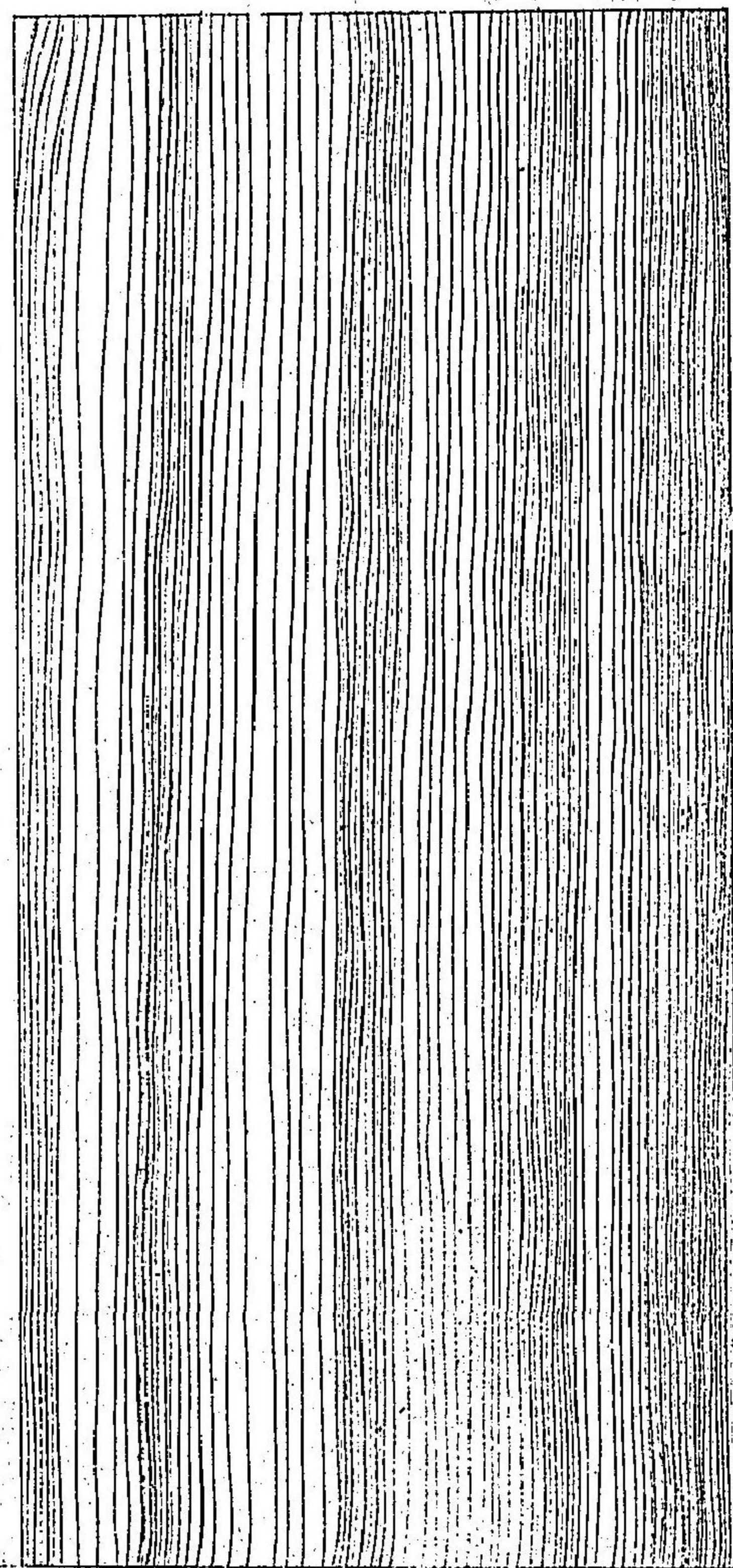


提 要
松 柏 科
喬 木
針 葉 綠 木
常 綠
建 築 器 具

第 十 八 號

種 名	藝 種					養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說
	植 實	植 苗	摺 條	嫁 接	壓 條					
法樅樹ニ同シ	法樅樹ニ同シ	法樅樹ニ同シ	摺條シテ能ク活ス					全材白色ニシテ中部淡赤ヲ帶フ肌理細美ニシテ節目少シ又柔軟ニシテ之ヲ割クニ易シ	篩子悉桶ノ外圍ヲ作ルニ此材ヲ需用ス或ハ匣箱ヲ製シ又片板ヲ作テ屋ヲ葺クベシ其他板ヲ作テ建築器具ノ用トス庭園ニ栽植シテ綠色鮮淨愛スヘシ	

地 適	形 狀						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
深山ニ産ス山腹以上諸樹生セサルノ地ニ能ク生殖シ烈風寒雪ニ堪フ	幹身直ニシテ枝梢微垂ス	大サ寸許形松毬ニ類シテ疊砌ヲナス但外面ニ鱗紋ヲナレ毎鱗ノ末銳尖ニシテ刺ノ如ク熟スルニ及ビ鱗紋眩發シテ子出ス	雌花雄花アリ樅花ニ類ス	葉樅樹ニ似テ細小其頂尖リテ岐ヲナス面淺綠背白色ナリ枝ニ附ク甚タ密ニシテ頗ル美ナリ	枝ヲ發スル樅樹ニ似テ小枝較密ナリ小枝纖弱ニシテ微赤	直聳シテ高五六丈圍七八尺木皮粗厚ニシテ黒褐外皮ニ白色ノ斑點アリいらもみニ類ス	通 名 方 名 しらこみ 漢 名 俗唐檜 洋 名 ABIES ALCOKIANA LINDL. アボース アルコキアナ



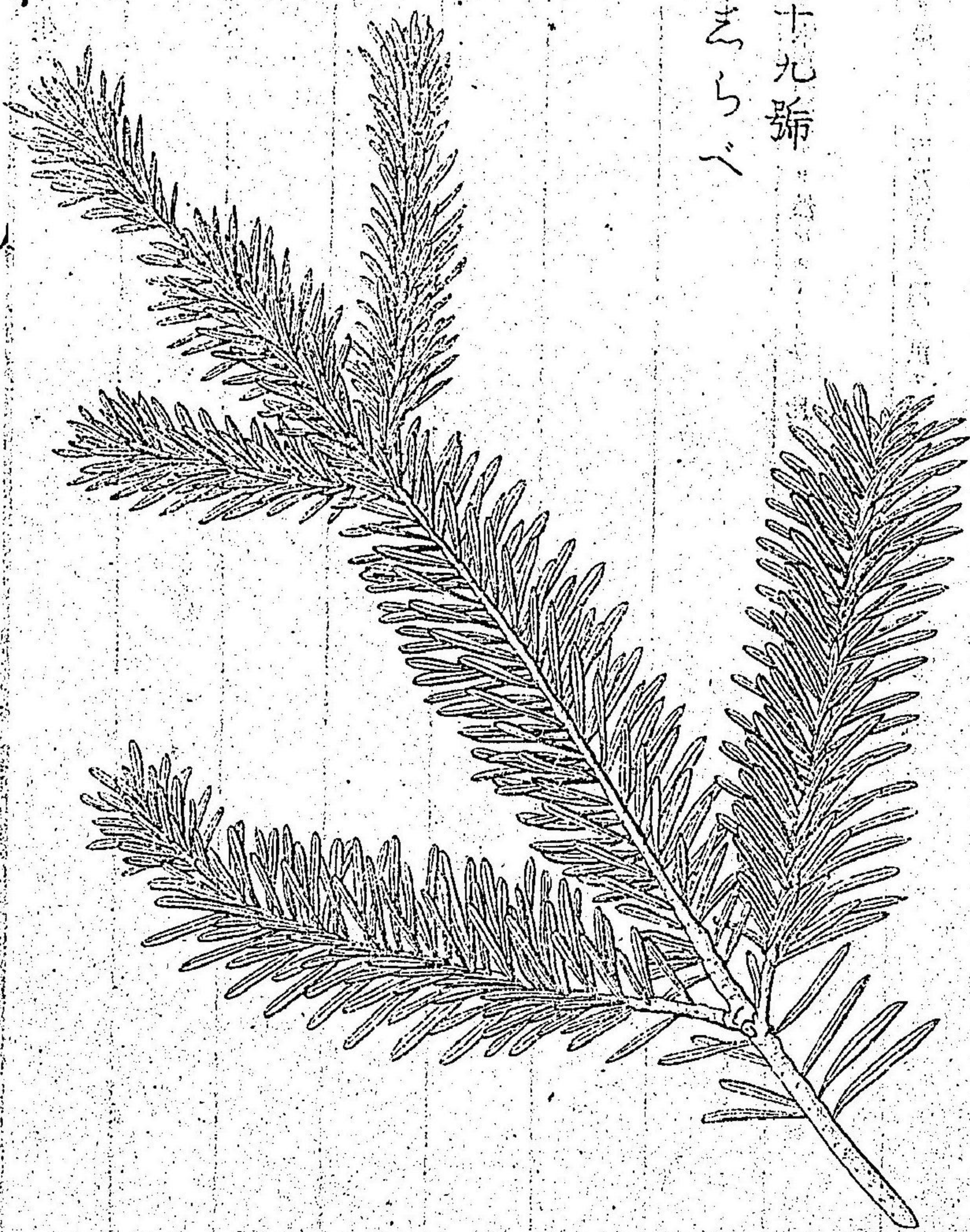
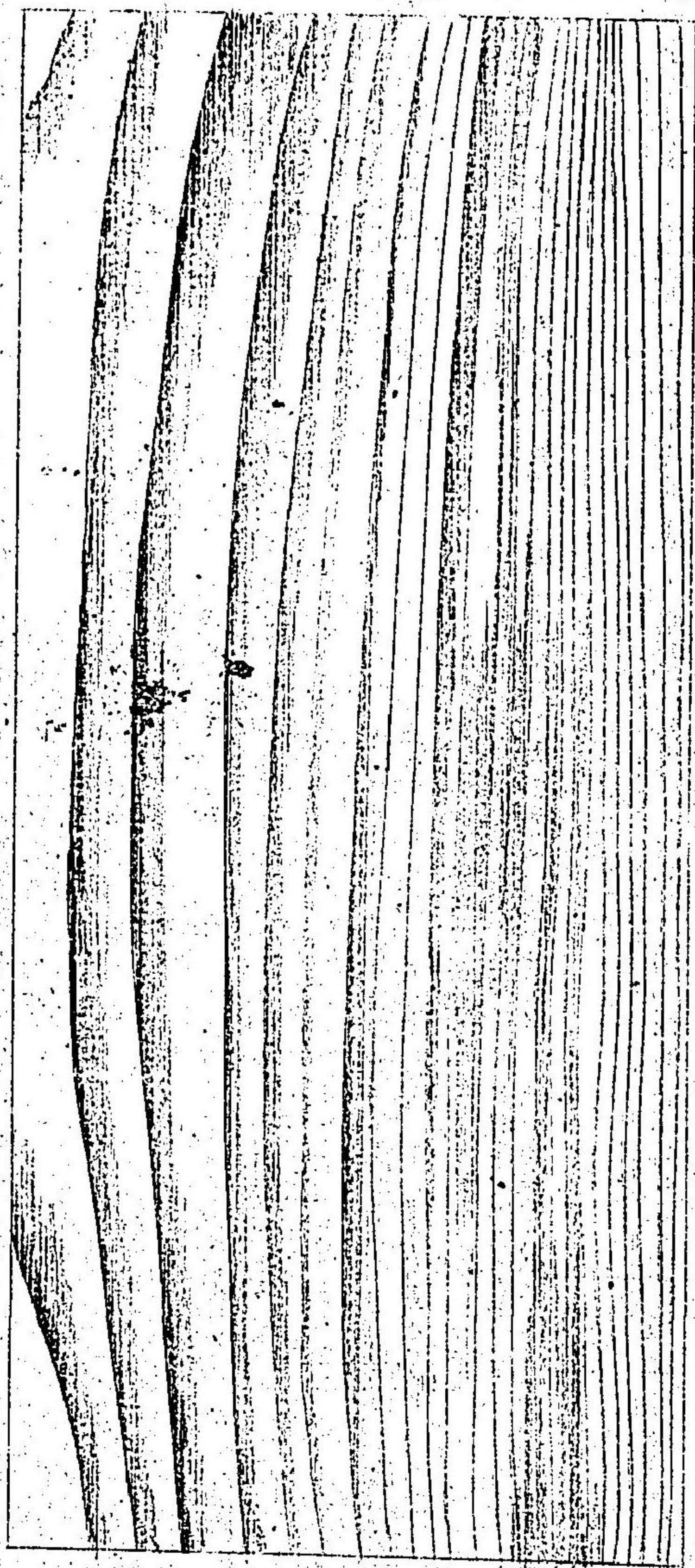
第十八號
とうひ



第十號 提 要 松 柏 科 喬 木 針 葉 常 綠 器 具

種 名	種					養 培	保 護	材 質	効 用	雜 說
	實 植	苗 植	摺 條	嫁 接	歴 條					
子ナ下レテ生ス								白質ニシテ木理通直ナリ然レモとうひニ比スレハ較疎ナリ	匣箱ヲ作り屋ヲ葺キ板及器具ノ用ニ供スヘント雖モ其品とうひニ及ハス	

地 適	形 狀							稱 名
	全 體	實	花	葉	枝	幹	根	
とうひニ同シ		實ノ形圓長ニシテ長二寸許隣砌硬密ニシテ膩氣多ク砌間ニ子片アリ其色黒褐ナリ	小枝ノ葉腋ニ附テ生ス大サ米粒ノ如ク黃粉ヲ附ク之ヲ雄花トナス雌花ハ小ニシテ淡紫色ヲナセリ	縦葉ニ類似シ葉背及ヒ柄白色ニシテ粉ヲ附クルカ如ク頗ル美麗ナリ葉末ハ管狀ヲナスト雖尖利ナシ	椈枝ニ類ス小枝ハ細軟ナリ	直聳シテ椈樹ニ類ス木皮青白微黒皺散セス高大ヲナスとうひニ同シ		名 通 まらへ 名 方 まらひそ 名 漢 俗 白 檜 名 洋 ABIES VEITCHII LINDL. アビース ヴェイチー



第十九號
まらべ

提 要
松 柏 科
喬 木
針 葉 綠 木
常 綠
板 匣 箱

第 廿 號

名 稱

通 名

こ う え ぶ ざ ん

方 名

さ ぎ や う じ や も み
じ ら ん た る み
や や な ざ ん

漢 名

洋 名

CUNNINGHAMIA
SINENSIS.

キ ャ ン コ ン グ ハ ミ
シ ン シ ン ス

形 状

根 幹 枝 葉 花 實 全 體

直 徑 シ テ 高 七 八 丈 圍 丈 許 樹 皮 黒 赤 厚 硬 外 皮 ハ 灰 白 ニ シ テ 皴 皴 ラ 成 シ 杉 樹 ニ 類 セ リ
細 長 ニ シ テ 枝 ノ 左 右 ニ 排 列 シ 整 齊 密 生 ス 枝 椏 椏 樹 ニ 殊 ナ ラ ス

潤 二 分 許 長 寸 半 尖 頂 ニ シ テ 銳 刺 ア リ 面 淺 綠 ニ シ テ 背 粉 白 小 枝 ニ 附 テ 密 生 ス 四 時 凋 マ ス

椏 樹 花 ニ 類 ス 雄 花 雌 花 ア リ

楕 圓 ニ シ テ 鱗 疊 フ ナ シ 落 葉 松 實 ニ 類 シ テ 更 ニ 肥 大 ナ 加 ヘ 鱗 末 ニ 尖 刺 ナ 生 シ 銳 甚 シ 熟 ス ル ニ 及 ビ 鱗 剝 折 ケ テ 子 片 落 ツ

全 幹 直 立 シ 枝 ハ 層 フ ナ シ 車 輻 狀 ニ 着 ク 細 軟 ニ シ テ 曩 ヲ 下 垂 ス 樹 ノ 成 長 甚 ク 速 ナ リ ト 雖 烈 風 ノ 爲 メ ニ 折 斷 セ ラ ル 者 多 シ ○
凡 松 柏 科 葉 ノ 生 ス ル ナ シ 此 樹 能 ク 葉 ノ 生 ス

原 野 ニ 産 シ 深 山 中 ニ 稀 ナ リ 武 藏 ノ 青 梅 山 城 ノ 吉 田 山 等 ニ 大 樹 ラ 産 ス ル ト 云 フ

適 地

種 藝

實 植 苗 植 摺 條 接 嫁 條 壓

子 實 ヲ 下 下 テ 生 ス

摺 挿 シ テ 活 ス

培 養

保 護

材 質

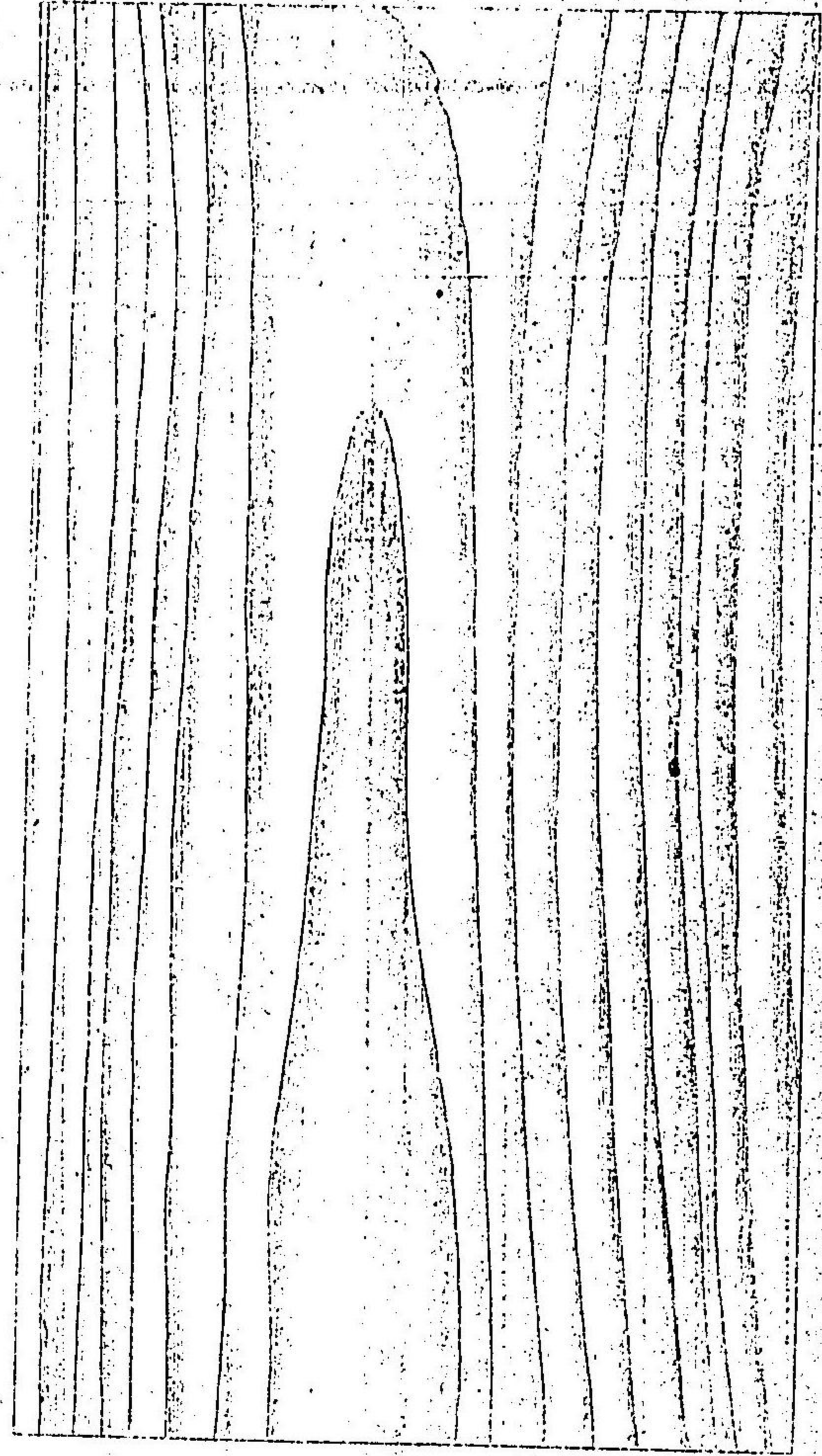
効 用

雜 說

白 質 微 黃 木 理 疎 直 コ シ テ 浮 爛 雜 勒 ニ 類 セ リ

匣 箱 ノ 類 ラ 作 ル ヘ ン 木 會 山 中 多 ク 伐 斫 シ テ 柴 薪 ト ナ ス

此 樹 舊 ト 琉 球 ヲ 傳 種 ヘ テ 琉 槍 ト 稱 シ タ レ 卅 日 光 山 中 自 生 ノ 樹 ア リ ト 馬 場 氏 ノ 著 書 ニ 載 ス

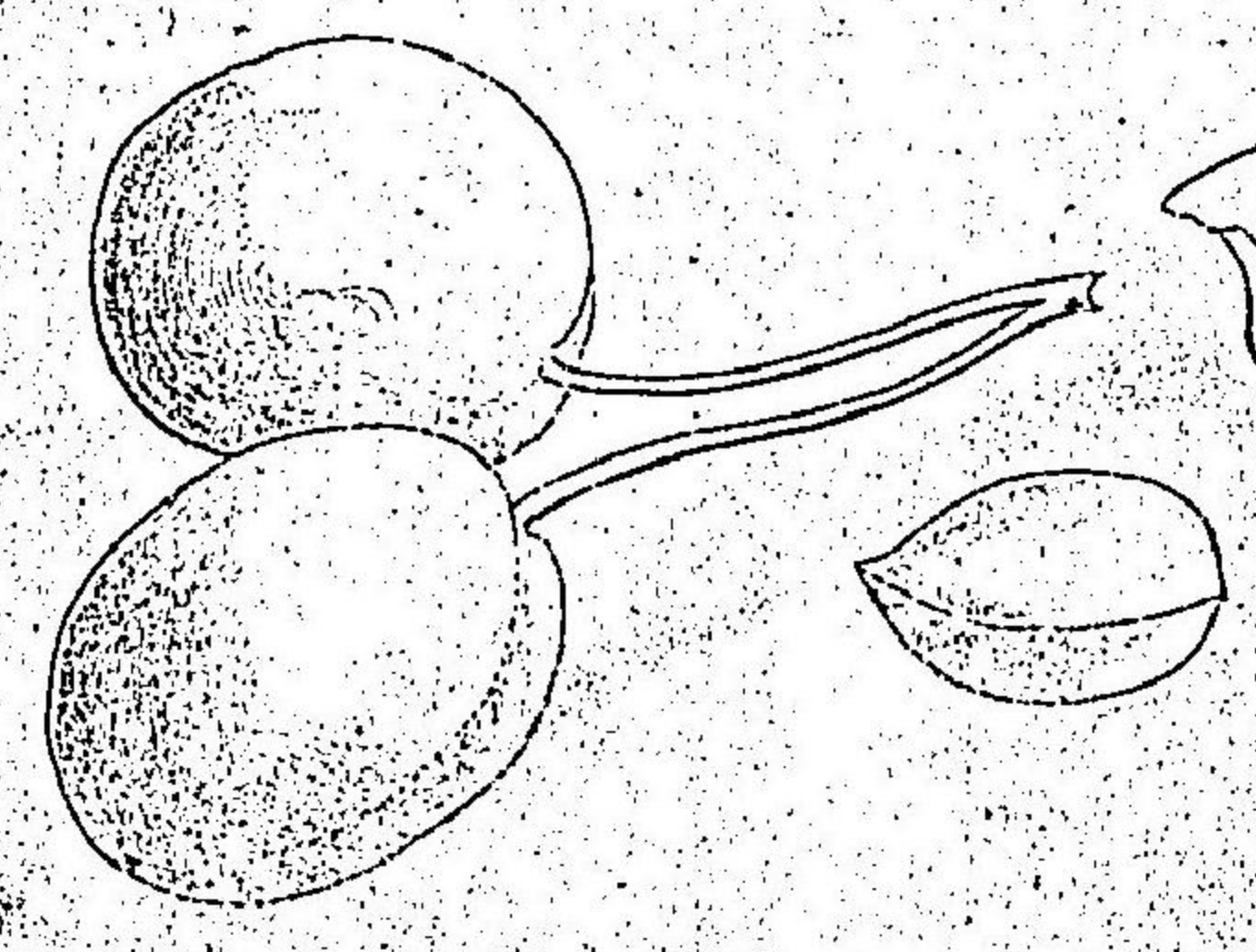
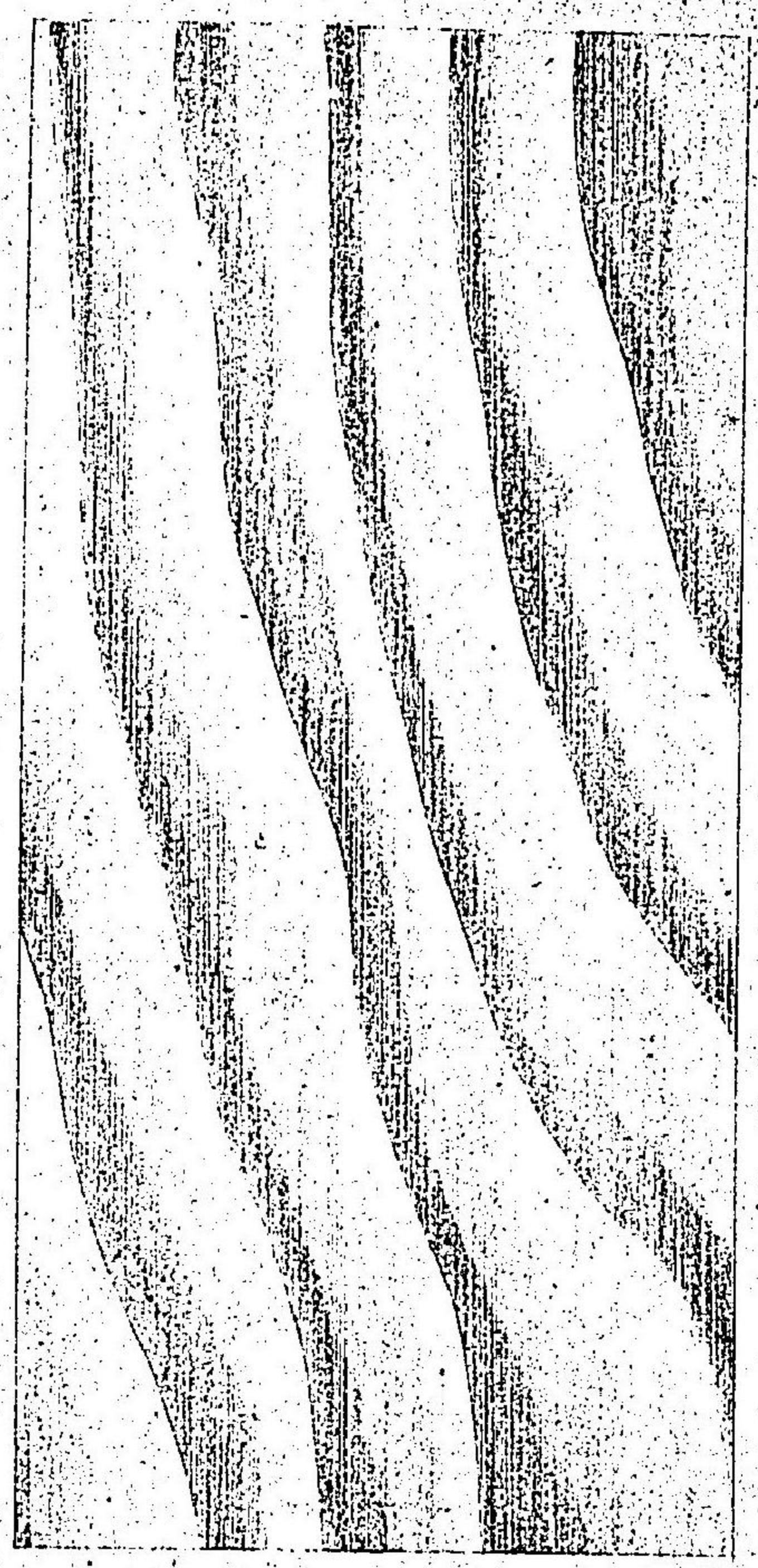


第二十號
あうまきさき

諸落針喬松柏科
用葉葉木
提要
號一廿第

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適						形 狀	稱 名
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實	體 全	實	花	葉	枝	幹		
其質熟シテ自ラ落ル者ヲ採テ藪園ニ實シ池若クハ川溝ニ浸ス數日殺肉ノ腐爛スルヲ候シ洗淨乾晒シテ之ヲ貯フ世人此葉ヲ採テ書籍中ニ挾ム能ク蟲齧ヲ生セサラシムト云フ	建築ノ用ニ供スヘシ又園亭ノ額額トナス雅致アリ以テ印板ト爲ス筆法ヲ失ハス以テ棋枰ト爲ス觀美ナリ其果一燈シテ啖フヘク煮テ羹トナスヘシ味頗ル甜美子肉ハ以テ澁汁ニ代用スヘシ	質淡黄ニシテ堅實木理極メテ緻密觀美ナリ	移植スル者ハ每樹柱ヲ豎テ紮定シ烈風ニ動搖セラレサルヘシ	常ニ魚腥水澆水ヲ多ク澆クヲ要ス能ク培養スル者ハ七八年ニシテ實ヲ結フニ至ル			苗大サ笛ノ如キニ及テ他ノ老樹枝ヲ取テ接換スルハ樹小ニシテ能ク實ヲ結フ		實熟シテ大ナル者ヲ採リ之ヲ溝泥中ニ置キ春分出シテ之ヲ種ユ一年ニシテ移栽ス	野上平地ニ適ス深山ニ生スル者稀ナリ 陸前武藏ニ産スルヲ良トス	開扇狀ニシテ缺刻アリ又缺刻ナキアリ平行脈ニシテ縱理儼密ナリ面縁背淡ク霜後黄ヲナス頗ル觀ルヘシ柄長サ一二寸	春分ニ花ヲ開ク青白色雌雄アリ雄ハ短小ノ葉狀ヲナシ長サ七八分雌ハ粒狀ヲナシ摺縁ス但喬樹ニアラサレハ花ヲ着ケス故ニ人々之ヲ見ルコト罕ナリ	花後實ヲ結フ小杏ニ似テ黄色霜ヲ經テ爛熟ス臭アリ中ニ核アリ兩頭尖ニ稜ナルアリ三稜ナルアリ之ヲ洗淨乾晒シテ其色純白ナルヲ以テ銀杏ト名ツク其仁初級後黄	直聳シテ能ク繁茂ス多壽ニシテ老樹多シ雌雄アリ必相須テ子ヲ結フ故ニ雌雄同種スルヲ要ス雄ナル者ハ花有テ實ナシ雌ナル者ハ花ナクシテ實アリ老樹實ヲ結フ益多シ大木ニ瘡ヲ生シ長ク下垂シテ石鐘乳ノ如キ者アリ或ハ丈餘ニ及フ	い ち や う 名 方	名 漢 公 孫 樹 俗 銀 杏	名 洋 SALISBURIA ADIANTIFOLIA SMITH. サリスブニリヤ アジアンチホ リヤ

第二十一號
いてう

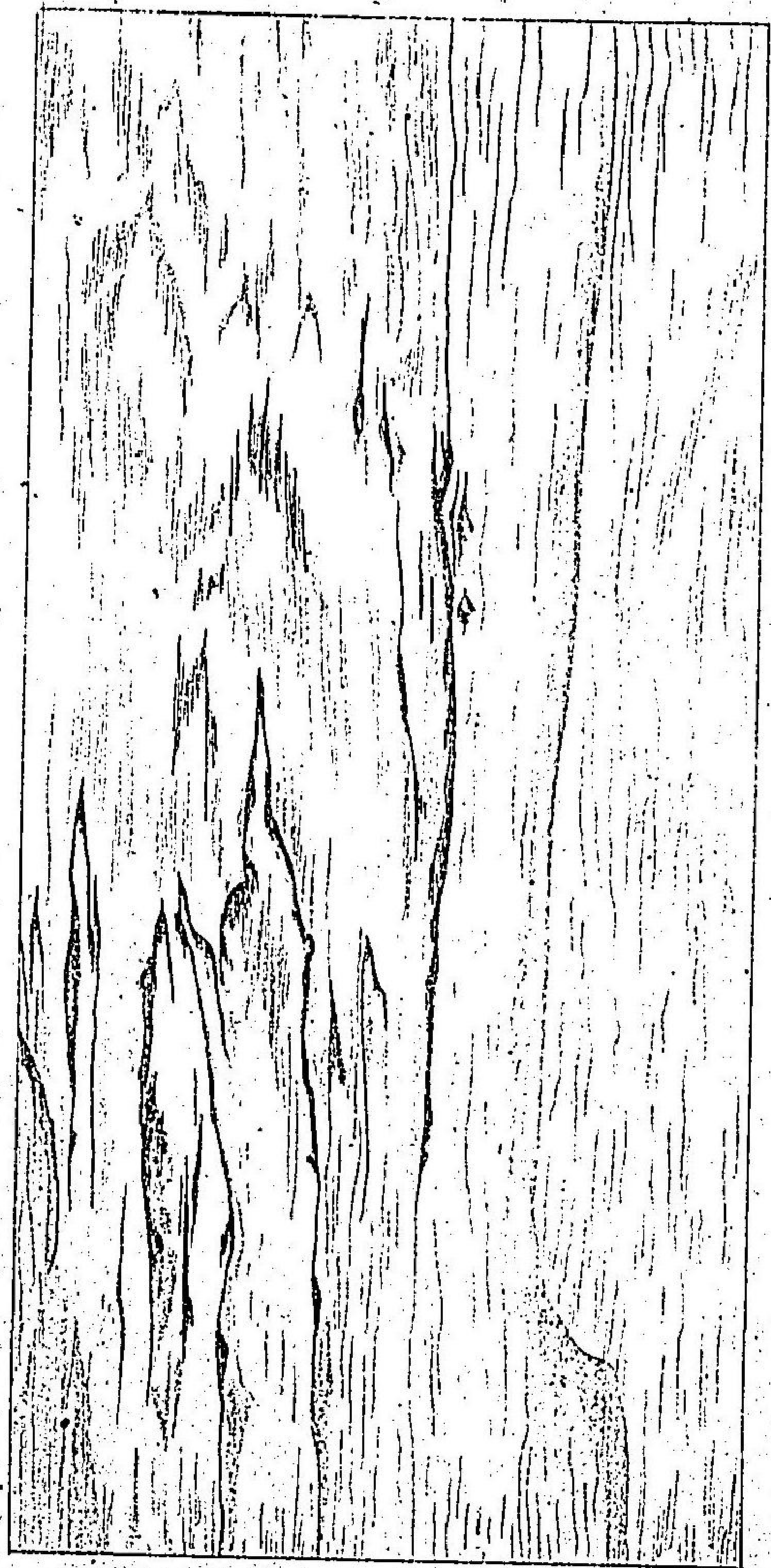


提 要
 胡桃科
 喬木
 落葉
 器物

第廿二號

種 名	藝 種					養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說
	條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質					
下種シテ生ス								白質ニシテ硬ナラス木理白桐ニ類シテ頗ル美ナリ	匣箱諸器ヲ作り木屐トナスヘシ其皮ヲ壽光皮ト名ク強靱ナルヲ以テ外皮ヲ去リ卷合シテ匣及盆ノ類ヲ製ス紋理頗ル雅美ニシテ久ニ堪フ或ハ編綴シテロジ(發蠶ノ具)ヲ作ル	

地 適	形 狀						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
深山中ニ産ス溪谷水漏ノ地ヲ喜フ日光山木曾山最多シ	枝條廣張繁弱ナナス	雌花老スルノ後實ヲ結フ一穗十餘子ヲ着ク其子各ニ枚ノ薄片アリ羽箭ノ狀ノ如ク潤サ三四分	春月細穂ヲ下垂シテ筈ノ如ク長サ三四寸雌花雄花アリ	複葉ニシテ一柄ニ五七葉排生ス其一小葉ノ形長榜ニシテ正中ニ在ル者大サ二寸餘左右較小ナリ軟厚ニシテ細皺多シ霜後ニ凋零ス	枝條肥大ナリ	幹身直上ニシテ高五六丈圍七八尺ニ及フ樹皮色蒼褐厚密強靱ナリ外皮皺散ヲナス	根
							名 通 さとぐるみ
							名 方 かゝぐるみ
							名 漢 漢名
							名 洋 PTEROCARYA SORBIFOLIA. S. ET Z: プテロカリア ソルビョリア

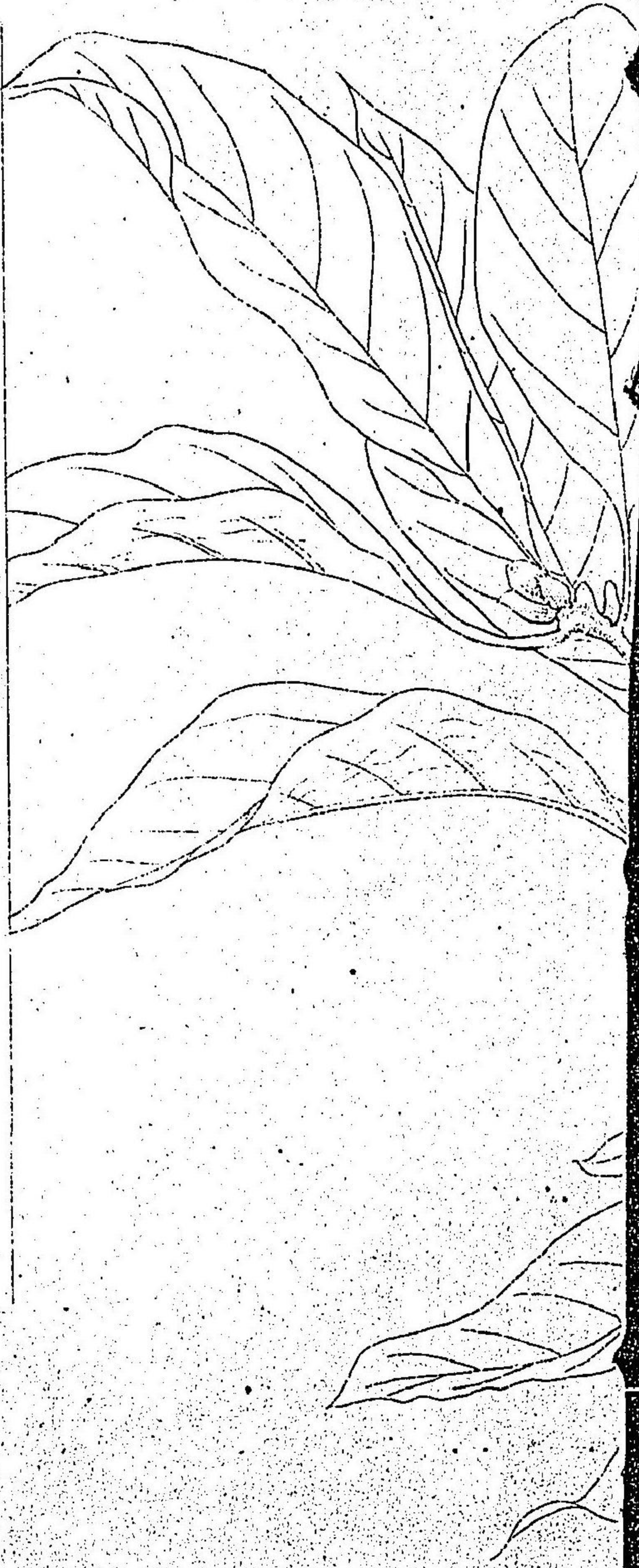
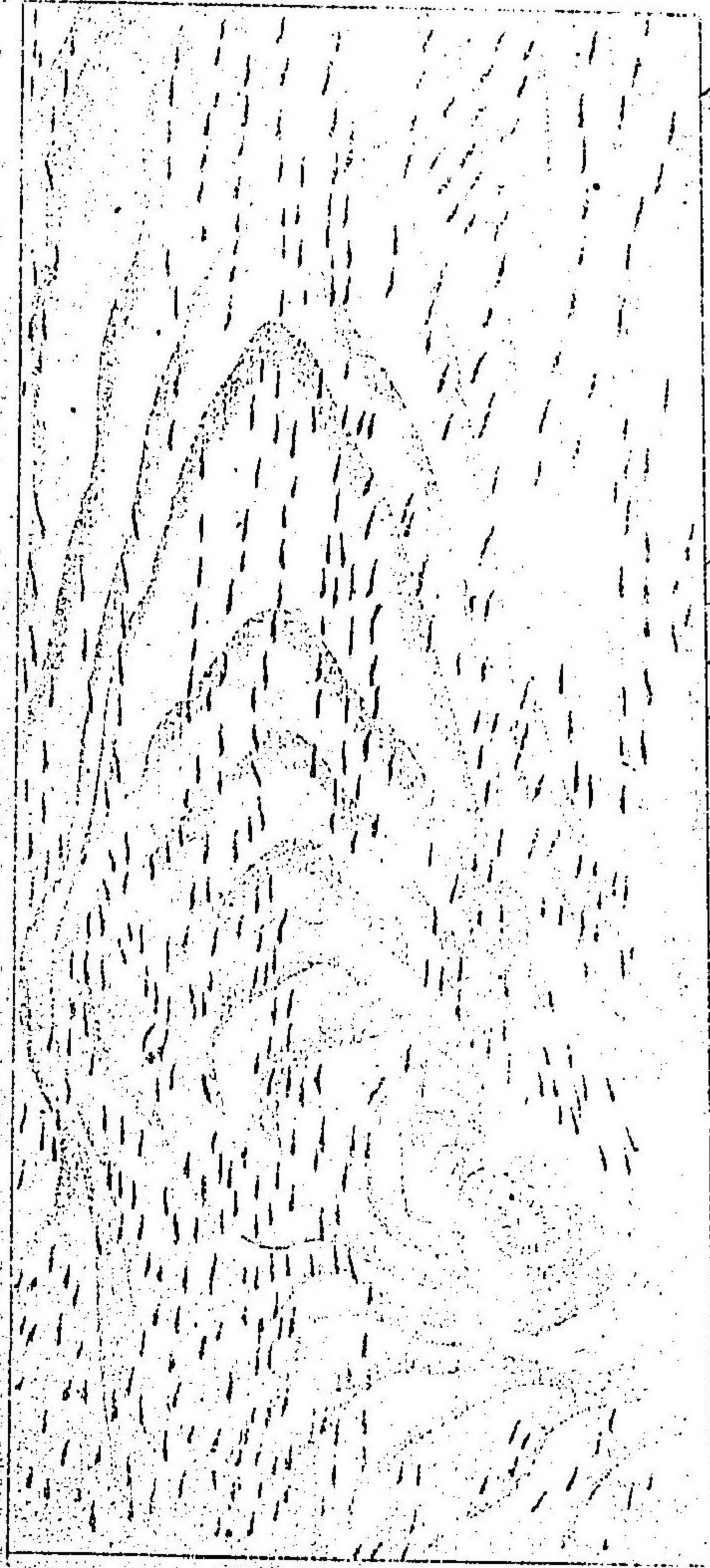


第二十二號
ヤマトノミ

第廿三號
提 要
喬木科
葉黃科
常綠
諸用

名 稱	形 狀						地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	
あかハシ 名 方	老樹ハ高三四丈圍丈許ニ及フ者アリ 外皮粗ニシテ其色翠黒ナリ	婆娑トシテ能茂ル	長楕圓ニシテ尖頭鋸齒ナシ厚堅ニシテ光澤アリ○一種鋸齒アル者アリあらかしト云フ	春季小白花ヲ開ク雄花ハ小葉莢狀ヲナシ長寸許雌花ハ小疣ノ如シ	花後枝頭ニ實ヲ結フ狀圓ニシテ尖アリ椎子ニ似テ大ナリ初メ青ク後褐色ヲナス其蒂ニシテ其半ヲ包ム霜ヲ經テ自ら墜ツ味澁ニシテ喉フヘカラス	枝葉稠密其性長シ易シ下種スル者ト雖培養宜ラ得ルハ二十年ニシテ圍三尺許ニ及フ又萌芽力盛ナリ斫伐スレハ其根即チ數幹ヲ生ス	樹性暖地ニ適應シ寒地ニ在ラハ矮曲ニシテ直暢スル者少シ木材ハ肥後薩摩ニ産スルヲ最良トス北海道ニ適セス
名 漢 血 楮 俗 檀 又 桴							
名 洋 QUERCUS ACUTA TH. クニルキニス アキニダ							

種 名	藝 術			養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說
	條 壓	接 嫁	條 摺					
實 植				新苗ノ生スル者小苗ヲ移植スル者皆類リニ澆水ヲ澆クヲ要ス	新苗ヲ養フ者糊ヲ作りテ夏日ヲ障ヘ雪霜ヲ防クニ注意スヘシ	材質赤色頗ル美觀ナリ木理細密堅硬ニシテ折レ難シ	車ノ輪輻船ノ舵楫漕舟諸般ノ器械凡堅實ヲ要スル者資ル所極メテ廣ク家屋ニモ亦用ユル所アリ人家必用ノ材トス	
植 苗				春季ニ移栽スルニ甚根ノ屈曲スルヲ忌ム				
條 摺				潤土ニ摺挿スル者亦能活ス				



第二十三號
何々

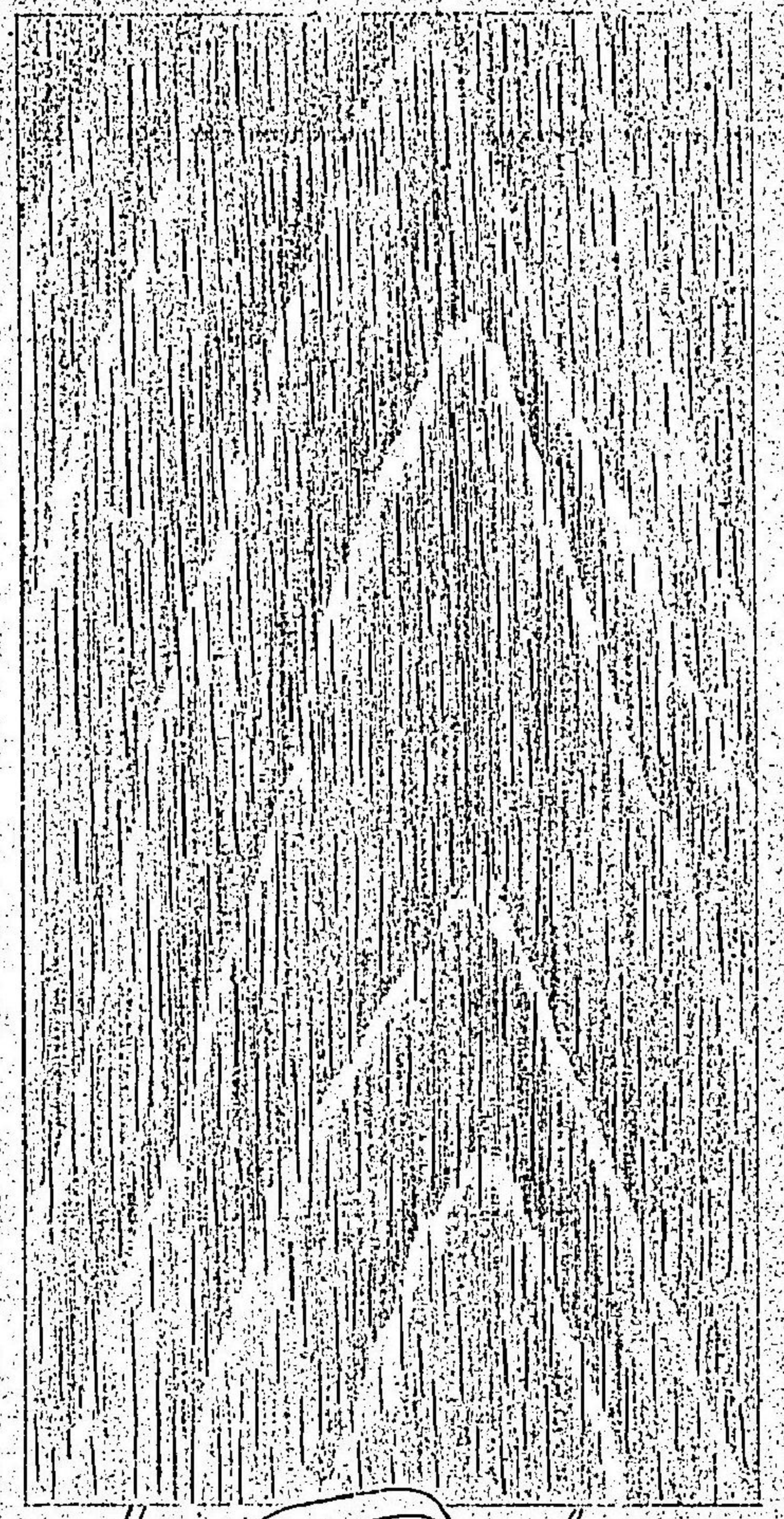
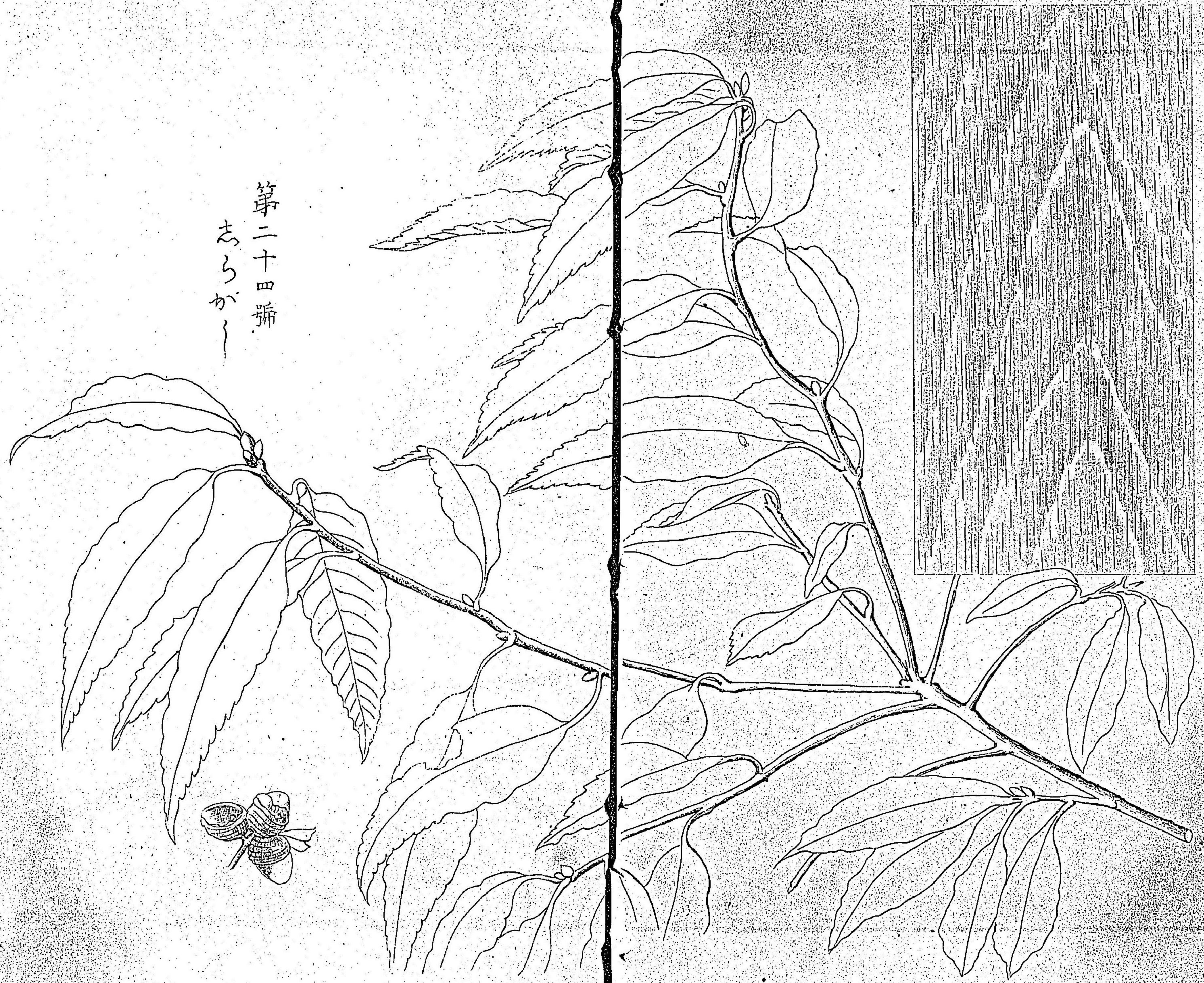


器常潤喬菜提
物綠葉木莢莢要
第廿四號

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種				
					條 壓	接 嫁	條 撻	植 苗	植 實
		諸資用大抵血縮ニ同シ而シテ粘力アルヲ以諸般ノ柄把量衡大抵此材ヲ資ル其用極メテ廣シ 矮曲ニシテ材ニ任ヘサル者ハ薪炭トナス其品他木ノ能ク及フ所ニアラス	大抵血縮ニ同シ其色白面シテ粘力アルヲハ遠ク血縮ニ過ク故ニ之ヲ擊テ拆ケス之ヲ撓メテ折レヌ天草郡ニ産スル者木理 疏通之ヲ研ルコニ丈許共一端ニ水ヲ洗テ之ヲ吹クニ其氣能ク彼ノ一端ニ達ス	血縮ニ同シ	血縮ニ同シ	血縮ニ同シ	血縮ニ同シ	血縮ニ同シ	血縮ニ同シ

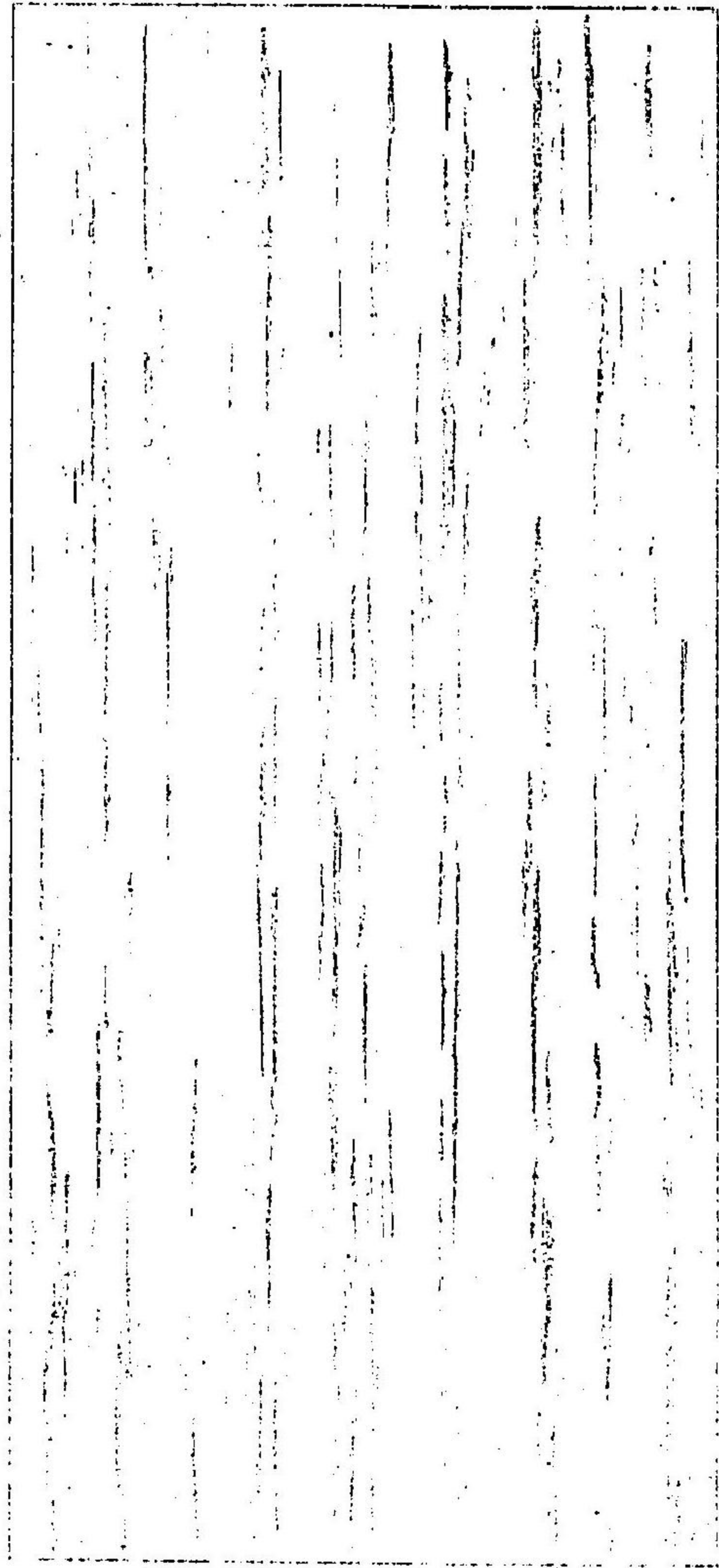
地 適	狀 形						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
血縮ニ同シ肥後國天草郡ニ産スル者能ク條暢ス全國ノ最タリ	血縮ニ同シ	血縮ニ同シ但生食スレハ苦澁炒スレハ甘味ヲ帶ヒ食フベシ即鈞栗ナリ	血縮ニ同シ	血縮ニ比スレハ細小軟柔ニシテ鋸齒アリ	血縮ニ同シ	大抵血縮ニ同シ外皮翠色ニシテ灰白ヲ帶フ	血縮ニ同シ
							名 漢 麩 櫛 俗檀又櫪
							名 洋 QUERCUS GLAUCA TH. クニルキニス グラウカ

第二十四番
志らか



第廿五號
提 要
槲 葉 科
喬 木 類
常 綠 樹

種 名	形 狀						地 適			
	根	幹	枝	葉	花	實				
うばめがし		幹身直立ニ高二三丈圍二三尺ニ及フアリ樹皮灰白翠ヲ帶フ粗厚ニシテ淺皺ヲナス	枝柯細クシテ強硬ナリ	葉形楕圓ニシテ上下微尖ヲナス上過半ニ鋸齒アリ深翠滑澤ニシテ硬ナリ新葉ニ比スレハ短縮シテ稍圓潤ヲ加フ又變葉アリちりめんがし又びんえふがしト云フ	雌雄花アリ雄花ハ槲葉花ヲナス新葉ニ同シ	新葉ニ類シテ短小ナリ	南方諸國ニ産シ温暖ノ地ニ適應ス			
方 名										
い ま め										
漢 名										
洋 名	QUERCUS PHYLLOIDES A. GRAY. シニルキニス フヘルロイ デス									
種 名	種 質	藝 種				養 培	保 護	材 質	効 用	雜 説
		條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗					
新葉ニ同シ	新葉ニ同シ						材色血楮ニ類シテ其堅硬他樹比ナシ	櫟(カシ)ヲ作ルニ此材ヲ需用ス其他器械ノ類堅硬ヲ要スル者ニ用ヒテ甚ク妙ナリ蓋シ日本材中此ヲ堅硬ノ最トナスヘシ大抵蚊母樹ニ比シテ其頑硬ナルコトハ二層ヲ加フ故ニ炭トナシテ石ノ如シ○庭院ニ植栽ス其變葉ノ者ハ大ニ人ニ愛玩セラル	紀伊駿河遠江ノ地方此樹ヲ斫伐シテ最良ノ木炭ヲ製ス堅勁無比ノ木炭ト雖而惜ムベキ事ナリ材トナシテ硬堅ヲ要スルモノニ用ルニ若カス	



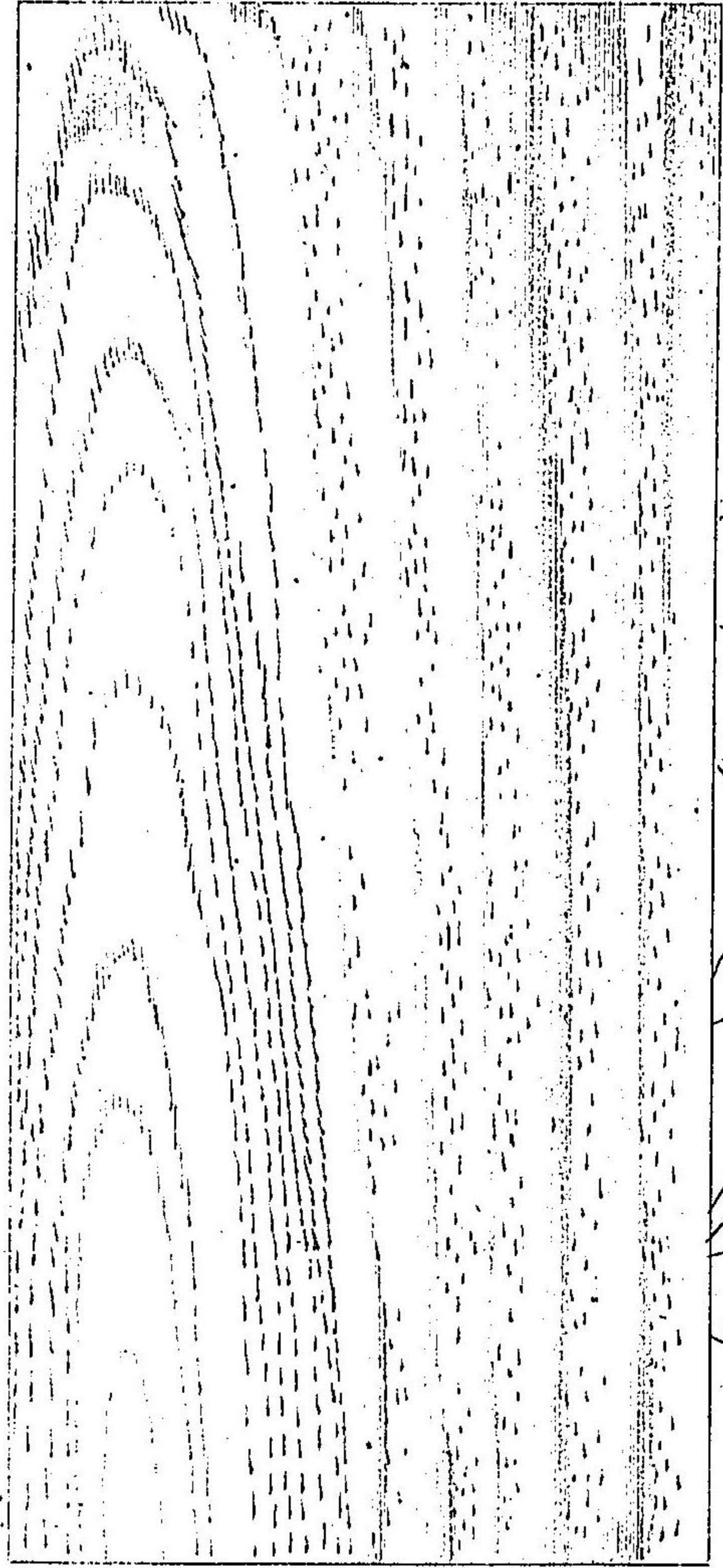
第二十五號
うそめがし

第廿六號
提 要
葉 黃 科
喬 木
潤 葉
常 綠
櫟 樹
物 器

地 適	形 狀						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
西南温暖ノ地方ニ多シ且陽燥ノ砂土ニ適ス然レモ亦卑濕ヲ忌マス五寒深雪ノ地ニハ能繁茂セス偶其樹アルモ子實多カラズ	其實初年大カ豆ノ如ク次年ニ至リ漸ク肥大狀癭瘤ニ似テ較長ク其頭銳尖ニシテ錐形ヲナス外ニ粗皮アリテ之ヲ剥ム熟スルニ及ヒ其皮三裂シテ子墜ツ其子褐色ニシテ内ニ白仁アリ	立夏ノ後ニ細種ヲ垂レ花ヲ開ク長寸半許葉莢狀ヲナス其色淡黃ナリ之ヲ雄蕊トナス別ニ雌蕊アリ小穂ヲナス	葉形長楕圓頂ニシテ厚シ周邊ニ鋸齒アリ或ハ鋸齒ナキモノアリ葉面深青ニシテ滑澤ナリ背ハ淡褐色光アリ	枝柯繁稠ニシテ廣張シ枝モ亦堅硬ニシテ黒褐ナリ	幹身直生ハ老樹ニ至テハ高五六丈圍丈許ニ及フ木皮硬厚ニシテ皺皺シ其色黒褐ナリ		名 漢 柯 樹 俗 椎
							名 洋 QUERCUS CUSPIDATA TH. クニルキニス キニスビダ

種	藝	養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說
秋季子實ノ熟シテ自ラ落ルヲ採收シ土中ニ温發シ明年春分ニ下種ス其法備實ノ種法ニ全シ最モ生シ易シ		苗木シテ後二年ニシテ移栽ス根土ヨリ多ク小木ヲ生ス亦分植スヘシ				
		楠樹ノ法ニ全シ		材色淡赤ニシテ微黒ヲ帶フ其質密ロシテ堅硬ナリ	諸器板ヲ作ルノ用ニ供シ或舟楫ノ類トナシテ能ク久キニ耐フ又細長ノ材ヲ以テ屋椽トナス其子實ハ炒シテ啖フヘシ味最モ甘美ナリ七葉樹實楠實等苦澁ナルモノニ異ナリ樹皮ハ染料トナスヘシ其用樹皮ニ全シ	老樹ハ木心必朽敗ス材用ニ堪ヘスト云フ 紀伊ヨリ多ク樹皮ヲ輸出ス染戸しぶきト呼ブ其澱質ヲ貴フナリ

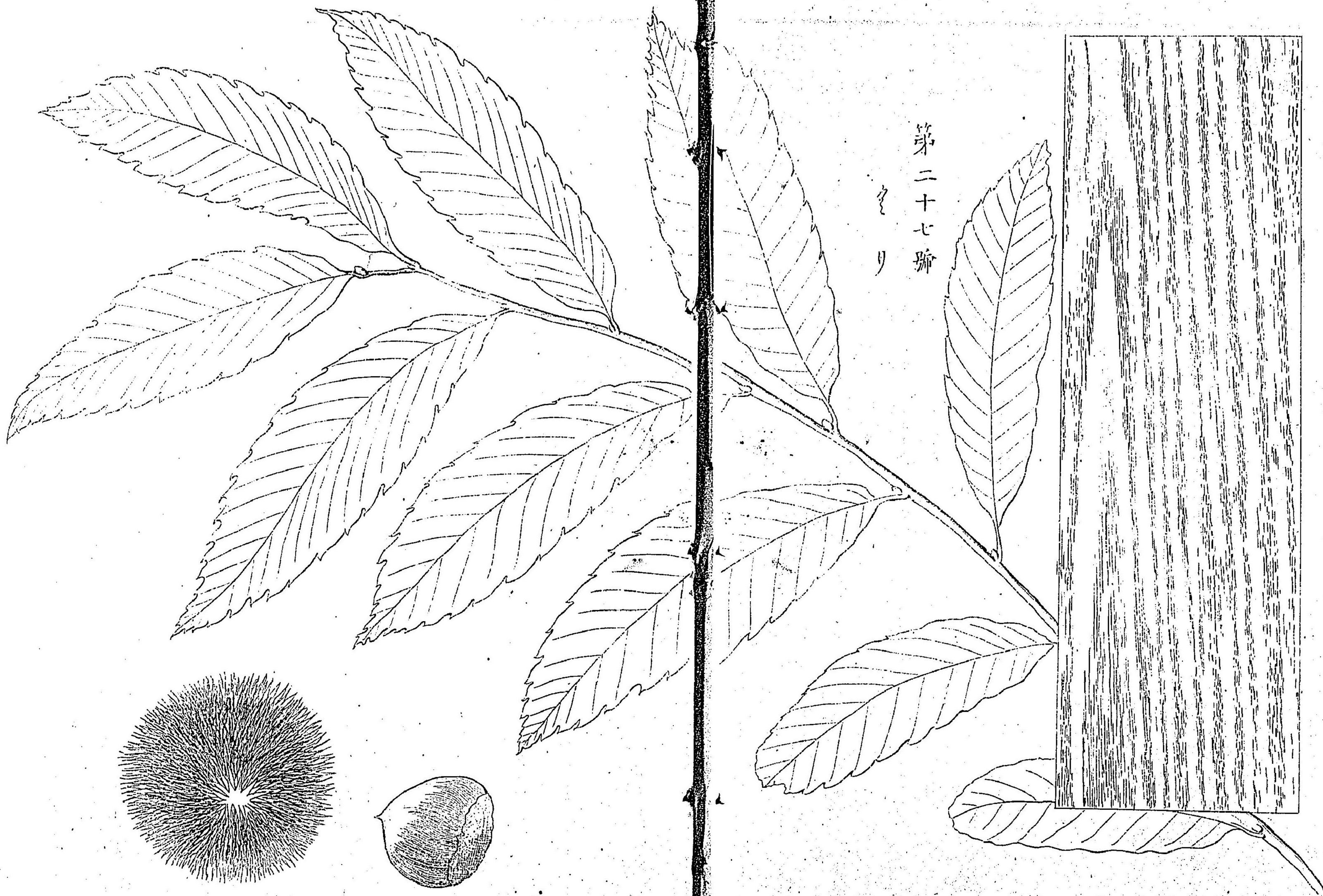
第二十六號
志いのき



號七廿第
提
要
葉黃科
喬木
潤葉
落葉
諸用

地適	形 狀						稱 名
	體全	實	花	葉	枝	幹	
<p>山野ノ赤壤ヲ喜ヒ陰寒ノ地ト雖能ク生長セサルナシ丹波國ハ大抵赤土ナルヲ以テ有名ノ栗子ヲ産ス沙土ニ種ル者ハ實ノラス</p> <p>筑前石見越後甲斐近江伊豫土佐二野三陸真材ヲ産ス</p>	<p>花後實ヲ結ヒ穗狀ヲナス刺多シテ蠟毛ノ如シ每枝四五箇ニ下ラス秋季鱗拆シテ子出ツ中子或ハ一或ハ二三有テ一ナラス多キハ四ニ至ルアリ其殼生ハ黃熟スレハ紫褐(所謂栗殼色)殼内膜アリテ仁ヲ包ム一穗數子ノ者中ニ扁ニシテ肉ナキアリ之ヲ栗核ト云フ一子ナル者ハ其形正圓丹波國ニ産スルモノ大サ拳ノ如シ</p> <p>杖徑婆娑トシテ其葉落ケテ性生長極メテ速カナリ大抵三年ニシテ子ヲ結フ○山野ニ自生シテ實小ナルヲしばくりト云フ又結實ノ候一定セサルアリさむぐりト云又枝ノ下垂スルアリしだれぐりト云フ</p>	<p>梅雨ニ至テ至小ノ黃白花無數穂ヲナシテ箸頭ノ如ク長サ三寸許葉間ニ下垂ス是雄花ナリ雌花ハ短小ノ穂ヲナス</p>	<p>狹長披針狀ニシテ周邊ニ鈍鋸齒アリ襟葉ニ似テ較潤大能ク稠茂ス</p>	<p>枝葉頗ル粗大ニシテ間々幹ノ如キモノアリ能ク假葉繁密シテ庇蔭ヲナス</p>	<p>老樹ハ高四五丈圍六七尺ニ及フ其幹條暢セス多クハ地ヲ距ルコ一二丈岐シテ枝葉ヲ橫張ス外皮灰白色粗厚ニシテ皸裂ス</p>	<p>名 漢 栗</p> <p>名 洋 CASTANEA VULGARIS. LINN. カスターナ ヴニルガリス</p>	

種 藝	種 實	植 苗	條 摺	接 嫁	條 歴	養 培	護 保	質 材	効 用	雜 說



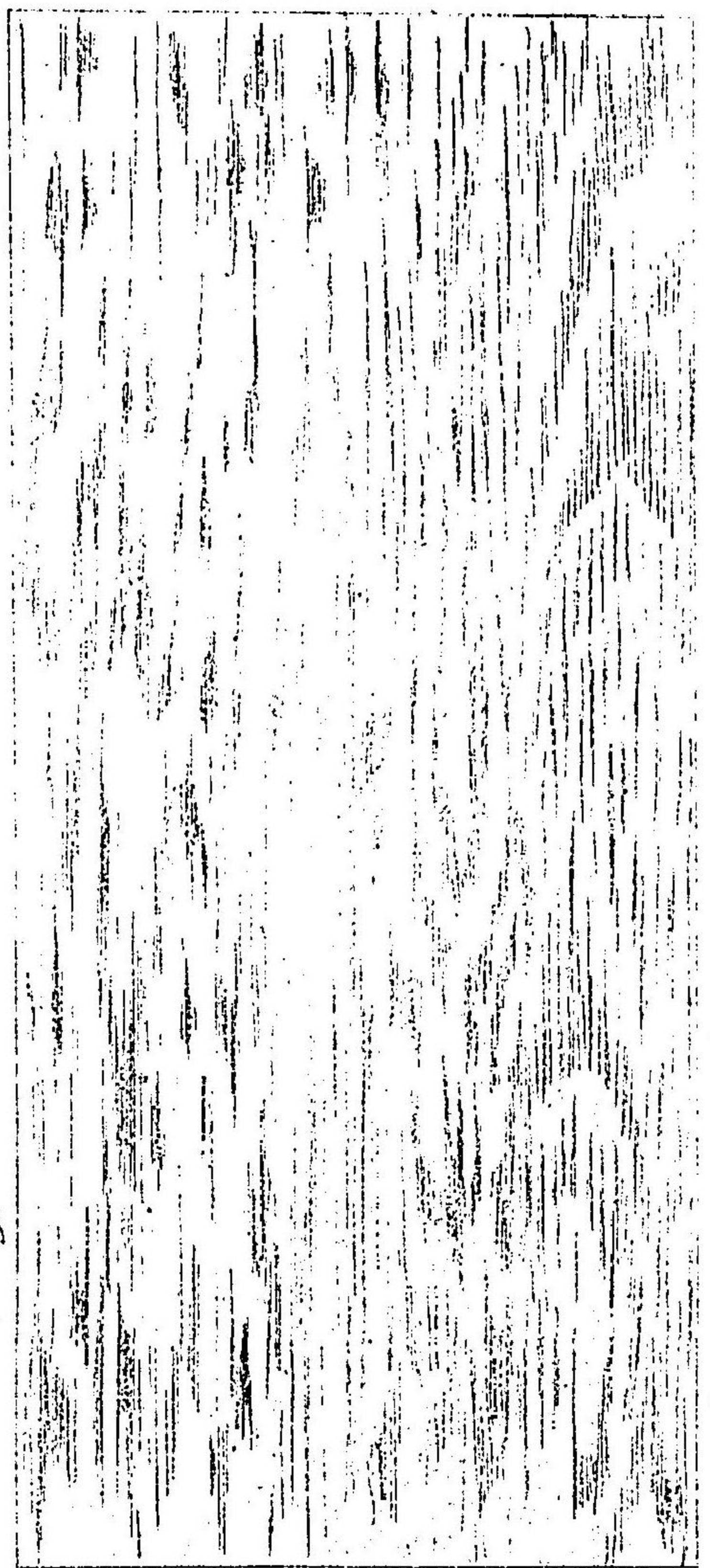
第二十七號
ク
リ

薪 落 喬 葉 炭 葉 木 科
提 要
號 八 廿 第

種 名	形 狀						地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	
くぬぎ	喬大ナル者高七八丈圍丈餘ニ及フ樹皮甚ク粗厚ニシテ大ニ皴散ナナス	枝柯長大ニシテ偃蓋ヲナス	栗葉ニ比スレハ較硬ク長三寸濶一寸許上半較濶ニ其頭微尖ニシテ鋸首狀ヲナセリ周邊ノ鋸齒疎ニシテ淺シ霜後枯テ久シク落チス	立夏ノ後新葉ノ間ニ細穗ヲ垂レ黃花ヲ開ク栗花ニ似テ較短小ナリ之ヲ雄花トス雌花モ亦栗樹ニ異ナラス	實ノ形栗子ニ似テ小ナリ圓ニシテ其頂微尖秋ニ至リテ暗茶色ヲナス蒂ニ殼斗アリテ其半ヲ包ミ刺毛アリテ柔軟ナリ熟スルニ及ヒ自ラ裂ケテ子ヲ墜ス	小樹ハ其生成頗ル速カナリ屢截伐シテ能ク萌芽ス薪炭ノ爲メニ林ヲ作ルモノハ八九年ニシテ伐斫スルヲ常トス	山野ニ生ス寒暖ヲ問ハス各地ニアリ
名 方							
名 漢							
標							
俗 柵 又 櫪 又 櫪							
名 洋							
QUERCUS SERRATA TH.							
クニルキニス セルラタ							

種 名	藝 種					説 雜
	條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實	
櫛 樹				櫛 樹 同 ン	子 實 下 シ テ 最 モ 生 シ 易 シ 其 法 櫛 樹 同 ン	一種あべまきト稱スル者外皮厚クシテ輕鬆ナルヲ以テ梓木皮ノ用ニ充ツヘシ然レモ自生ノ者ハ十分ノ用ヲナサス故ニ西洋法ニ從ヒ一タヒ外皮ヲ剝キ去リ八九年ヲ經テ再ヒ生スル者ヲ最上トナスヘシ
材 質	材質白色中部微赤ナリ堅硬重量ニシテ肌理甚ク粗ナリ					
用 効	其材反張シ易キヲ以テ板ヲ作り及ヒ屋柱トナスヲ得ス唯柴薪トナシ炭ヲ作ルニ此材ヲ以テ最良トナス其殼ノ斗ハ皂色ノ染料ニ充ツ故ニ一ニ皂斗ト稱ス木皮ニ油質多シ櫛皮ノ用ヲ補フヘシ嫩葉ハ野蠶ヲ養フヘシ					

第二十八號
冬 楓 木



炭白落潤喬茶
材薪葉木科
提嬰
號九廿第

説 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	狀 形							稱 名						
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質		體 全	實	花	葉	枝	幹	根	名 通	名 方	名 漢				
或曰おほなら材ハ歐洲ニ稱スル所ノ「シエース」(即なら)ト同質ニシテ船艦ヲ造ルヘキ良材ナルハ歐人モ保證スル所ナリ然ルニ造船家船工ハ樟ト樺アルヲ知テ未タ此材ヲ用ユルヲ欲セス信越地方ニ良材ヲ産スト雖多ク深山中ニ生シ運搬ノ不便ナルヲ以テ唯薪炭ニ供スルノミ亦惜ムヘキニ非サヤ	櫟材ト同ク建築器具ノ用ニ供スヘカラス柴薪及ヒ炭ヲ作ラ櫟材ニ次クモノトス又香白ヲ作ル此材ヲ用フ以テ石白ニ換フヘン 山家香蠟ヲ製スルニ此材ヲ用ユルハ産出スル所最多シト云フ	材質漆褐色ニシテ堅硬ナリ肌理櫟材ニ比スレハ較密ニシテ之ヲ飽削シテ光澤アリ						其子實ヲ下シテ甚タ生シ易シ其法櫟樹ニ同シ 櫟樹ニ同シ	諸國生セサルナント雖深山中ニ非レハ産セズ	體 全	實	花	葉	枝	幹	根	おほなら	方 名	みづなら	漢 名	俗 櫟	洋 名	QUERCUS	クニルキニス

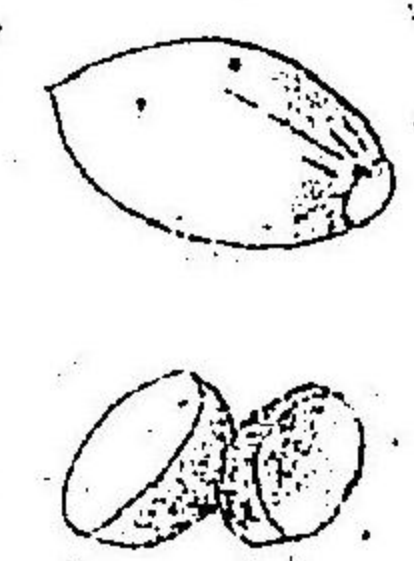
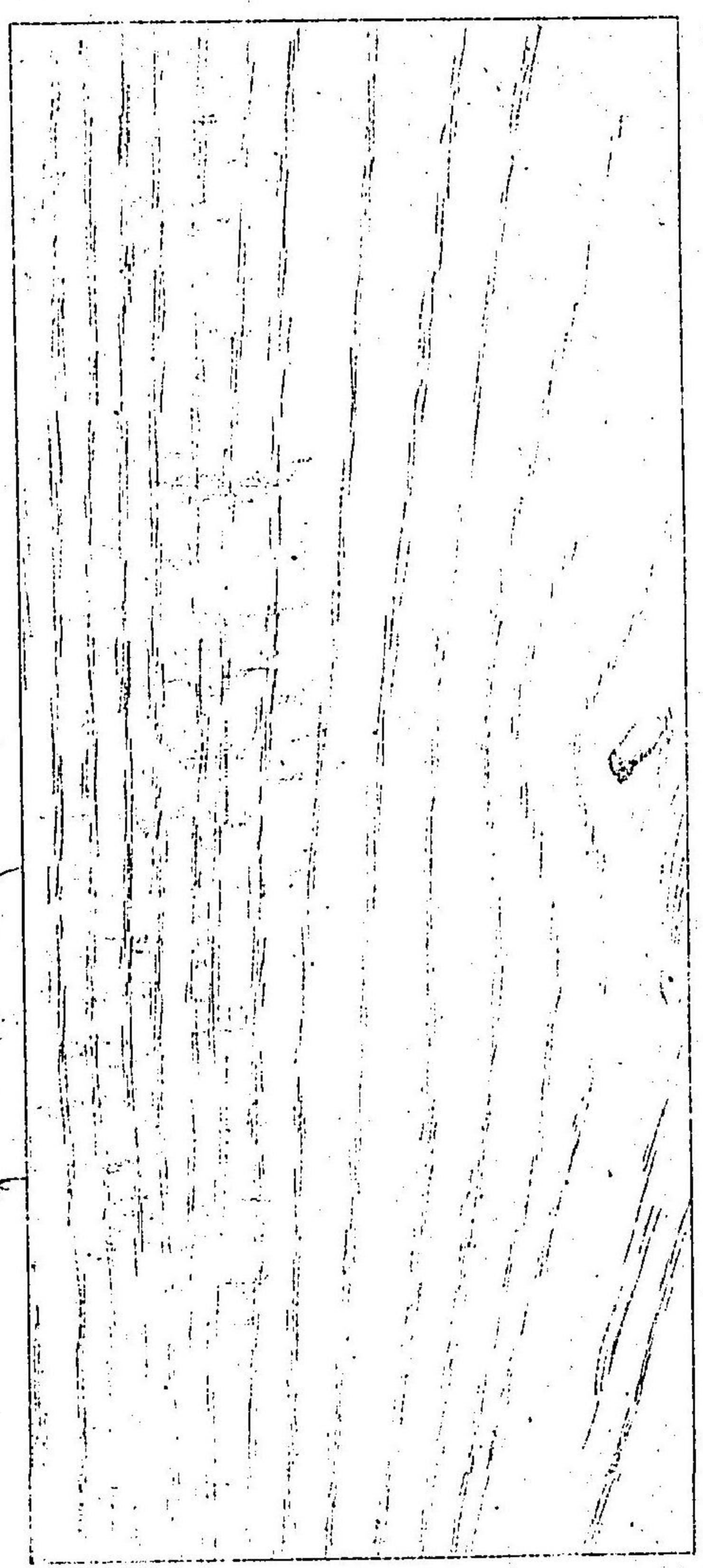
第廿九號
おんちんら



説 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					形 狀						地 適	稱 名				
					條 壓	接 嫁	條 標	植 苗	植 質	體 全	實	花	葉	枝	幹		根	名 通			
																		名	方		
	伐採シテ薪柴及炭ヲ作ルニ多シ此樹ヲ用ユ小枝ヲ柴トナスニ枯葉ヲ帶ヒサルヲ以テ櫟ニ勝レリトス萌蘗スルモノハ刈取シテ肥料トナス田圃ニ肥ヲ添ユル此樹ヲ最トス樹皮ニ澁質アリテ櫟皮ニ換用スヘシ 香單ヲ製スルノ用おほならニ同シ	其材白色ニシテ微青ヲ帶フ木理おほならニ比スレハ較粗ニシテ密ナラス唯其堅硬チ全ス					おほならニ同シ	おほならニ同シ	おほならニ同シ	おほならニ同シ	おほならニ同シ	樹形おほならニ類シ樹皮厚硬ニシテ皴散ノ粗大ナル櫟樹ニ類似セリ高三四丈圍亦四五尺ニ過ス おほならニ同シ	樹形おほならニ類ス較狭小ニシテ厚ク缺刻亦淺シ秋季凋落ス	おほならニ同シ	おほならニ同シ	樹性萌蘗ノ速ナルヲ以テ多ク伐採シ喬大チナスモノ甚ク稀ナリ夏月小木ノ枝梢ニ栗毬ノ如キモノヲ生ス其刺柔軟ニシテ人手ヲ刺サス初緑色後ニ茶褐色ヲナス是レ蟲窠ナリならがうト呼フ之ヲ破ルニ綠色ノ時小長白蟲アリ褐色ノ時小蜂アリ おほならト同ク諸地生セサルナント雖山麓原野ニ多クシテ深山ニ稀少ナリ	こ な ら	ほ そ だ め	漢 名 枹	俗 枹	洋 名 QUERCUS CRISPULA BL. ク ニ ル キ ニ ス ク リ ス ピ ニ ラ



第三十蹄
こゝら



薪落凋喬 炭葉葉木 葵莢科 提要 號一十三第

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	狀 形							稱 名
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實		體 全	實	花	葉	枝	幹	根	
楊梅櫻子桐山毛櫟柯樹等ノ樹皮モ皆綱ヲ染ムヘント雖此樹皮ヲ用ル最多シ故ニ多ク樹皮ヲ剝テ賣出ス	建築等ノ用ニ堪ヘス薪炭ト爲スルハ櫟枅ニ亞シ 木皮ヲ染料トナス漁網ヲ染ルニ最モ必需ス	材白色ニシテ微赤ヲ帶フ堅硬ニシテ重量ナリ水濕ヲ受ケテ朽敗速カナラス							實ナ下シテ生シ易シ	諸國アラサルナシニ野地方最多シ	體全	實	花	葉	枝	幹	根	名通
											老ナル者多シ形甚櫟なら二木ニ類ス數々伐採シテ能萌芽ス 枝柯四出シ翠葉婆娑タリ	枝梢ニ實ヲ結フ櫟子ニ類シテ較圓ナリ其蒂ニ斗アリテ軟刺ヲ密生ス	春月新葉ヲ發スル時花ヲ若ク雌雄アリ雄花ハ葵莢狀ナシハ栗花ニ似テ短小ナリ雌花ハ葵莢ヲナサス	假寐トシテ廣張ス	高二三丈圍五六尺 外皮灰白ニシテ黒ヲ帶厚シテ拆裂ス		か い は	
																		名 漢
																		櫟
																		俗 柏
																		名 洋
																		QUERCUS DENTATA TH. クニルキニス デンタ

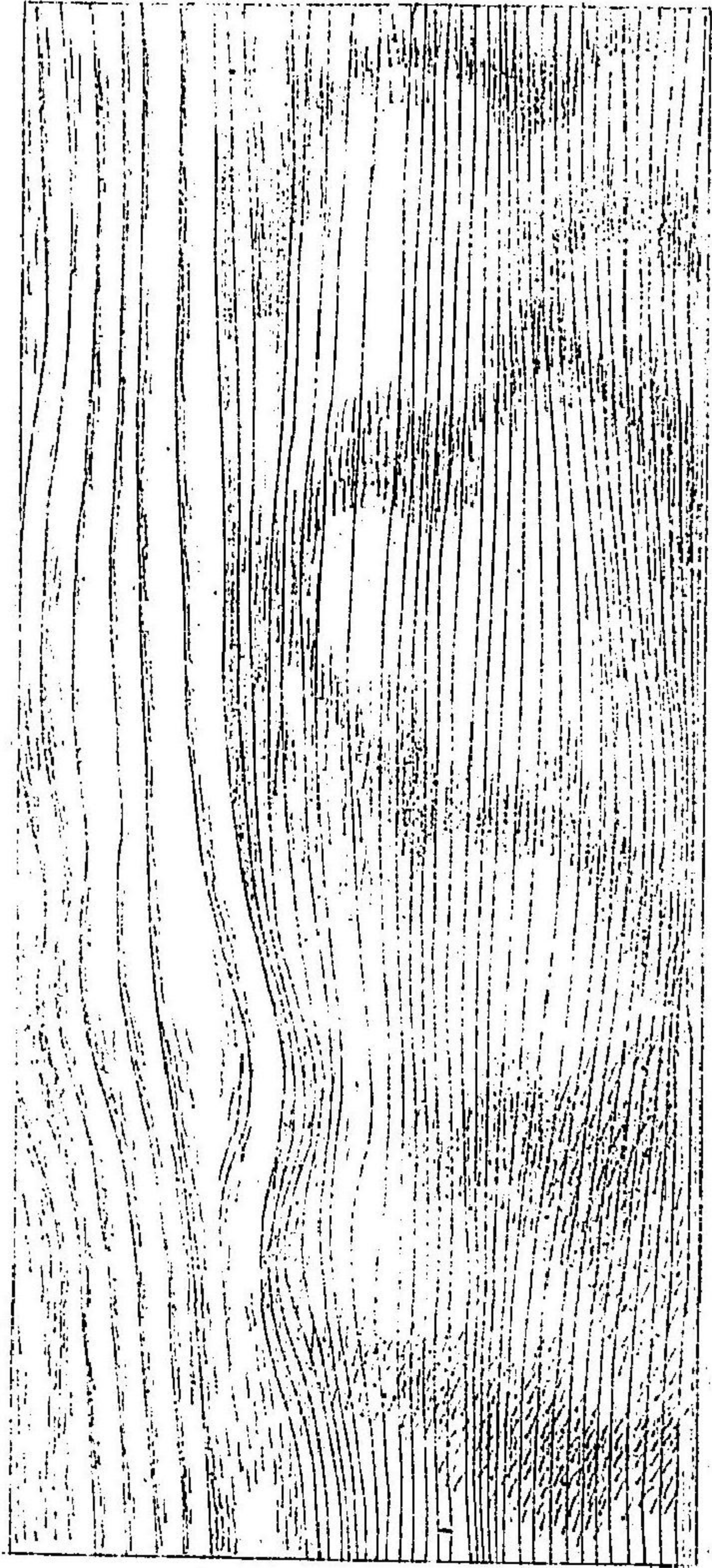


第三十一號
かーい

器落喬葉木科
物葉葉木科
提要
號二十三第

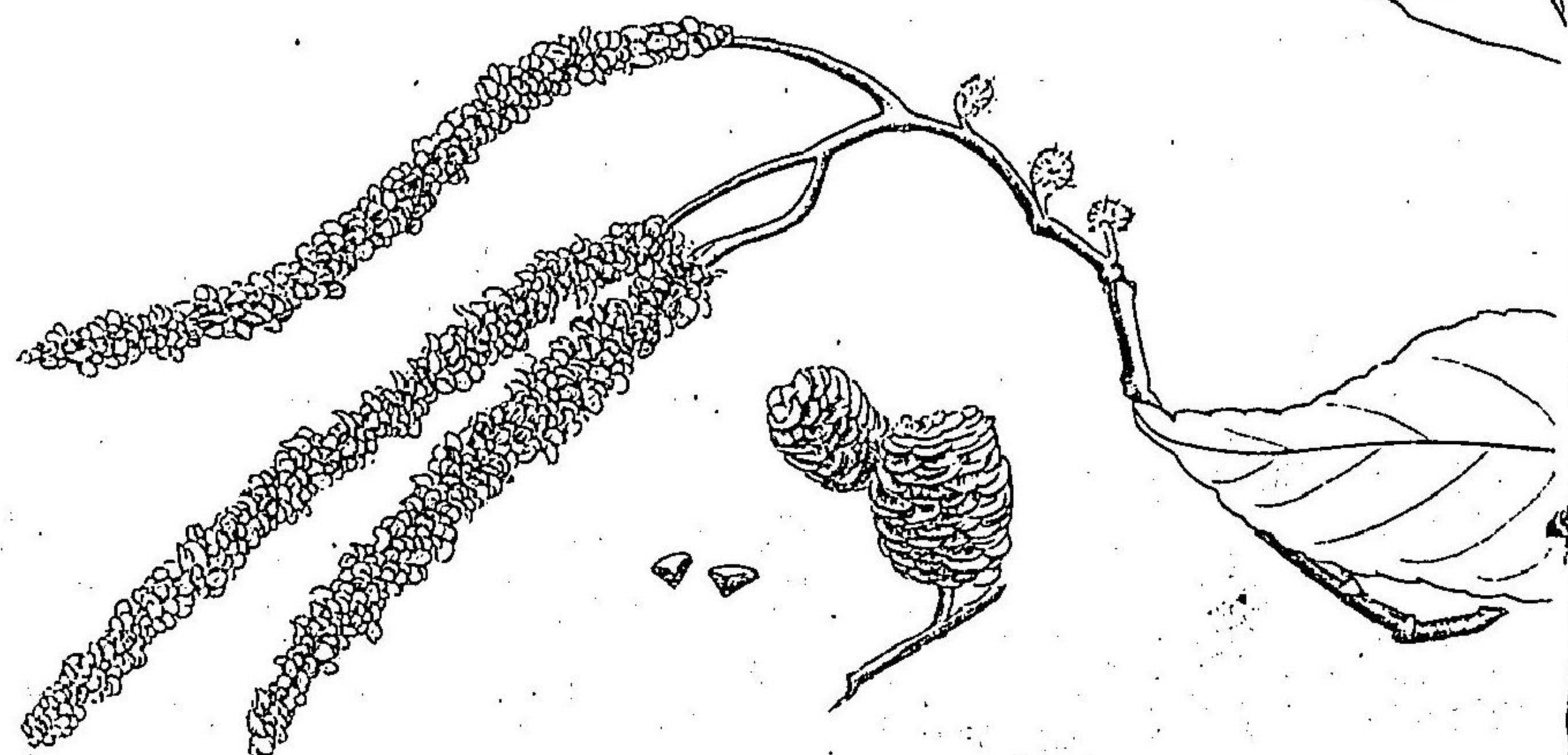
説 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適 狀 形							稱 名		
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質	體 全	實	花	葉	枝	幹	根	名 通	名 方	名 漢
此樹堅韌比ナキヲ以テをのされト呼フ斧モ折ルヘシトノ義ナリ	棧及櫛ヲ作ルニ此材ヲ需用ス又杖ヲ作ルヘシ凡ソ堅硬ヲ要スルノ具之ヲ用ヒテ甚タ妙ナリ古來木硯ヲ作テ鞆旅ノ用トナス	材色淡褐肌理美密ニシテ其堅硬ナル他樹比ナシ又粘力アリテ折レヌ					摺挿シテ活ス	下種シテ生ス	東北諸國深山中ニ自生ス日光木曾山中最モ多シ	枝條揚起シ翠綠扶疎アリ	實ヲ結フ其形赤楊實ニ似テ較大ナリ霜後鱗片自脱シ子片ト共ニ飄零ス赤楊實ノ硬ニシテ年ヲ經テ久墜ル者ト殊ナリ	此樹赤楊ノ屬ナルヲ以テ雄花雌花狀大抵相同シ	榜圓尖頂長サ二寸餘細鋸齒アリテ薄シ葉面淡綠背面更ニ淡シ脈理頗ル美ナリ	枝條暢舒シ小枝微赤滑澤ナリ	直上シテ高三四丈圍四五尺樹皮粗厚ニシテ外皮時々自ラ剝落ツ	根	みねばり	きのをれ	ALNUS FIRMA. S. ET Z. アルニス フェルマ

第三十二號
みねむら



號三十三第
 提 要
 葉 黃 科
 喬 木
 落 葉
 薪 炭

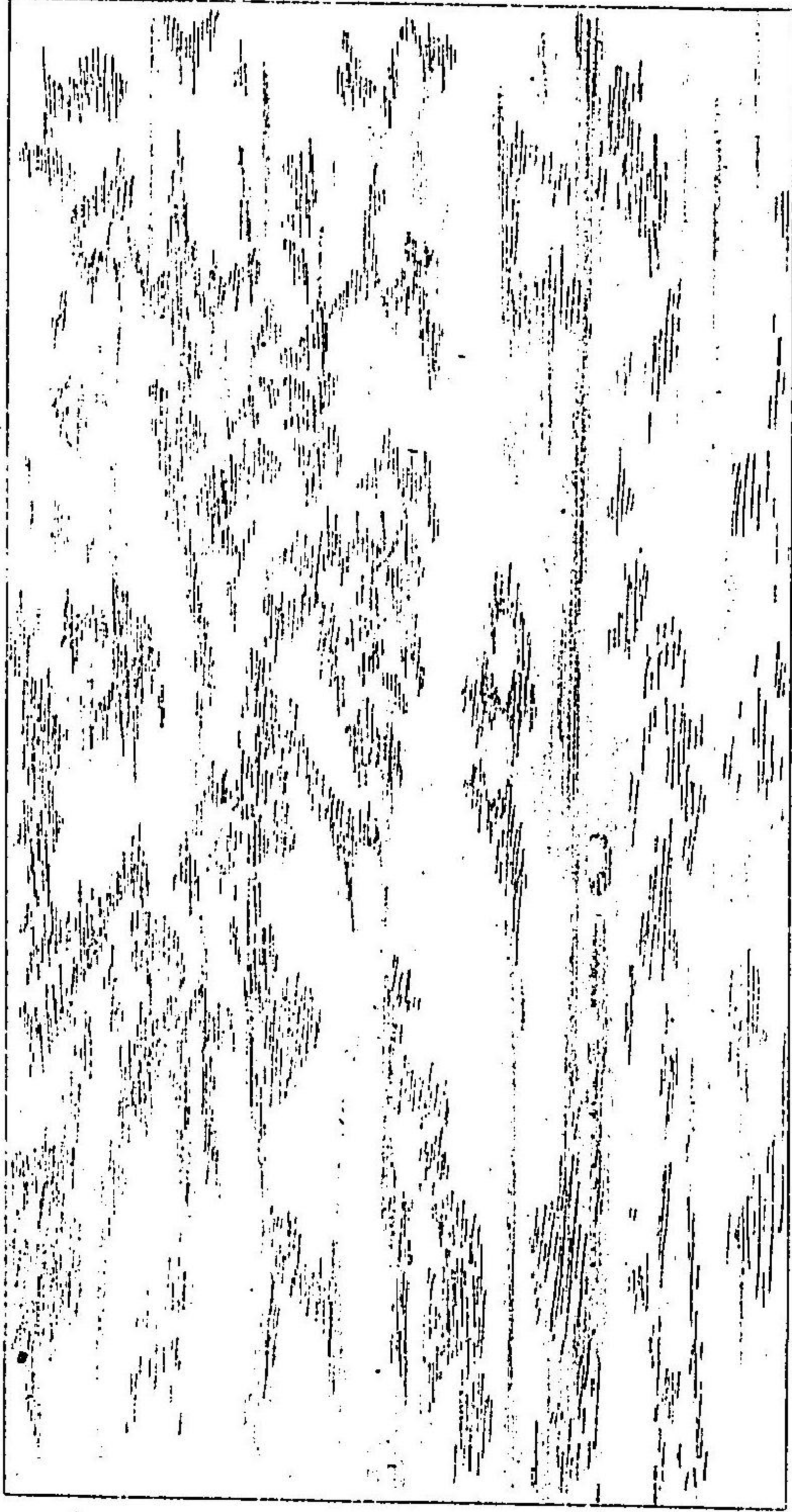
種 名	形 狀						地 適	種 藝					用 効	説 雜
	根	幹	枝	葉	花	實		體 全	植 質	植 苗	條 摺	接 嫁		
はんのさ 名 方 えりのさ 名 漢 赤 楊 俗 橙 又 楡 名 洋 ALNUS MARITIMA NUTT. アルニユス マリチマ	成長速ニシテ直生ス高五六丈圍四五尺ニ及フ樹皮淡黒細皺アリテ粗ナリ其内皮赤色軟脆 枝條長大細枝亦繁稠ナリ	樹形直ニシテ枝柯揚起シ翠色蒼々タリ 山野水濕ノ地ニ適ス民家多ク溝傍ニ栽植シ屢枝葉ヲ斬禿マテ黍麥ヲ掛ルノ杆トナス新條又速ニ發生ス水涯ニ栽植スヘキ樹中ノ一ナリ	實ノ大サ雀卵ノ如ク小鱗密疊シテ成ル初翠色ニシテ硬シ秋季熟シテ黒褐色ヲナシ鱗拆クテ子片落ツ 樹形直ニシテ枝柯揚起シ翠色蒼々タリ	花ニ雌雄アリ雄花ハ冬季葉腋ニ蕾ヲ生ス紫赤色ニシテ形笠頭ノ如ク下垂ス春分漸ク舒大ニシテ細花ヲ簇生シテ開キ葉黃 狀ヲ成ス雌花短小ニシテ葉黃狀ヲナス	實ノ大サ雀卵ノ如ク小鱗密疊シテ成ル初翠色ニシテ硬シ秋季熟シテ黒褐色ヲナシ鱗拆クテ子片落ツ 樹形直ニシテ枝柯揚起シ翠色蒼々タリ	種子ヲ收メ下シテ生シ易シ 根土ニ小木ヲ生スル多シ分植シテ能ク活ス	材質白色微赤ヲ帶フ日ニ晒シテ褐色ヲナシ易シ肌理密ニシテ堅硬ナラス	大材ハ板ニ作ルヘレ研伐シテ其萌蘗速ナルヲ以テ多ク薪柴トナス火力最モ強シ又灰ハ火藥ノ用トナス炭ヲ作レハ櫟樹ニ及ハストス内皮ヲ剝テ染料トナス實ヲヤシヤぶシト呼ヒ亦染料トス						



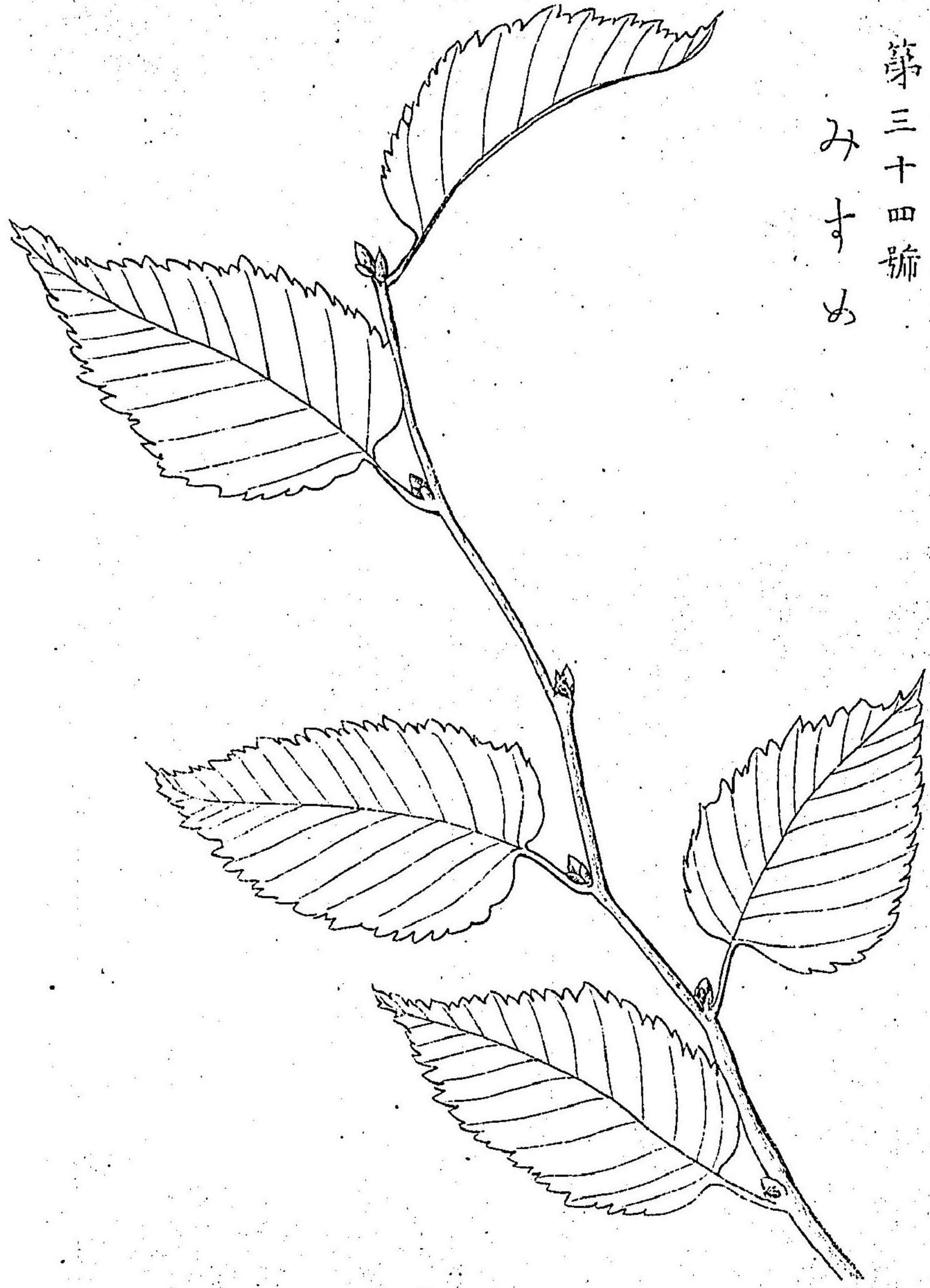
第三十三號
たんのき

器落潤喬葉莢莢科
物葉葉木科
提要
號四十三第

説 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	種 藝					地 適						形 狀	稱 名			
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質	體 全	實	花	葉	枝	幹			根	名 通	
此樹花ヲ見ルハ稀ナリ故ニ不見ノ義ヲ以テみずめみずぬノ名アリト云フ	板ヲ作り及ヒ匣箱ノ類ヲ製シテ樅材ニ亞クモノトス	白質輕軟肌理甚タ疎ナリ水濕ニ置テ久ニ耐ヘ難シ			摺挿シテ活ス其法樅樹ニ殊ナラス				下種ノ法樅樹ニ全シ	寒地ノ深山中ニ産スルモノ多シ木曾日光諸山ニ多シ	枝條揚起翠綠繁稠ナリ	亦みねばりノ如シ	雌雄アリみねばりニ類ス	其葉長サ二寸餘潤脚尖頂ニシテ圭形ノ如シ邊ニ重鋸齒アリ互生ス深緑ニシテ厚カラス冬月ニ凋零ス	枝柯肥大細條亦多シ	聳立シテ生ス高四丈餘圍七八尺樹皮黒褐粗厚ナリ之ヲ剝クニ氣臭アリテ荷香ノ如シ	み ず ぬ	方 名 み ず ぬ とくそみねばり	漢 名	洋 名 BETULA ULMIFOLIA. S. ET Z. ベチニラ ユルミホリヤ



第三十四號
みすめ



諸落喬菜葉木科
用葉葉木科
提要
號五十三第

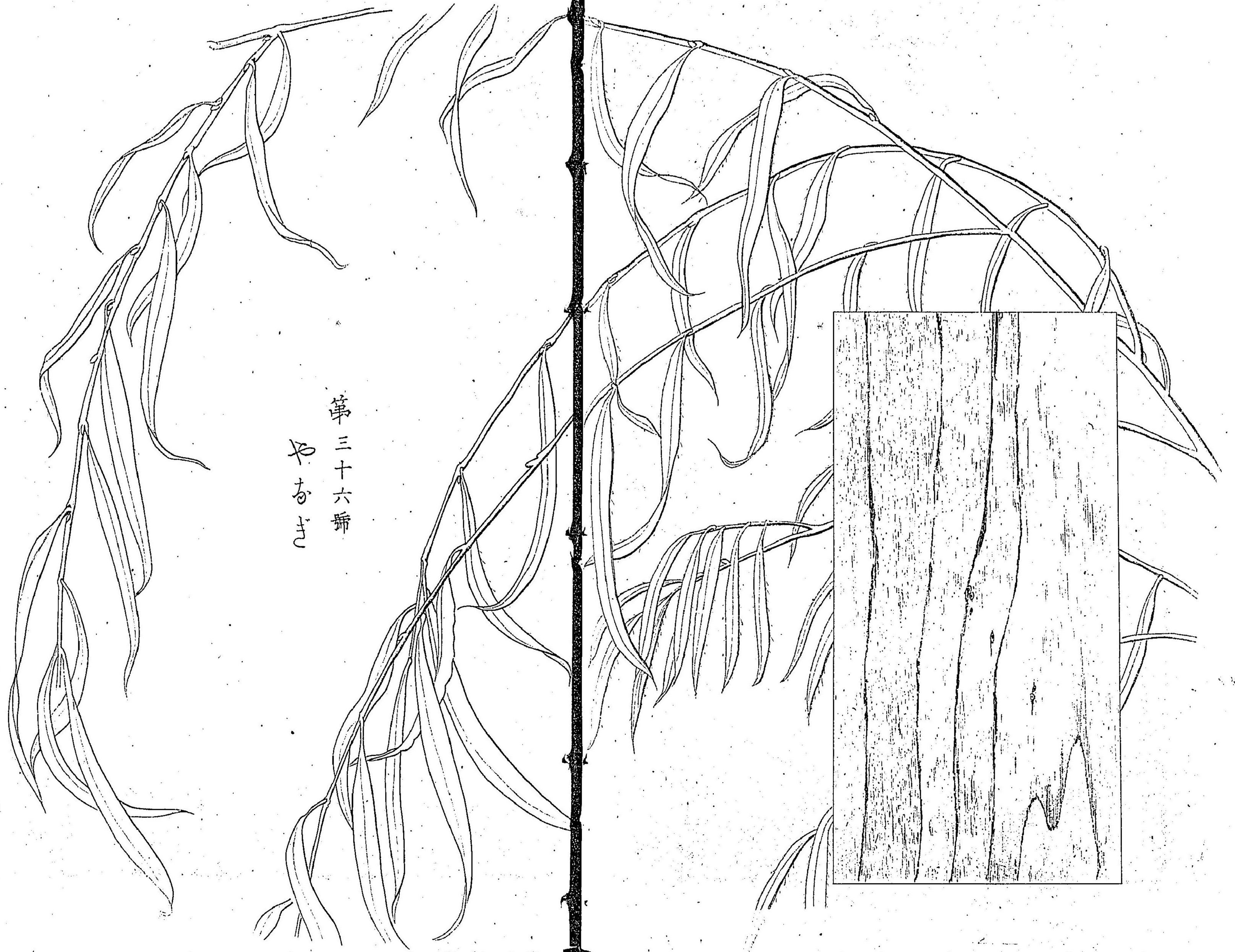
説 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適 狀 形							稱 名			
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質	體 全	實	花	葉	枝	幹	根	名 通	名 方	名 漢	名 洋
	其材ハ匣箱及櫛ヲ作ルヘシ或ハ以テ薪柴トナス其皮ヲ剝テ短冊トナシ或ハ合箱ヲ縫ヒ又諸物ヲ包裹シテ竹籐ニ換ヘ紐索ヲ作リ炬燵トナス水ニ遇テ滅セス	白質微赤肌理細美ニシテ堅硬ナリ蠟楸ノ黒斑ヲナス者アリ是レ朽質ニ属ス朴樹ノ類ニ同シ					挿挿シテ最能ク活ス	山中自生ノ小木ヲ取リ畦圃ニ培養スル一年ニシテ移栽ス	子種ヲ下シテ生ス	高山寒地ヲ喜ブ東北諸國最モ多ク北海道モ亦産出ス南方平地ニ植ルモ活シ難シ	枝梢揚起ス生長甚速ニシテ二四年ニシテ矮林ヲナスヘシ	實ヲ結ブ赤楊實ニ似テ薄片鱗片ノ未尖レリ	花ニ雌雄アリ春月葉未タ生セス雄花葉腋ニ穗花ヲ垂レ菜蕒狀ヲナス其花白色細瑣雌花ハ更ニ短小ナリ	心臓形ニシテ其頂狹尖ナリ縁邊ニ鋸齒アリ互生ス大サ梨葉ノ如シ霜ヲ經テ飄零ス	枝柯長大ナリ	其幹直幹シ高三四丈圍五六尺樹皮横理ニシテ櫟皮ニ同シ脂氣アリテ芳香其色白クシテ恰モ粉ヲ塗ルカ如ク黒褐ノ横斑點アリテ頗ル美ナリ此樹皮層ハ薄剝シテ紙ノ如クナラシムヘシ	しらかば	しらかば	樺木	BETULA ALBA LINN. ベチニラ アルバ



第三十五號
ちんりん

號六十三第
提 要
茶 荻 科
喬 木
落 葉
器 具
薪 柴

種 名	形 狀						地 適		
	根	幹	枝	葉	花	實			
やなぎ 名 方 くだれやなぎ 名 漢 柳 名 洋 SALIX JAPONICA. TH. サリキス シヤボニカ	直幹スルモノ高二四丈圍四五尺樹皮灰白ニシテ黒ヲ帯ヒ皺皴ス	枝條細小ニシテ四面ニ垂稜ス	細狹ニシテ披針狀ヲナシ長サ二寸餘其色鮮綠霜後飄零ス	立春ノ後葉芽ホク發セス先ツ細穂ヲ出シ花ヲ開ク長サ五六分其色淡黃雄本雌本アリ	花後穂ニ細小ノ黒子ヲ結フ	枝條軟弱鼻々トシテ垂流シ翠綠蔭ヲナス	樹性水濕ノ地ヲ喜ヒ水涯ニ在ル者頗ル能ク喬大ヲナス萌芽力甚ク盛ニシテ伐斫スルモ亦能盛茂ス		
種		藝		種 質	種 苗	種 播	種 條	種 接	種 壓
種 質	種 苗	種 播	種 條						
根旁ノ小木分植スヘシ		春初水濕ノ地ヲ撰ミ嫩條ヲ斫リ長サ尺餘其本ヲ燒キ末二三寸ヲ餘ニテ斜ニ之ヲ埋メ其土ヲ踏實ス最活シ易シ後ニ數條ヲ生スレハ中ニ就テ強盛ナル者一幹ヲ留メ餘ハ摘ク去ル							
渠泥ヲ洗ク最妙ナリ常ニ肥洗チ多クスヘシ									
小樹ハ柱ヲ立テ纏束セサレハ風ノ爲ニ倒サレ且曲惡ナリ易シ									
白質柔軟肌理美密ナリ									
匣箱ノ類ヲ作テ頗ル雅美ナリ又屢斫伐シテ柴薪トスヘシ 庭園ニ栽植シテ風致アリ									



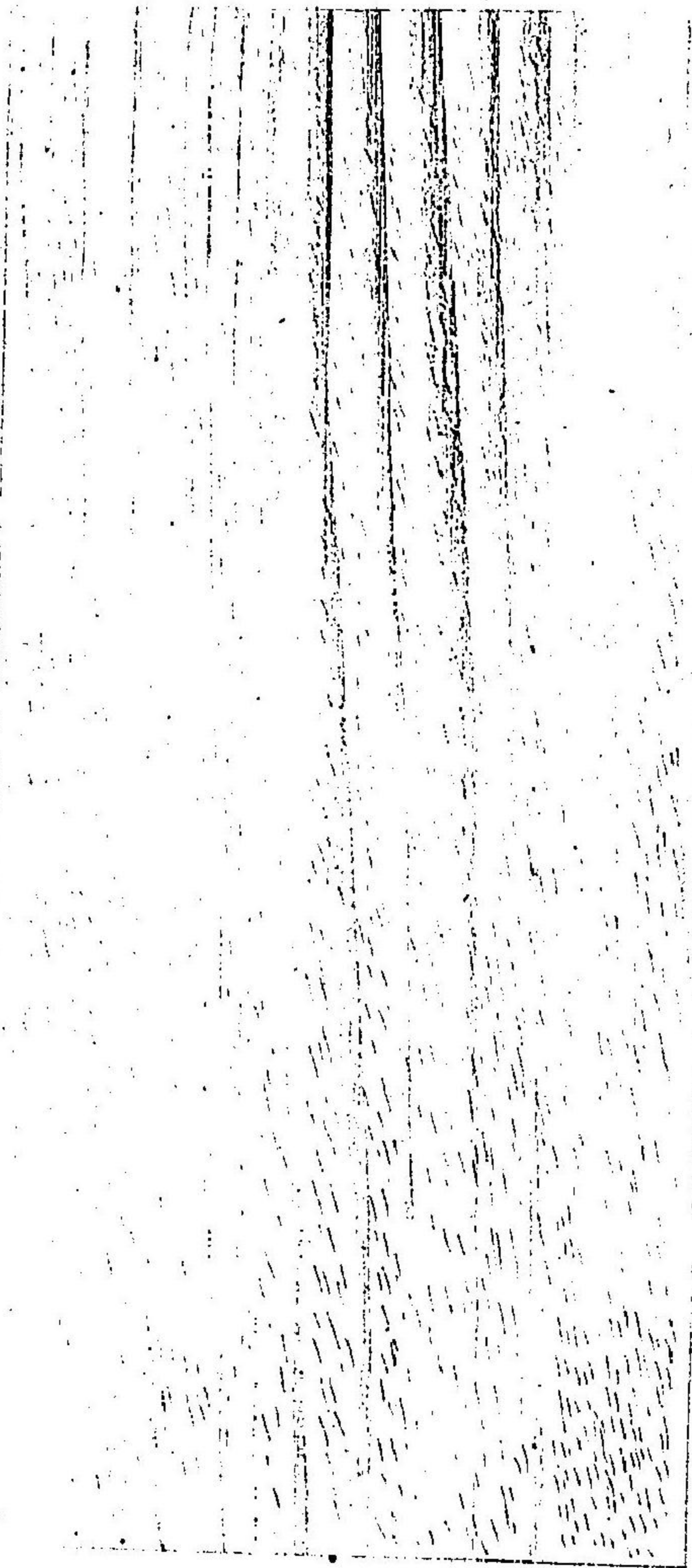
第三十六号
やぶき

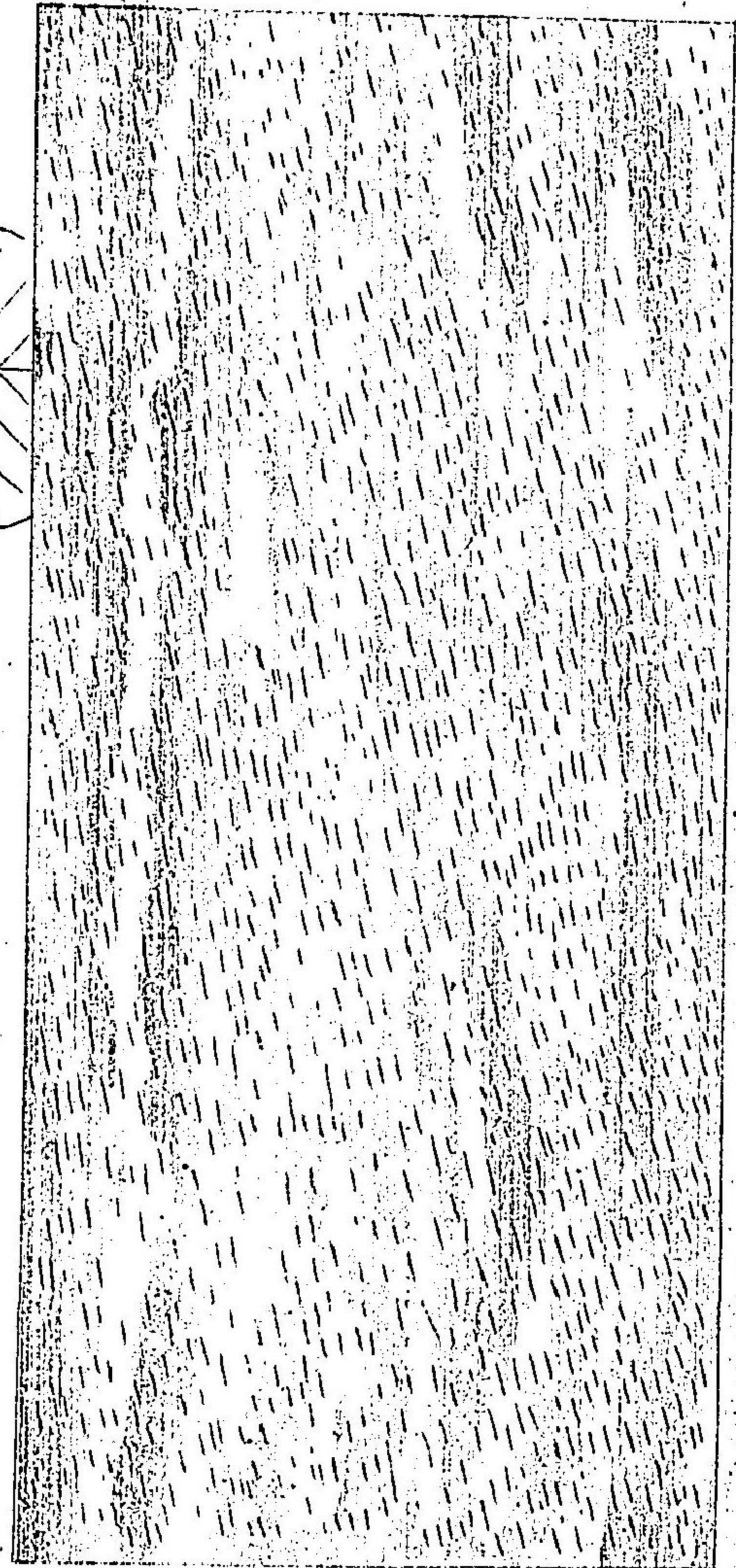
器落潤喬葉黃科
物葉葉木科
提要
號七十三第

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	種 藝					地 適	狀 形							稱 名
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質		體 全	實	花	葉	枝	幹	根	
	箱管ヲ作テ最佳ナリ桐ニ亞ク故ニハコヤナギト云フ又牙杖及ヒ印板トナスヘシ花葉ヲ彫刻シテ頗ル觀ルヘシ	材質白潔ニシテ銀色ヲナシ肌理疎直ニシテ柔韌ナリ	風ヲ受テ倒レ易キヲ以テ根土ヲ踏實シ或ハ柱ヲ立テ之ヲ防ク	樹性潤濕ヲ好ムヲ以テ屢澆テ乾燥セサラシム	諸楊柳樹皆互ニ接換スヘシ	時季ニ拘ハラズ枝條ヲ斷テ土ニ埋ムルニ萌芽長茂セサルナシ				陰濕ノ地ヲ喜ヒ高燥軟澎ノ土ニ適セス山城地方最多ク下野常陸相模亦多シ	翠綠扶疎トシテ微風ニモ搖キ易シ			春初葉ニ先タチテ葉黃花ヲ開キ長サ寸餘形水楊ニ似テ較大ナリ花ニ雌雄アリ雄花ハ早ク落チ雌花ハ漸ク肥大開發シテ黃色ヲナス	圓潤尖頭形梨樹葉ニ類似シ厚硬ニシテ邊ニ疎鋸齒アリ面深青背ニ毛アリテ白光ヲナセリ葉柄細弱風ニ遇テ聲アリ	揚起舒長頗ル稠密ナリ	喬大ナル者ハ高三四丈圍七八尺ニ及フ然レモ丈許ノ小木最モ多シトス 外皮灰白色	はみやなぎ 名 方 よめふこ 名 漢 白楊 名 洋 POPULUS SIEBOLDII MIQ. ポプユリユス シーボルジー

第三十七號

きよやぶき

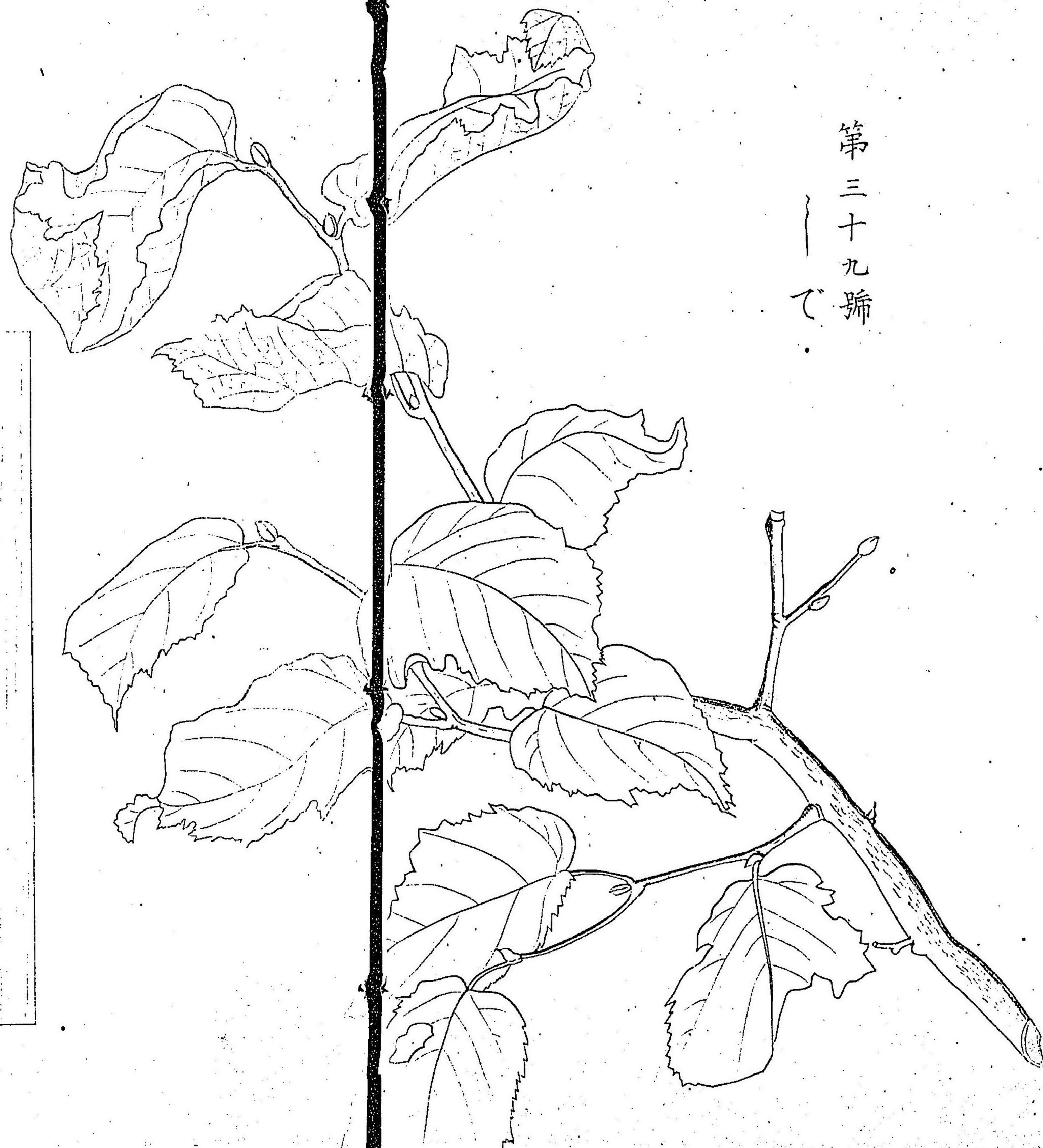
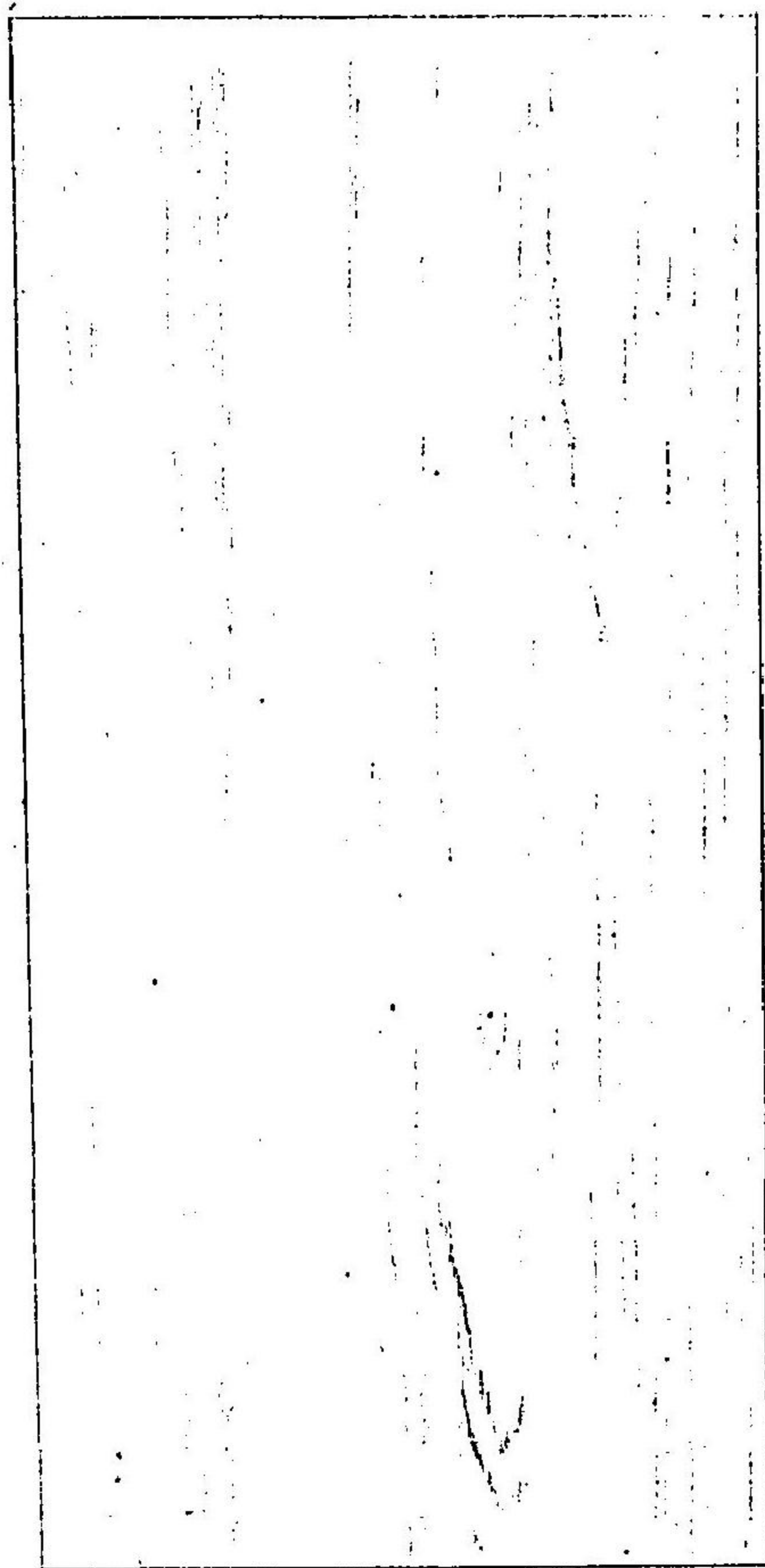




第三十八號
ふか

種名	形 狀							地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	全 體	
し で	樹ノ成長速ニシテ能ク聳立ス高一丈許圍三尺許樹皮蒼白ニシテ細點アリ							諸國山野ニ自生ス陽燾ノ地ニ産スルモノ最モ能ク大ナナス
名 方 そ ろ	枝柯細密ニシテ條暢ス							
名 漢	其莖積圓尖頂長サ二寸許邊ニ鋸齒アリ深緑ニシテ薄シ又白毛アルモノアリ若しでト云フ							子實ヲ下シテ生シ易シ
名 洋 CARPINUS. カルピニウス	春分葉腋ニ穗ヲ垂レ莢莢狀ヲナス小花細粹白色雄花雌花アリ							
	質ヲ結フ薄片鱗層ヲナシテ下垂ス長サ一寸餘每鱗間ニ小子アリ大サ麻ノ如クニシテ茶色ナリ							摺挿シテ能ク活ス
	枝條揚起シテ細條繁密ナリ							
	條 壓							接 嫁
	條 摺							
	植 苗							養 培
	植 質							
	白質ニシテ硬堅又粘力アリテ折レヌ							護 保
	細樹ノ皮ヲ剥キ全材ヲ用テ屋柱トナス材面ニ奇ナル條皺アリ之ヲ拭フ久ケレハ光澤ヲ生シテ甚タ美ナリ細幹ハ近年蝙蝠							
	傘ノ柄ト爲ス山家ハ伐採シテ薪炭トナス又香蠟ヲ作ルニ用ユ							用 効
	説 雜							

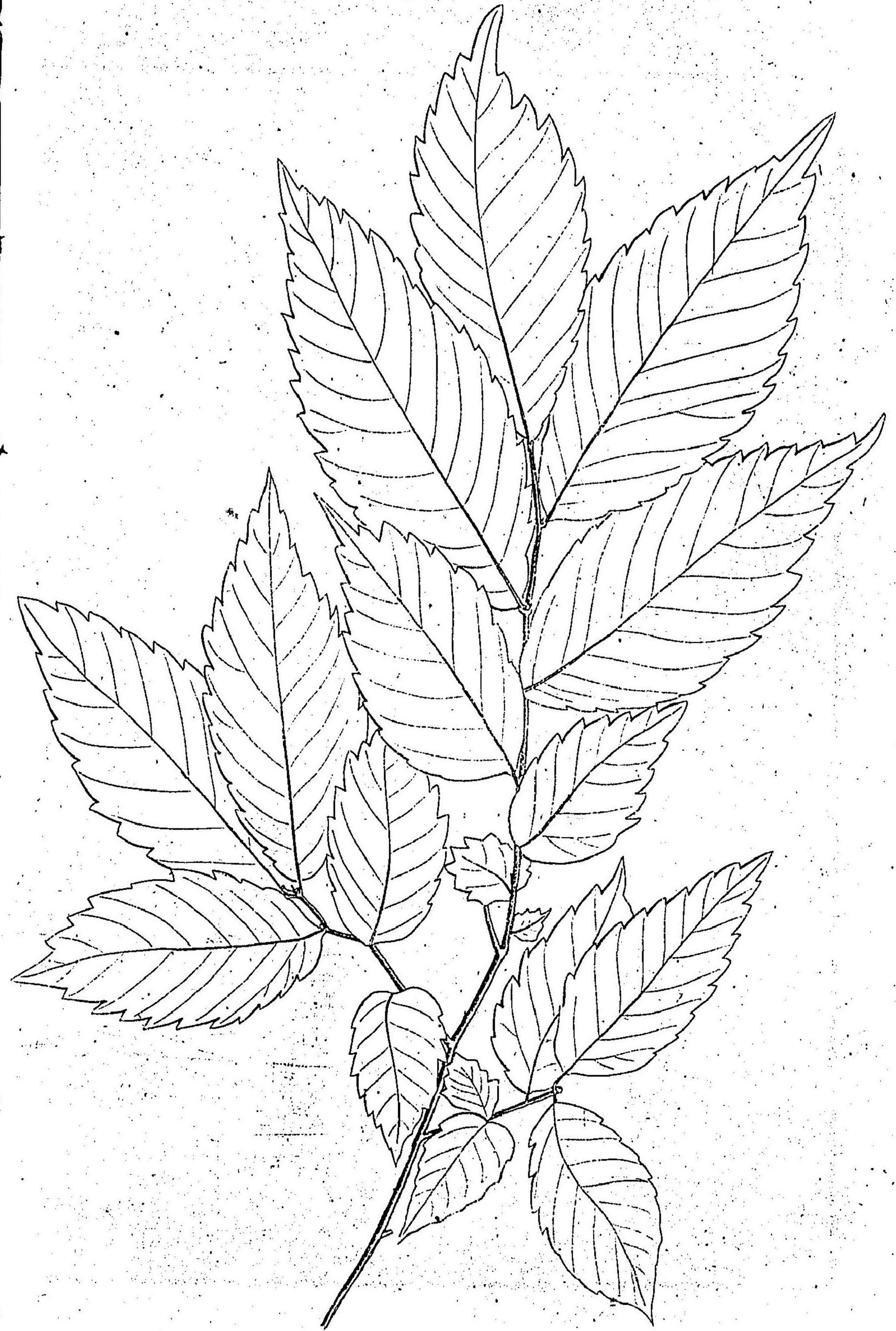
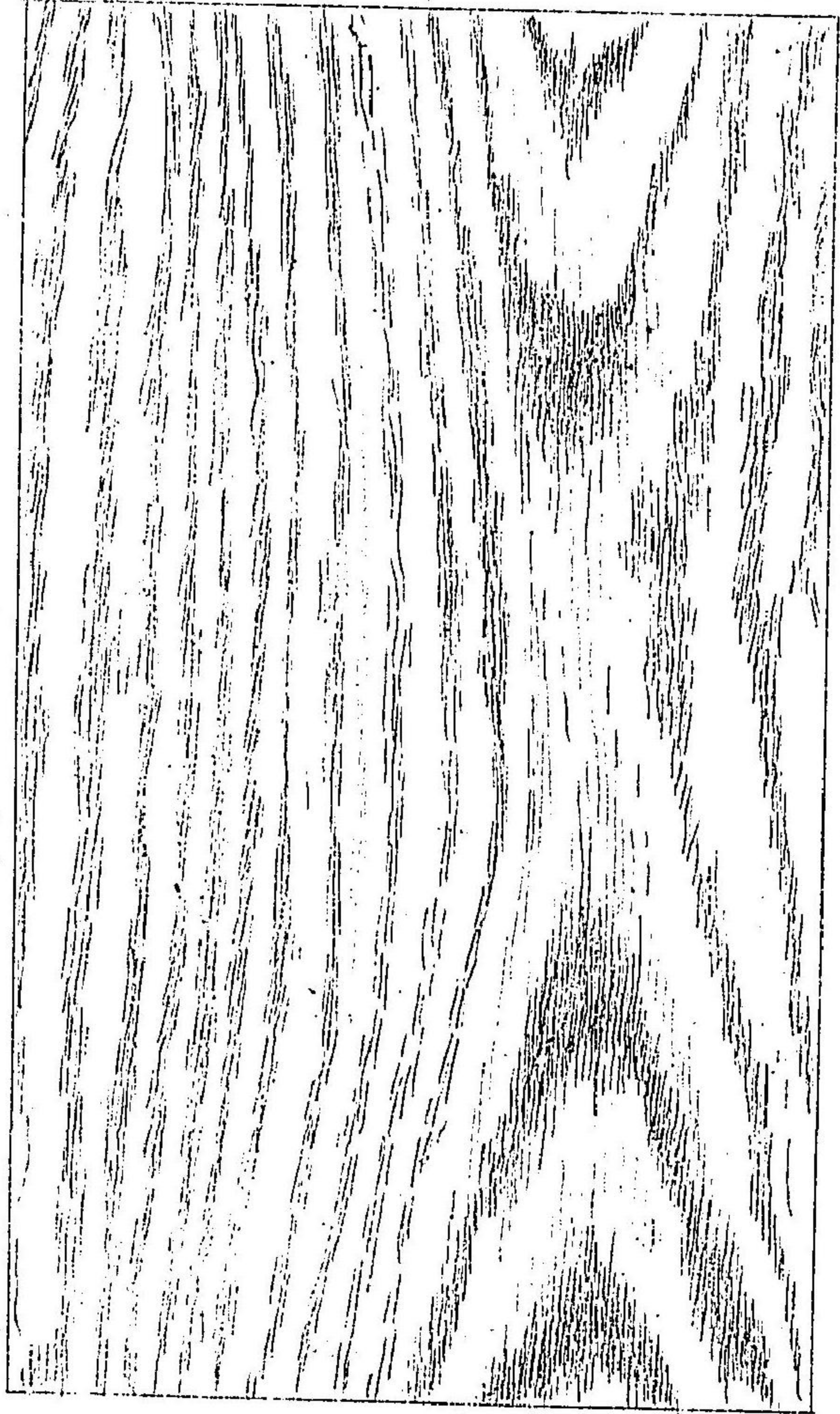
第三十九號
で



號十四第
提要
蕁麻科
喬木
潤葉
落葉
諸用

種名	形 狀						地 適	
	根	幹	枝	葉	花	實		
けやき	幹身最モ端直ニシテ高十餘丈圍亦二丈許樹皮堅硬ニシテ皺皺セス其色青黒	枝柯長大ニシテ細條ヲ抽張スル甚ク盛ンナリ	葉形長橋尖頂縁邊ニ粗鋸齒アリ深緑ニシテ厚カラス	春月ニ花ヲ開ク細小ニシテ其色淡黄ナリ雌花雄花アリ	秋季熟ス形黍ノ如ク較大ニ且扁ニシテ尖ル其色茶褐ナリ葉腋ニ着テ生ス後ニ葉ト共ニ零落ス	枝梢擴張スト雖モ揚起シテ狀倒帚ノ如シ	溫暖ノ燥地ニ適ス寒地及高山峻嶺ヲ除クノ外皆能ク生ス其濕地ニアル者ハ肥易シト雖純柔ナリ燥地ニアルモノハ生長遅シト雖堅硬ナリ但加爾基質アルノ地ニ在ル者堅粗ナリト雖之ヲ工業ニ施シテ第一トス木曾山中ニ良材多シ即チ木曾五木ノ一ナリ紀伊長門日向陸奥諸國亦良樹ヲ産ス	
名 漢	檉							
名 洋	PLANERA JAPONICA MIQ. ブラチラ ジャポニカ							
種 藝								
植 質	植 苗	條 撾	接 嫁	條 壓	養 培	護 保	質 材	
子實霜ヲ經テ飄零スレハ之ヲ收拾シテ細砂ニ交テ貯フ春分肥良ノ畦圃ヲ熟糞汁ヲ洗キ數日ヲ經テ之ヲ下ス發芽スルモノ甚ク少シ故ニ下ス多シテ苗ヲ得ルハ寡シ	一年ニシテ新苗ノ大サ二三尺ニ及フヘシ明春ニ至リ移栽スヘシ				子ヲ下シ及ヒ苗生スルノ後屢米泔水ノ類ヲ澆クヲ要ス	苗生シテ後繁ヲ抜キ去テ疎ナラシメ常ニ澆洗スレハ夏月炎陽ヲ覆フヲ用ヒス但雪霜ニ折傷シ易キヲ以テ短棚ヲ作り之ヲ防禦ス	淡褐ニシテ紫ヲ帶フ香氣清芬木質堅硬美密ナリ精力アリテ折レズ水濕ニ在テ久キニ堪ヘテ朽腐セス老大ノ樹ニ至テハ木理ノ環狀ヲナスモノアリばたんげやき或ハたまもくげやきト稱ス殊ニ奇品トス	大體巨車高厦崇屋ノ材トシ諸般器械門扉器具等ノ用ニ供シ又盆ノ類ヲ鑿作スヘク細幹ハ扇撻シ易キヲ以テ斧斤ノ柄トナシ枝條ハ薪炭トナシ木灰ハ蚊母樹ニ及ハスト雖亦磁陶ノ用ニ充ツ諸潤葉樹中ニ在テ民用最多ク世間缺クヘカラサルノ要品ナリ

第四十號
けやき



提 要
 蕁 麻 科
 落 葉 木
 器 具 發 養

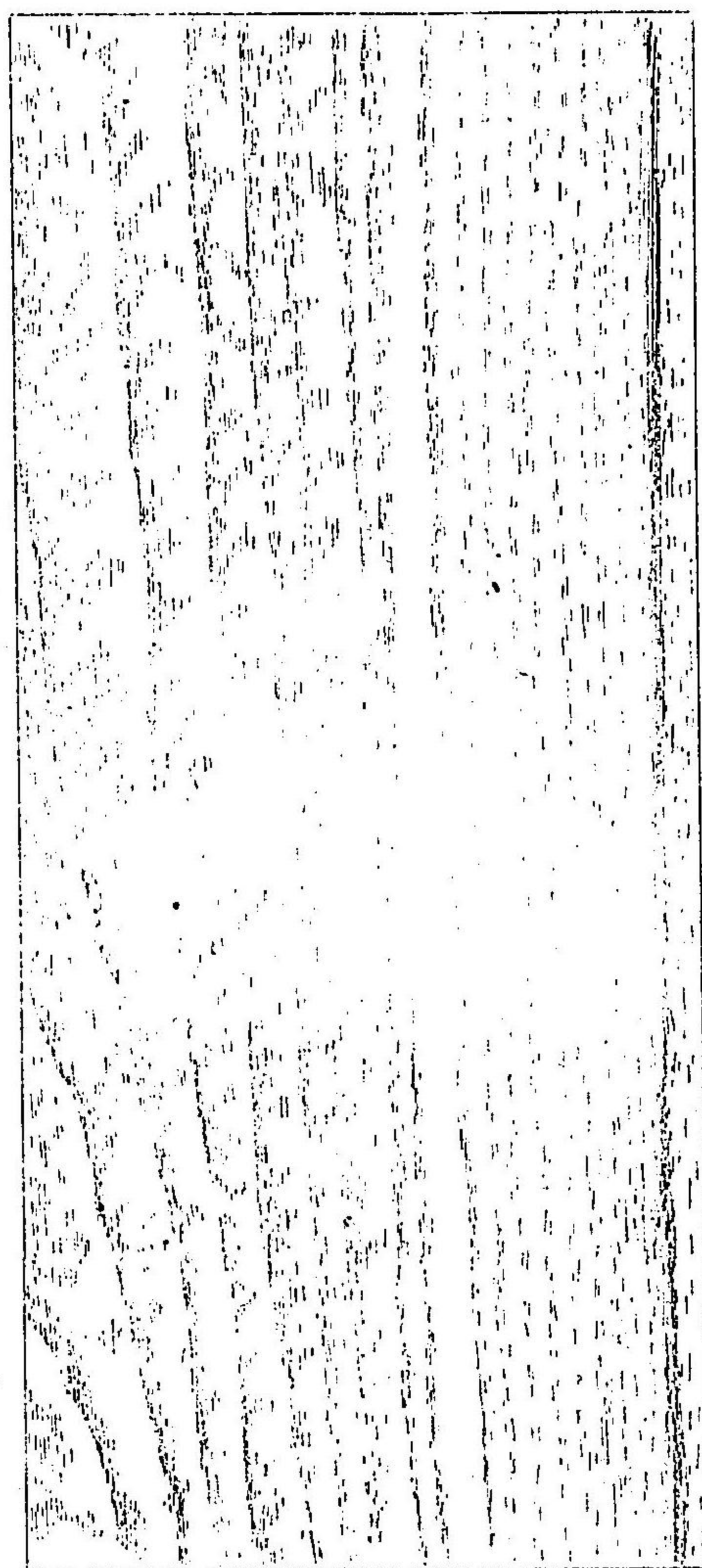
號一十四第

種 名	種			保 護	材 質	効 用	雜 說	
	實 植	接 嫁	條 壓					
子實ノ熟シテ烏黒ヲナシ自ラ落ルモノヲ採取シ即時ニ之ヲ下種ス	苗生シテ二年ニシテ之ヲ移植ス根土ノ小本ヲ分植シテ其成長最モ速ナリ子實ヲ下スモノニ勝レリ	摺挿シテ活シ易シ	桑條ヲ壓スルハ燥土ニ宜シ其根生シ易シトス壓スルノ後一年ニシテ截斷シテ種ニ亦下種ノモノニ勝レリ	每歲兩次澆或ハ澆沙ヲ用テ肥料トナシ之ヲ與フ又草綿子油滓ヲ用フ時々根下ヲ鋤テ舊土ヲ肥換ス	草根ヲ鋤キ去テ生セサラシム樹下ニ菜ヲ種ル最妙ナリ○樹枝ニ蠶蠶ヲ生スルアレハ鐵線或ハ楊枝ヲ以テ之ヲ刺スヘシ	材質黃色ニシテ堅硬ナリ肌理又頗ル美ナリ工作スルモノハ石灰汁ヲ用テ材ヲ暗褐色ニ染ムルヲ常トス	箱篋諸器具ヲ作テ甚タ雅致ナリ之ヲ鉋削シテ光澤アリ其葉ハ養蠶ノ用ニ供シ人世ノ利益ヲナス養蠶ヲ待タサルナリ又木皮ヲ剝テ紙ヲ製スヘク白皮ヲ燒酒ニ和シ釀成スルモノヲ桑酒ト呼フ亦美品ナリ其實亦酒ヲ釀スヘク生食スヘク熟食スヘシ	唐土ニテ金ノ末ニ年大ニ飢荒ス民皆樵ヲ食フテ活ヲ獲ル者勝ケテ數フヘカラス

地 適	形 狀						稱 名
	體 全	實	花	葉	枝	幹	
地ノ寒暖ヲ問ハス能ク繁殖スト雖モ喬大ヲナス者暖地ニ多シテ寒地ニ稀ナリ且砂地ヲ喜ンテ粘壤土ニ適セス伊豆諸島及隠岐最良シ各國山林ニ生スルモノハヤまぐハナリ	大サ小指頭ノ如ク長サ五六分細實聚結シテ覆盆子ニ類似セリ初メ青シテ熟スルニ及ヒ紫黑色ヲナス桑椹ト名ツク其味甘酸ニシテ食フヘシ	赤月葉ニ先テ花ヲ開ク小ニシテ聚生ス其色淡黄ナリ雄本雌本アリ又兩全花ノ樹アリ	其葉鮮綠ニシテ扇邊ニ鋸齒アリ形圓ニシテ尖頭較厚フシテ汁多シ養蠶ニ用ユルハ之ヲ上品トス又缺刻アリテ構葉ノ如キモノアリ之ヲ次トス又葉腋ヨリ纖葉絲ノ如キモノヲ垂ルアリ其葉形ニ從テ其良否ヲ異ニシ又各其名ヲ異ニス	枝條舒長シテ柔軟ナリ	幹身直生シテ高三丈許圍四五尺ニ及フモノ多シ樹皮青黒ニシテ皺皺ヲナス	横根ノ旁行スル最モ長ク皮厚フシテ黄赤ヲナス	名 通 く ハ 名 方 名 漢 桑 名 洋 MORUS ALBA LINN. モリユス アルバ

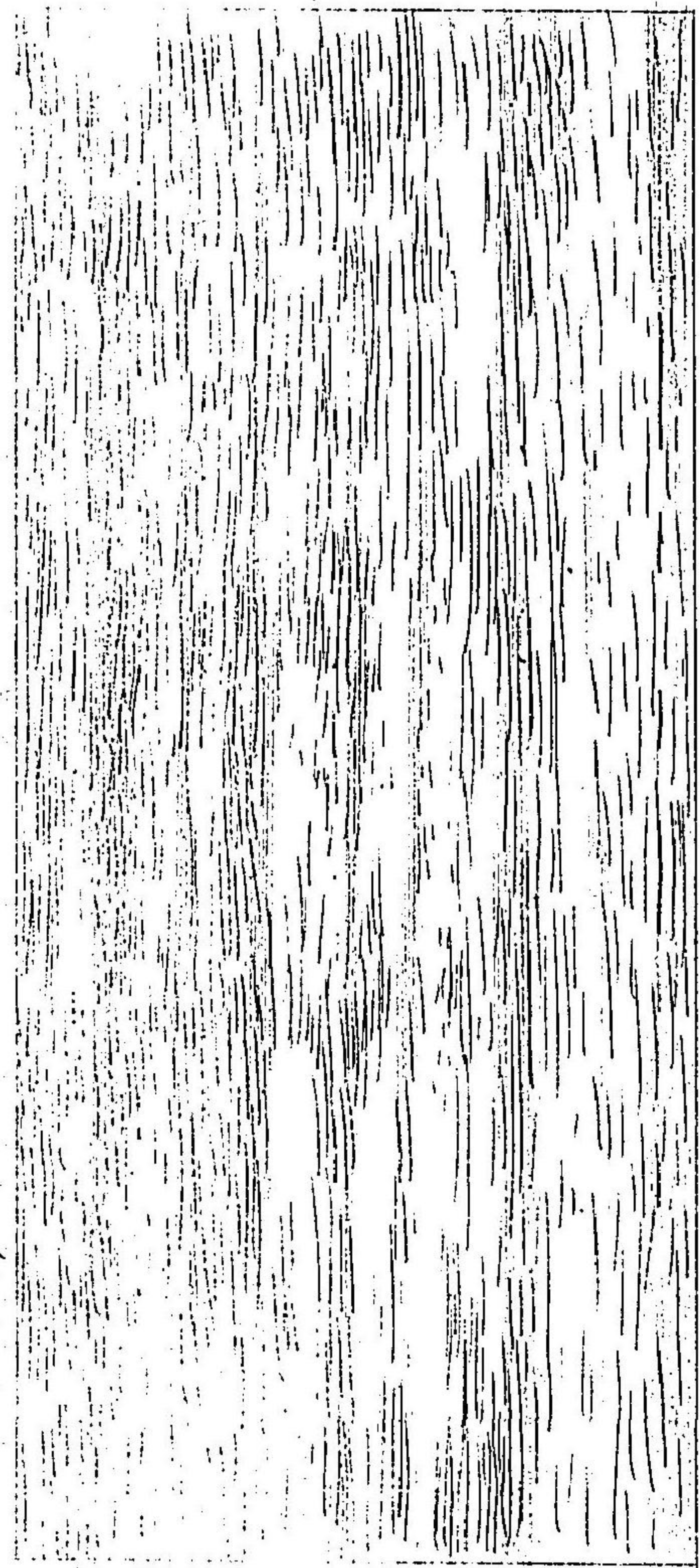
第四十一號

八

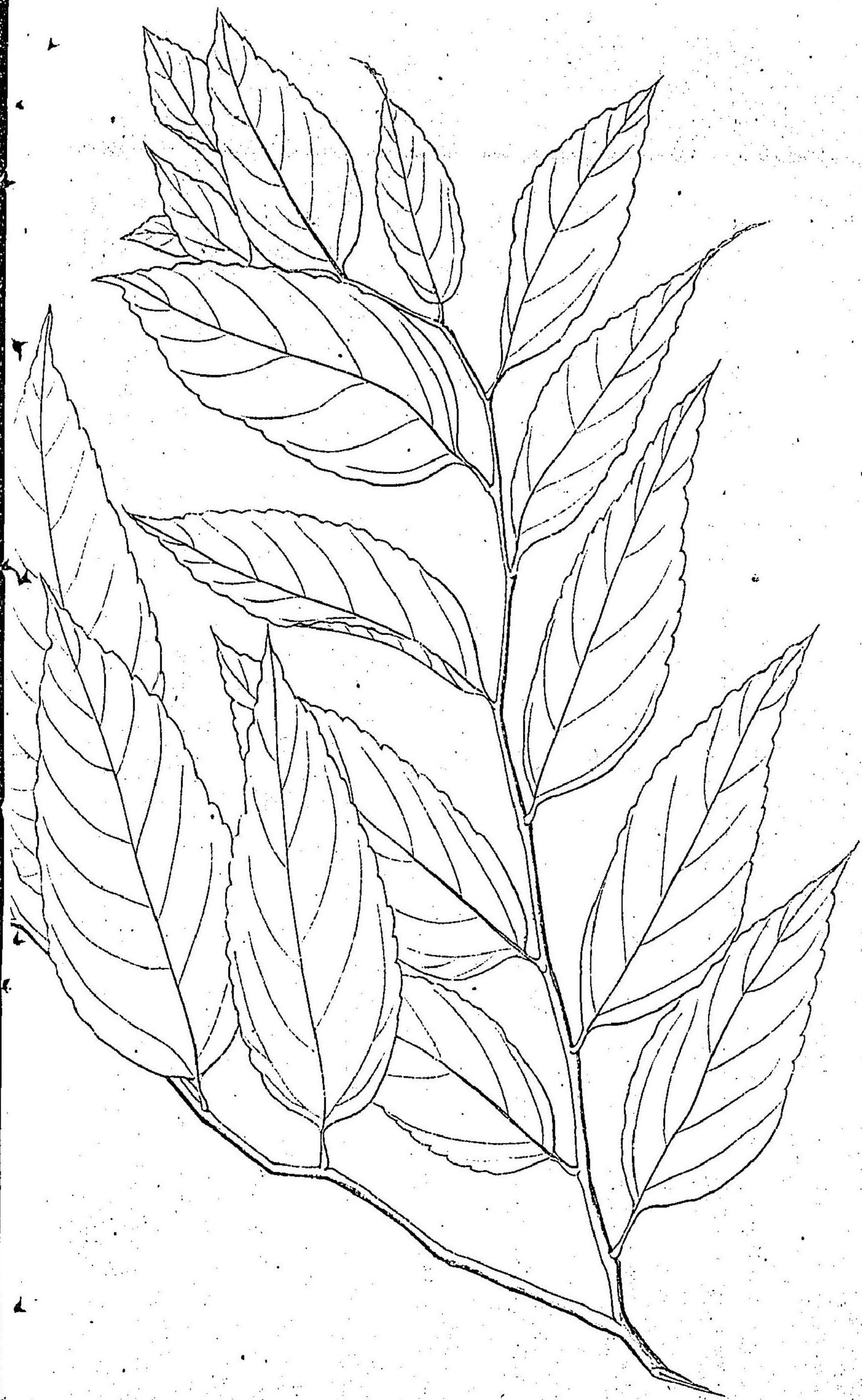


提
要
蕁
麻
科
木
喬
木
葉
潤
葉
落
葉
槲
櫟
器
具

種	藝	養培	護保	質材	効用	雜說	形 狀							地適	稱 名			
							體全	實	花	葉	枝	幹	根		名通	名方	名漢	名洋
子實ヲ下シテ生シ易シ 其苗成長甚ク速ナリ	嫁 接 先むくナル者ハ斫伐シテ砧トナシをむくノ枝ヲ接スルヲ宜シトス			其材白質ニシテ微シ黒赤ヲ帶ヒ木理頗ル密ナリ韌力アリテ折レス朴樹ノ材ニ比スレハ其勝レルヲ數等ナリトス	小材ハ槲櫟トナレテ最妙ナリ大材ハ建築器具ノ用ニ充テ又燻燼ノ車臺トナス最モ妙ナリ其葉ハ未ダ凋零セサルニ先ダチ 之ヲ採収ス工匠骨角ヲ磨瑣スルニ必需ノ貴品タリ丹波國ニ出ルヲ上等トス大樹ニ至テハ年々利益ヲナス夥シトス		樹性陽燥ノ地ヲ喜ンテ深山陰地ニ繁殖セス丹波ニ産スルモノヲ最良トス	體全 枝梢揚起シテ下垂セスト雖用枝葉繁稠ニシテ能ク根土ヲ庇蔭ス甚ク朴樹ニ似タリ	實 形正圓ニシテ大サ三四分葉間ニ垂下ス初メ淡綠熟シテ紫黑色ナリ味甘ク啖フヘシ其子二分許圓ニシテ一方扁狭外面黒ク 糙茸ヲナス	花 花小其狀桑花ニ類シテ穂ヲナサス白色ニシテ淡黃ナリ雄花雌花又兩全花アリ	葉 其葉橢圓尖頂ニシテ邊ニ鋸齒アリ狀樺樹葉ニ類シ其面甚ク糙澁ナリ俗ニをむくと呼フ一種葉ノ糙澁ナラサルモノアリ めむくと呼ヒ以テ色ヲ分ツ	枝 枝梢舒長シ小枝ヲ生スル頗ル繁シ	幹 幹身肥大ニシテ高五六丈圍丈餘ニ過ク樹皮外面青黑色ニシテ皺皴シ粗澁ニシテ疣瘖ヲナス	根	名通 むくえき	名方 むくえき	名漢 糙葉樹 俗棕	名洋 HOMIOCELTIIS. ASPERA B. L. ホモイヲセルチス アスベラ



第四十二號
木の葉



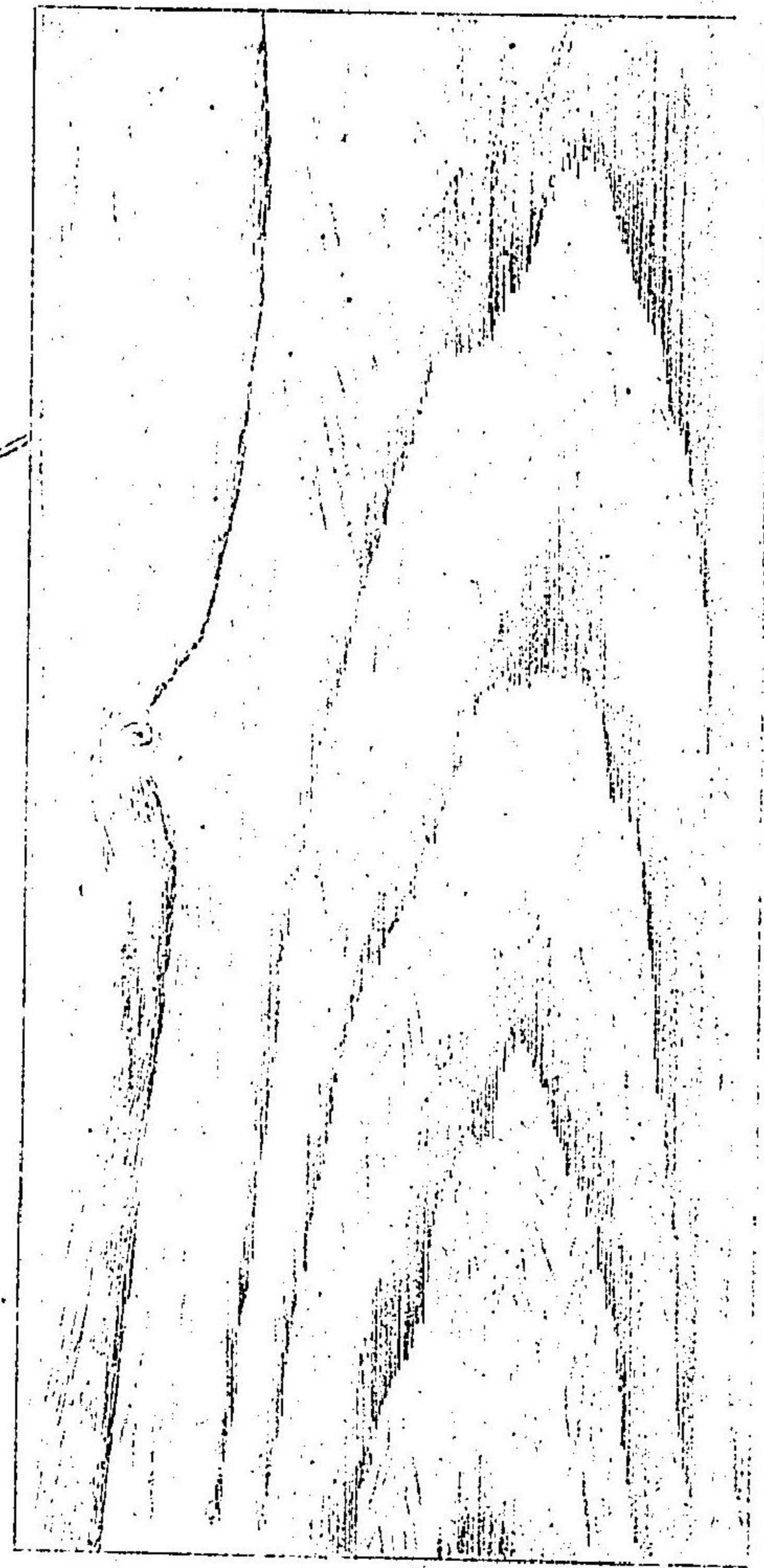
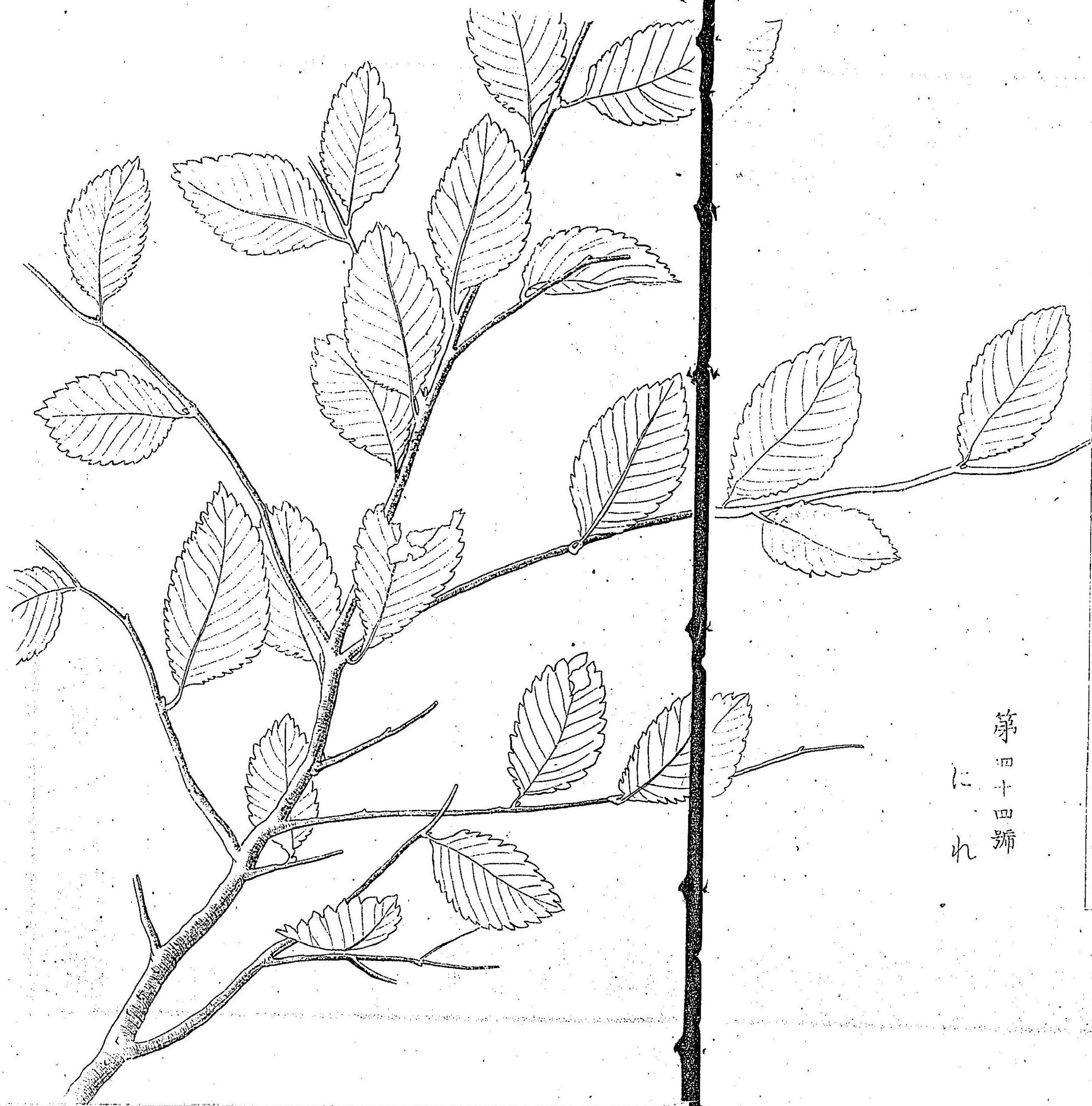
説 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適	形 狀							稱 名					
					條 歴	接 嫁	條 摺	植 苗	植 實		體 全	實	花	葉	枝	幹	根	名 通	名 方	名 漢	名 洋		
	率鑽ノ用ニ供スヘシ薪炭トナシテ中等トス 舊時里候ニ栽ルニ多ク此樹ヲ以テシ又行樹ニ用ユ	其材白色肌理密ナラス軟質ニシテ黒暈紋ヲ生ス甚ク朽敗シ易シ以テ下等品トナス氷濕ニ遇テ久シキニ耐ヘス						根上ノ小木ヲ分植スヘシ	種子ヲ下シテ生ス	山野高燥ノ土ニ適ス深山陰濕ノ地ニ繁殖セス	枝梢多ク條直ニシテ倒帚狀ヲナシ扶疎トシテ繁蔭ヲナス	正圓ニシテ大サ二分許初緑色ニシテ熟シテ黃褐色ヲナス味甘シテ啖フヘシ	立夏ノ後花ヲ開ク雄花雌花アリ細小ニシテ黄色ナリ	卵形ニシテ尖頭狀標葉ニ類シテ短小ナリ翠緑亦淺マ邊ニ鋸齒アリ秋季墮散ス	枝條肥大ニシテ細枝ヲ生スル密ナリ	老樹高二三十丈圍亦二丈ニ及フ樹皮灰白硬厚ニシテ散セス		えのこ	名 方	名 漢	朴 樹 俗 樓	名 洋	CELTIS SINENSIS PERS. セルチス シニンシス



第四十三種
えのみ

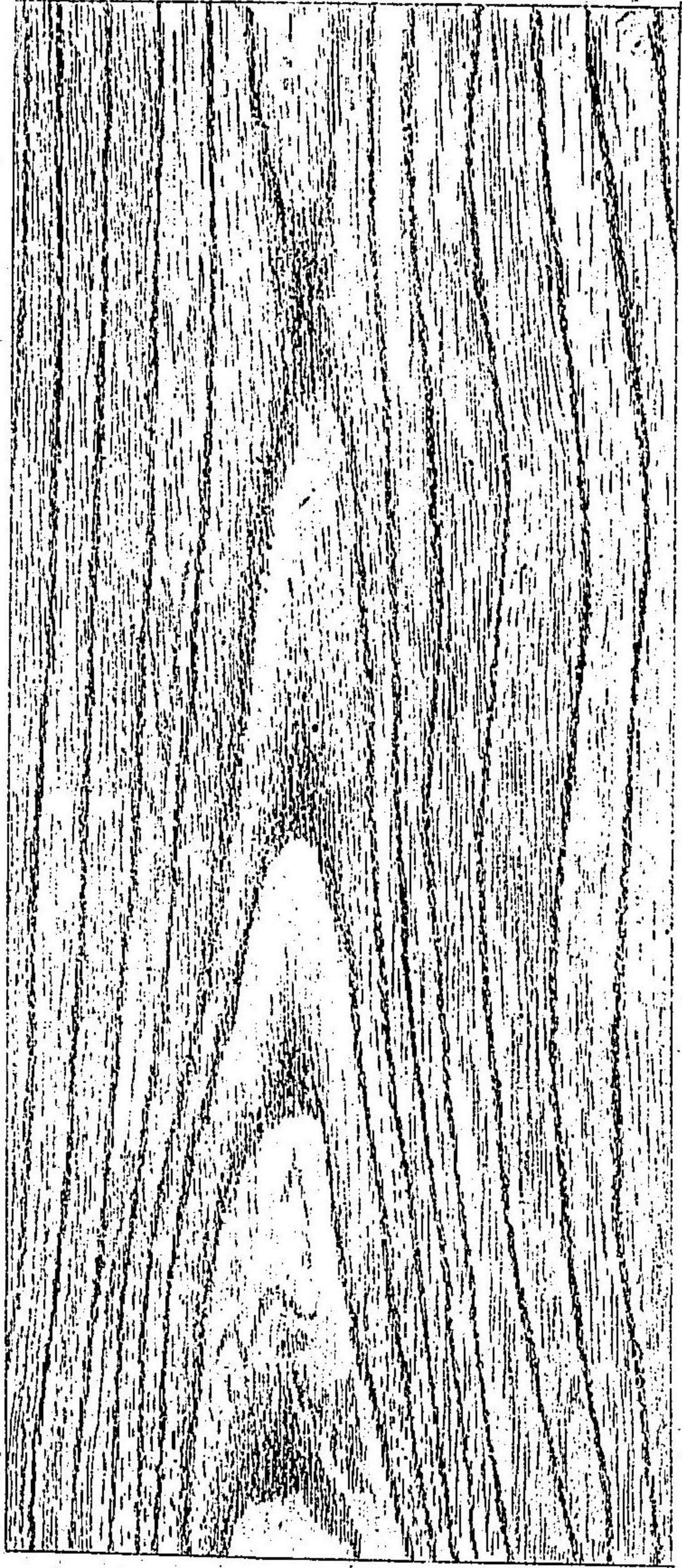
提 要
 第 四 十 四 號
 器 落 潤 喬 蓐
 具 葉 葉 木 科

說 雜	用 効	質 材	護 保	養 培	藝 種					地 適 狀 形							稱 名				
					條 壓	接 嫁	條 摺	植 苗	植 質	體 全	實	花	葉	枝	幹	根		名 通			
	小材ハ椀楯器皿獨樂ノ類ヲ斡作シテ甚ク美ナリ大材ハ車轂ノ用ニ供スヘシ嫩葉ハ羹ヲ作ルヘシ樹皮ヲ礮磨シテ粉ヲ作ルナ楡麵ト稱ス用テ瓦石ヲ粘スルニ極テ力アリ故ニぬり或ハぬれノ方言アリ	材色深黄肌理緻密ニシテ堅硬ナリ						此樹多クハ曲戻シ易シ故ニ叢林ヲ作ルヲ可トス移植シテ之ヲ変リ明年一株七八根ヲ生スレハ一根直良ノ者ヲ留メ餘ハ悉ク研去ル	畦ヲ作り茨ヲ下ス	北方寒地ニ多ク温暖ノ地方甚ク稀ナリ	高聳シテ枝ヲ四出ス	易シ	一花一莢ヲ結フ形扁圓ニシテ薄ク大サ二分許楡錢ト名ク中央ニ小扁子アリ四邊紙ノ如ク翹狀ヲナス風ニ遇テ颯々シ飛ヒ	春花未タ生セス先ツ花ヲ發ク甚小ニシテ撥簾ス	大サ椀葉ニ似テ較短ク上半潤ナリ粗厚深青ニシテ邊ニ重鋸齒アリ柄甚短シ互生ス秋後颯々ス	樹ノ生長頗ル速ナリ高二三丈圍二尺許樹皮頗厚ニシテ粗ナリ表皮青緑ヲナス○あきよれハ喬大ナラス	に ぬ り	方 ぬ ぬ り	漢 名 楡	舊 又 粉	洋 名 ULMUS CAMPESTRIS. SM. VAR. ス カムベストリ ユルキニス



第四十四號
にれ

名 通	形 狀							地 適	種 類	藝 術	保 護	材 質	効 用	雜 說
	根	幹	枝	葉	花	實	全 體							
<p>名 漢</p> <p>罌子桐</p> <p>名 洋</p> <p>ELAEOCOCCA CORDATA B. L.</p> <p>ニレチコツカ コルダ、</p>	<p>大ナル者ハ高二丈許圍三四尺幹身直生ス皮色灰白厚フシテ皺皺ス</p> <p>枝柯肥大白桐ニ比スレハ較細シ</p> <p>圓ニシテ末尖リ大サ三寸許或ハ岐チ分テ二尖若クハ五尖チナス</p> <p>春初花チ開ク五出ニシテ筒形ヲナス淡紅ニシテ紫ヲ帯ヒ頗ル觀ルニ堪ヘタリ樹ニ雌雄アリ</p> <p>花後實ヲ結フ大サ八九分圓ニシテ微扁狀似タリ秋分成熟シ開拆シテ子落ツ外殼溝路アリ三條ナル者ハ三子四條ナル者ハ四子アリ殼内縱膜アリテ之ヲ隔ツ茶實ニ類シテ黒褐色</p> <p>多クハ枝柯樹梢ニ四張シテ狀傘ヲ張ルモノト如シ</p> <p>陰濕ノ地チ喜ヒ高燥ニ適セス然レモ山谷間ノ如キハ能ク成長ス</p> <p>近江若狹丹波出雲伊勢駿河三越ノ地方最多シ</p>	<p>秋季子實ノ熟シテ落ツル者ヲ拾取シ殼ヲ帶ヒテ土中ニ埋メ温養ス春分ニ至テ預メ畦圃チ熟耕シ孔チ穿ツテ深サ四五寸毎孔二三子チ入ル距離五六尺チ度トス更ニ移植セサルチ妙トス</p> <p>若シ初ヨリ廣地ヲ得サレハ姑ク畦ヲ作テ下種シ二年ニシテ移植スルモ可ナリ但其葉潤大ニシテ風チ畏ル、チ以テ廣漠ノ地ニ植ルコトヲ得ス山間或ハ林傍ニ栽ルヲ要ス</p>	<p>樹性燥ヲ忌ムヲ以テ暑月ニ至レハ米泔或ハ厨下水ヲ澆キ常ニ滋潤ナラシム冬月ハ輕肥水ヲ與フルヲ要ス</p> <p>樹小ナル者最風ヲ防クヲ緊要トス故ニ柱ヲ立テ纏束シ或ハ藩籬ヲ作テ圍繞ス又寒チ恐ルチ以テ冬月ハ雪霜凍氷ヲ禦クヘシ</p> <p>雄木ハ伐斫シテ材トナス白色輕質ニシテ柔軟其白桐ニ類スルヲ以テヤマギリト稱ス</p> <p>匣箱木履ノ類ヲ作レハ白桐ニ次クト雖モ其用亦廣シ</p> <p>實チ榨シテ油チ取ル其利益甚多シ近江國最多ク産スコロビノ油ト稱ス</p> <p>樹皮ヲ用テ染料トナスコト櫛樹皮ニ全シ</p> <p>子實大毒アルチ以テ一ニ虎子桐ト稱ス其油莖油ニ類スルチ以テ又莖桐ノ稱アリ俗ニ毒莖ノ油ト云○支那此油チ以テ傘及雨衣チ製ス故ニ我邦モ亦雨衣チ呼テ桐油トス然レモ我邦ノ雨衣ハ近世莖油チ用テ桐油ヲ用ヒス</p>											



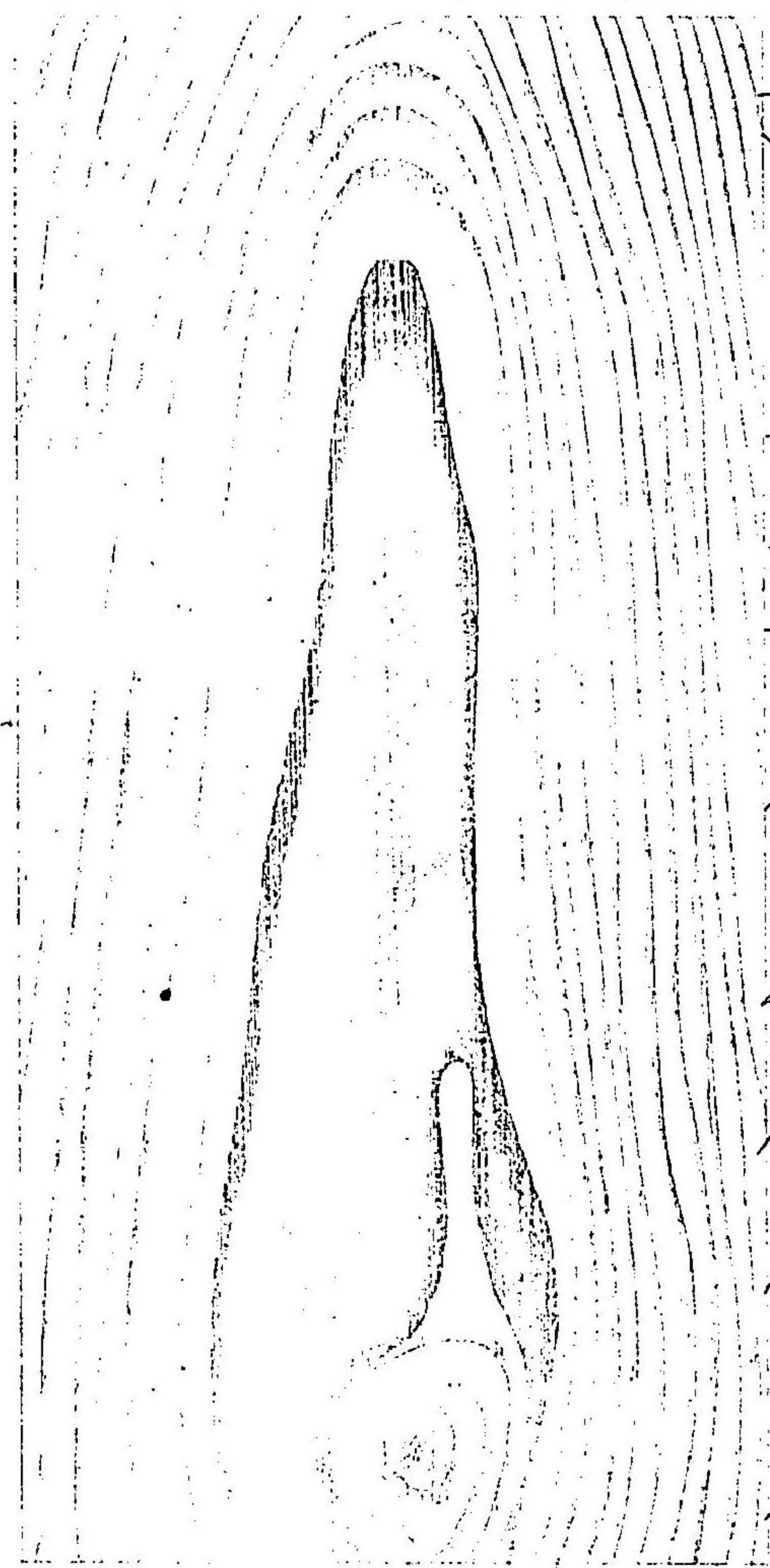
第四十五號

何ぶらぎり



提 要
大戟科 木 喬木 潤葉 常綠 器
號六十四第

種 名	形 狀						地 適
	根	幹	枝	葉	花	實	
ゆづりえ	<p>端直上高二丈餘圍二三尺ニ及フ樹皮深翠灰白滑ニシテ皺セス</p> <p>枝條肥大皮色翠ナリ</p>						<p>潤濕ノ地ニ生スルモノ最モ能ク殖シ燥地ニ適セス紀伊近江丹波最多シ</p>
漢 名	交讓木 又 楠						
洋 名	<p>DAPHNIPHYLLUM</p> <p>MACROPODUM MIQ.</p> <p>ダフニフィリユム</p> <p>マクソロポデユム</p>						
種 類	<p>長楯尖頭長五六寸潤二寸許狀牛耳ニ類ス邊ニ鋸齒ナシ梢頭ヲ環包シテ拱生ス其柄深紅ニシテ美ハシ四時潤マス新葉巴ニ長シテ後ニ舊葉始テ墜ツ故ニゆづりはノ稱アリ葉柄ノ青キ者ヲいぬゆづりはト呼ヒ葉小ニシテ石楠葉ノ如キ者ヲひめゆづりはト呼フ</p> <p>夏月葉腋ニ長梗ヲ生シ白色ノ小花ヲ拱簇ス</p> <p>形豆ノ如クニシテ大サ三四分初メ青色後紫黑色ヲナシテ肉韌アリ</p> <p>枝葉相礙ラスシテ能茂ス童ヤトシテ觀ルヘシ○樹ニ雌雄本アリ</p>						
藝 種	<p>肉韌ヲ帶テ下種ス</p> <p>根旁ノ小木ヲ分植シ或ハ旁根ヲ斷テ之ヲ植ル亦能ク活ス</p> <p>嫩枝ヲ剪テ潤地ニ挿ム甚ク活シ易シ</p>						
養 培	冬月根土ニ肥水ヲ與フ						
護 保	白質ニシテ肌理甚タ密ナリ外部ノ内皮ニ接スル所紅色ヲナス材心ニ節目アレハ亦紅環ヲ成シテ甚タ美ナリ						
用 効	匣箱ノ類ヲ作り亦器具ヲ鐵作スヘシ○新年ノ粧飾ニ用ユ庭園ニ栽テ頗ル出羣ノ氣象アリ斑ナルモノハ花戸最貴重ス						
説 雜							



第四十六號
ゆずりハ

大戟科 提 要 號七十四第

地 適	形 狀						稱 名
	體全	實	花	葉	枝	幹	
南方温暖ノ地ニ適シ自生スニ就テ伊豆諸島ニ産スルモノ最モ大ナリ中ニ就テ伊豆諸島ヲ最モ有名トス		大サ豆ノ如ク頂ニ三ノ角狀ヲナスモノアリ	雄花雌花アリ	長楕尖頂大サ四五分邊ニ鋸齒アリ深緑滑澤ニシテ厚シ四時凋マヌ	細ニシテ密ナリ	老大ナル者高二丈圍二三尺餘ニ及フ樹皮黄白ニシテ軟脆ナリ	つ
							げ
							名 方
							阿さほつけ
							名 漢
							黃 楊
							俗 栢
							名 洋
							BUXUS SEMPERVIRENS LINN.
							ブキキニユス セムベルグイ ン

種	藝				種	説 雜
	條 歴	接 嫁	條 摺	植 苗		
				挿挿シテ能ク活ス	移植スル者冬月ヲ良トス根土多ク小本ヲ生ス以テ分植スヘシ	豆州諸島物産圖云フ三倉島ニ産スルモノ樹幹端直ナル者圍二尺四五寸高二丈許其葉大サ指頭ノ如シ葉面斜文多シ其子實熟スレハ皮拆裂シ鱗甲ヲ起スカ如シ琉球ニ産スルモノ葉亦較大ヲ加ヘ材モ亦上等ナリ
						材質堅實緻密ニシテ黄色ナリ飽削シテ滑澤ヲ生ス材中ノ良品ナリ
						楠ヲ作ルニ比材ヲ最良トス印材トナシ又墜子算額ノ類ヲ製スヘシ
						○此材美麗堅韌材中ノ冠タルヲ以テ凡ソ觀美牢固ヲ要スルノ者亦作ルヘシト雖大材ノ得難キノミナラズ價格モ亦高貴ナルカ故ニ僅カニ楠印材等ニ小用スルノミ